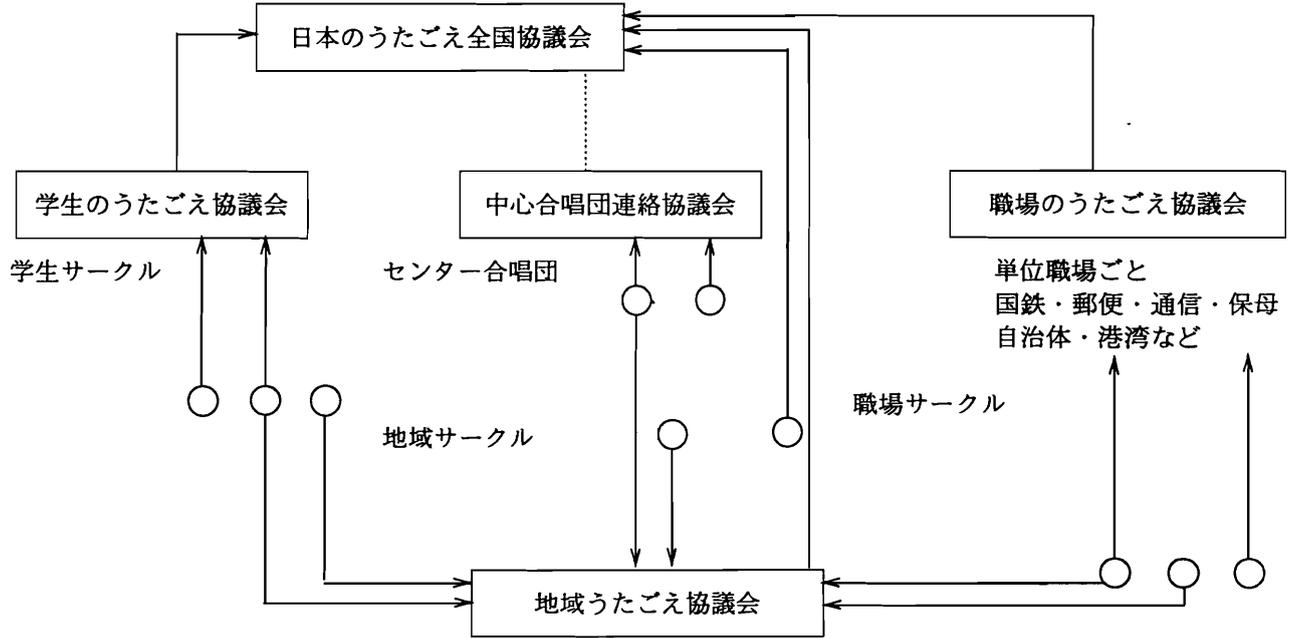


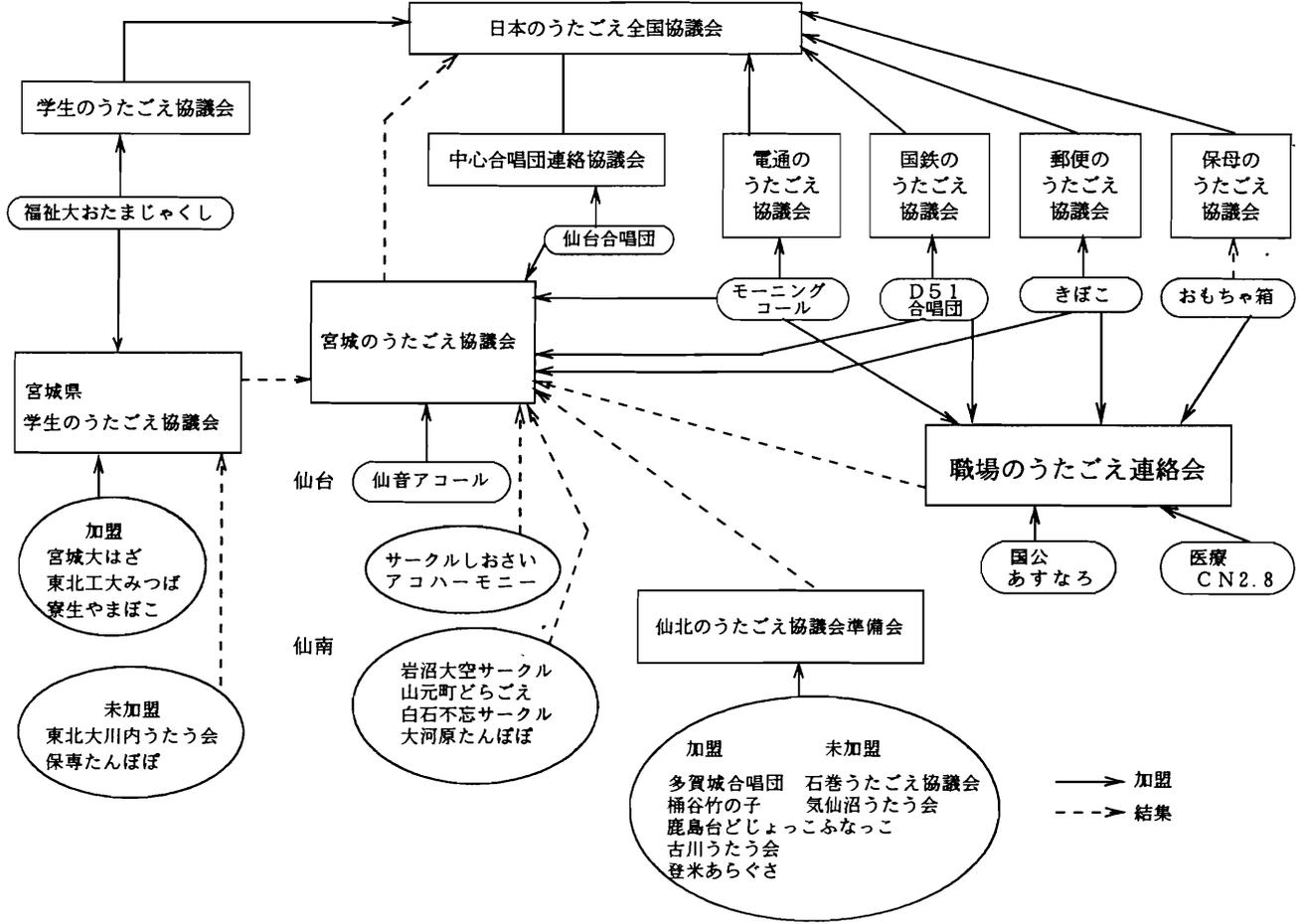
資料

うたごえ運動の存在形態



県レベルが主 全国協議会に加盟していない場合もある

宮城県におけるうたごえ運動の存在形態（1980年当時）



仙台合唱団のあゆみ略年表

*敬称略、団員はサークルネーム、数字等は資料に示されているものを使用、結婚・入院等の個人的事情は公式資料に存在するもののみ使用

仙 台 合 唱 団 関 係	備 考
<p>1945年</p> <p>12 日本社会党宮城県連合会結成 ・ 日本労働総同盟宮城県連合会結成（総同盟県連） 11組合5890名 ・ 日本共産党宮城地方委員会結成</p>	<p>8 ポツダム宣言受諾</p> <p>10 解放戦士出獄歓迎人民大会（日比谷公会堂）で「赤旗」歌われる</p> <p>12 日本共産党再建「文化サークル組織方針」発表</p>
<p>1946年</p> <p>2 宮城県地方労働組合協議会（労協＝産別系）結成 6 宮城地方労働組合会議（労働戦線統一を目指す）結成</p> <p>青年行動隊、文工隊活動広がる</p>	<p>1 野坂参三帰国歓迎国民大会で四谷文子らにより「歓迎のうた」歌われる</p> <p>2. 3 日本青年共産同盟再建</p> <p>5 戦後初第17回メーデーで関鑑子指揮により「赤旗」「インターナショナル」歌われる</p> <p>・ 民主主義文化連盟（文連）結成 関鑑子が音楽分野の責任者</p> <p>・ 日本現代音楽協会結成</p> <p>8 産別会議、総同盟、国鉄、民主主義文化連盟共同して新労働歌を公募「町から村から工場から」「世界をつなげ花の輪に」などを選定</p> <p>11 日本国憲法公布</p>
<p>1947年</p> <p>1 宮城地区労働組合共同闘争委員会（2.1ストと労働戦線統一を目指す）結成 2 宮城地闘解散し、宮城県労働組合同協議会（合同労協）結成 5 メーデーに向かって新労働歌普及</p>	<p>2 米占領軍2.1ゼネスト禁止</p> <p>3 世界労連代表歓迎音楽会で青年共産同盟中央コーラス隊演奏</p> <p>・ 関東自立楽団協議会結成</p> <p>6 働く者の音楽会</p> <p>・ 文連労働歌集を発行</p>
<p>1948年</p> <p>11 北海道・東北・関西・中国・九州に中央合唱団常任活動家のオルグ（49年春まで） 仙台に青共の合唱団できる（創立時不明）＝青共の班づくり工作隊（歌とダンスが中心）が合唱団となる</p>	<p>2.10 青共中央合唱団の創立（青共創立2周年文化集会での演奏）</p> <p>5. 1 第19回メーデーに中央合唱団初参加</p>

<p>→「青共文工隊どんぐり座」の名称で文工隊、歌集の普及中心 東北大、宮城学院（女専）、女子師範、宮城師範学生など10名ぐらい、職場拠点は電産（配電、日発）谷宏（仙台高等工業専門学校→県庁組合専従）、佐々木一司（二高→青共中央委員）、神谷一、伊藤辰雄（全建労専従）など参加。元寺小路朝鮮総連事務所（青共事務所）を合唱団事務所として間借りする</p> <p>12 合同労協分裂し、総同盟が脱退して仙台地方労協結成</p>	<p>7. 1 青共中央音楽院設立（中央合唱団第1期生教育はじまる）関鑑子学院長 ・ 文工隊「海つばめ」（わらび座の前身）発足</p> <p>8 中央合唱団第1回関西・東海公演 青共関西合唱団・青共名古屋合唱団・京都ひまわり合唱団・青共神戸合唱団創立 ・ 勤労者演劇協同組合（労演）結成</p> <p>9 青年歌集発行 みんな歌う会活動の展開</p> <p>11 中央合唱団東宝争議支援</p>
<p>1949年</p> <p>3 合同労協、県労会議と改称 163組合58000名</p> <p>4 青共から民青への組織移行に関して青共、全日本民主青年同盟、民主主義学生同盟の合同大会（準備会） 全民青から参加した斉藤亀一郎（逓信省→8月に定員法で減首→全建労専従）が文化部責任者となる</p> <p>6 仙台地方労協、宮城県全労働組合会議（全労会議）として新発足 61組合8200名</p> <p>7. 11 中央合唱団1周年記念音楽会の翌日第1回全国合唱団団長会議（うたごえ運動の全国統一の方向中心合唱団代表20名 仙台からも参加 参加者藤本？＝青共責任者 不明）</p> <p>9 中央合唱団北海道・東北公演</p> <p>10 青年共産同盟の発展的改編により民主青年団（正式創立は51.5.5）へ 民青中央合唱団と名称変更 民青中央合唱団機関紙「うたごえ」発行（「うたごえ」の名称の始まり） →「民青仙台合唱団」となり事務所を白百合北門（花京院）朝鮮総連事務所に移す（レッスンも同じ） 佐々木が民青中央常任委員となり、谷（全建労専従＝前任者伊藤辰雄が中央合唱団3期生へ転出後）が合唱団の責任者となる</p> <p>* その後合唱団活動としては停滞</p>	<p>2 青共中央合唱団は民主青年団中央合唱団と改称</p> <p>7. 10 中央合唱団1周年記念音楽会（家政学院）中央合唱団第1回総会（行動綱領と規約決定）</p> <p>8 松川事件</p> <p>11 関西勤労者音楽協議会（労音）結成→1950.8に大阪労音と改称</p>
<p>1950年</p> <p>レッドページ</p> <p>3 社会党県連大会分裂</p>	<p>2 中央合唱団2周年記念平和大音楽会 音楽センター会館建設運動始まる</p>

<p>6 全労会議、総同盟統一して宮城県労働組合評議会（宮城労評）結成 102組合26000名</p> <p>11 全国一斉方針により民青の名前をとり「仙台合唱団」となる 10名程度、文工隊活動中心</p>	<p>10 NHKで音楽家のレッドページ</p> <p>11 中央合唱団、民青团より独立する方針を持つ</p>
<p>1951年</p> <p>3 松川事件対策東北協議会結成</p> <p>4 宮城県青年婦人協議会結成</p> <p>5 中央合唱団東北公演</p> <p>7 全国に呼応して「東北音楽センター」創立（田町借地借家人組合事務所に間借り）し、谷が専従となる（給料なし） 全建労東北総支部専従は斉藤と交代</p>	<p>5 日本民主青年団第1回大会（56年に同盟と改称）</p> <p>6.24 第8回総会で民青からの独立が正式決定され中央合唱団と改称</p> <p>7.22 音楽センター会館落成（うたごえ運動の本格的拠点になる） 第5回世界青年平和友好祭に呼応した平和合唱祭（東京中部・南部地区で開催）うたごえ祭典を全国的に開く出発点に</p> <p>11 青年歌集再刊</p> <p>12 中央合唱団3周年記念音楽会（家政学院・4000名）「美しき祖国のために」</p>
<p>1952年</p> <p>* 谷、佐々木、斉藤（三羽がらす）による再建活動「うたごえ」=歌集4号まで発行</p> <p>11.19 ソビエト事情を知る夕べ（公会堂1300人）で演奏（30名）</p> <p>11.20 谷中央合唱団に手紙（当地に詳しい常任のT君）</p> <p>12.21 中央合唱団4周年記念音楽会「1952年日本のうたごえ」開催（日比谷公会堂5000人） 職場、地域の合同演奏が行われる 全国の合唱団参加 仙台より5名（仙合2、第一教養部1、坂病院・全建労2）参加</p> <p>12.22 第2回全国合唱団会議（音楽センター・21団体、～23 関鑑子、小野光子、間宮芳生） 1953年日本のうたごえを日本全国の代表の参加によって全国の統一された運動の結節点にすることの決議 「うたごえは平和の力」 うたごえ運動の大衆路線の確認 谷は常任幹事となる</p>	<p>4 メーデー前夜祭（後楽園）職場コーラス大会で「うたごえは平和の力」がスローガンに</p> <p>5 メーデーで演奏 この年「若者よ」大流行</p> <p>11 塩釜汐風合唱団創立</p>
<p>1953年</p> <p>1 「うたごえ」が機関紙になる 一部5円（合唱団事務所：北三番丁全建労東北総支部内、代表斎藤亀一郎）</p>	

その後組合内で他団体は出ていった方がいいという意見で事務所を田町借地借家人組合事務所へ(54.4)

* このころ壇上佐和枝オルグにはいる

- 1.18 「白毛女」映画会で仙台合唱団を名のり「シアールの歌」「心の歌」歌唱指導
- 2 「仙台ゴムの歌」(仙台ゴム労働者詩、ハワイ・マレー沖海戦の替え歌) 創作
- 3.6,7 前進座「屈原」公演に女性パート応援
- 3.31 中央合唱団来仙「若人の集い」
- 4 さかのぼって仙台合唱団創設とする
綱領・規約の確定(53年中であるが時期不明)
 1. 名 称 「仙台合唱団」
 2. 入団資格 綱領規約を認めた者 原則として募集
 3. 組 織
(1) 期生(1年の教育期間)(2) 研究生(期生を終えた者より選抜)(3) 常任班(期生を終え音楽運動に専心しようとする人より選抜)
 4. 機 関 主宰者(団代表) 書記局 期委員会(各期の運営) 総会(全体総会、期総会)
 5. 財 政 入団費50円、団費60円(運営費25円、教育費35円)
- 4.19 職場交歓会ピクニック(八木山)
- 4.26 東北金属に歌唱指導
~27
- 4.30 塩釜でのメーデー前夜祭で演奏
5. 1 メーデー演奏参加12名(2部文化祭で汐風合唱団と合同30名)
- 5.13 カチューシャ楽団公演(公会堂)
- 5.14 カチューシャ楽団を囲んで懇談会(タバコ会館)
- 5.16 同塩釜公演(公民館) 塩釜民謡研究会(後藤桃水)特別出演
- 5.17 職場交歓会ピクニック(台の原60名)
6. 7 職場演劇協議会「ひめゆりの塔」公演参加
- 6.14 職場交歓会
- 6.20 東北合唱団連盟合唱祭(第1回青年合唱祭・一女高)に仙台合唱団、汐風合唱団有志で全員合唱に参加
- 6.21 全生保文化祭演奏参加(東北大講堂)仙台合唱団、裁判所合唱団、県庁合唱団有志で合同
- 6.25 第3回全国合唱団会議(内灘)には不参加
7. 8 平和と友好のための音楽の集い実行委員会(3回開かれる)
- 7.31 中央合唱団小野光子来仙

3 在仙職場演劇協議会結成

4 第一教養部三ヶ峯寮に「アヒルのコーラス」できる

6 民族歌舞団わらび座結成

6 日うた機関誌「音楽運動」発刊

<p>8. 2 平和と友好のための音楽の集い開催（東北大講堂・300人） 実行委員会・仙台市教委共催 東北合唱連盟、東北芸術鑑賞協会、社青同、民青团県委員会後援 第4回世界平友祭（ブカレスト）に向け民青团の提唱、社青同も参加 参加団体 仙台合唱団、多賀城歌う会、東北ゴム、坂病院、裁判所、古川電気、全建労、全損保、全銀連、塩釜汐風、東北大一教うたう会 仙台合唱団発表曲—もういやだ、ダンカングレイ、泉のほとり、基地の町、木曾節、炭坑節、秩父音頭 →関東のうたごえに代表団を送る（7名）</p> <p>8.16 関東のうたごえに仙台合同合唱団として参加</p> <p>8.28 中央合唱団渡辺昌子来仙</p> <p>8.29 大平和祭（公会堂） 宮城軍事基地反対期成同盟・宮城県労評主催 構成戯曲「平和のうたごえ」発表（作 繁路登夫） 指揮 谷宏 合唱隊100名</p> <p>9.20 全国合唱団会議第2回常任委員会（名古屋）参加 岩手、宮城、福島を担当になる</p> <p>10 仙台合唱団作詞作曲「真実の勝利のために」（「20人を救え」改題）発表 中心は佐々木、補作長谷峯治（裁判所、プラスバンド）松川支援闘争で団創立明記の必要性</p> <p>10.24 松川事件公正判決要請東北大会「救え20人の愛国者」発表 第3回全国合唱団会議常任委員会（大阪）で、仙台合唱団の担当は東北全体になる</p> <p>11. 8 塩釜のうたごえ</p> <p>11.22 宮城野のうたごえ（第2回青年合唱祭） 実行委員会・仙台市教委主催（片平丁小学校） 宮城県労評、社青同、仙台芸友会後援 市社会教育課長講演「勤労者と文化について」 宮城吹奏楽団特別出演 参加 三馬ゴム、裁判所、仙台合唱団、汐風、多賀城新田うたう会、仙台ゴム 仙台合唱団発表曲—母なる故郷、エルベ川、おおカリーの花が咲く</p> <p>11.29 日本のうたごえ祭典（29日比谷公会堂、30共立講堂）初めて全国から集う 仙台合同合唱団として参加（29日36名） 発表曲—多賀城音頭、仙台ゴムの歌、はらからよ、真実の勝利のために 指揮 谷宏 伴奏 佐々木一司</p>	<p>8 専売仙台工場、三馬ゴムに合唱団できる</p> <p>10 東京労音結成→1955年全国労音連絡会議結成</p>
---	--

1954年

- | | |
|---|---|
| <p>2. 6 小原村下戸沢部落文化祭参加（民謡、踊り指導）</p> <p>3. 9 全国合唱団会議常任委員会で中央合唱団1期卒業生の地方派遣決定（東北は壇上佐和枝、中尾富子）</p> <p>3.14 壇上佐和枝総評と提携したうたごえオルグとして来仙
芸友会コーラス、コールブルネル、中江、西多賀、七郷などにうたう会発足
国鉄、電通を始め各職場にコーラス続々生まれる（約20カ所）</p> <p>3.16 アコーディオン購入（18ベース、22000円）ーカンパ活動開始</p> <p>3.18 県労評、職場の合唱サークル活動の会議招集ーメーデーの取り組み</p> <p>* 練習所は白百合北門朝鮮総連、毎週土曜日、講師、谷、亀一郎、壇上 レッスン場探し続く</p> <p>4. 4 第1回東北合唱団会議（タバコ会館）ー「みちのくのうたごえ」めざして
参加者 青森のうたごえ準備会、福島うたう会、東北大コールブルネル、汐風、仙台合唱団、元気な仲間合唱団、壇上（13名）</p> <p>4.30 初のメーデー前夜祭 メーデーは2000名の大統一集会となる 合唱団案内のチラシ巻き</p> <p>5. 2 第2回東北合唱団会議</p> <p>5.21 仙台ゴム救援・三馬ゴム応援・平和と生活を守るための歌と話し合いの会（仙台ゴム労組事務所ホール）
仙台ゴム労組、仙台ゴム合唱団、三馬ゴム有志と共催</p> <p>6 仙台合唱団に常任2名生まれる（谷、加藤駒幸）壇上の指導で「東北音楽センター」強化（斉藤が代表）</p> <p>7. 4 全国鉄コーラス・サークル協結成の呼びかけ</p> <p>7.14 職場合同レクリエーション（長町小学校）三馬ゴム、仙台ゴム、東洋刃物、電報局、国鉄、丹六、建設局のうたごえ（仙台職場音楽サークル懇談会）と仙台合唱団が主催・後援 市教委に共催申し入れ</p> <p>7.18 第4回東北合唱団会議（民主主義科学者協会仙台支部書記局）</p> <p>9.10 みちのくのうたごえ準備会 県労評支援 13団体30名</p> <p>9.12 第5回東北合唱団会議（全建労書記局）東北のうたごえの検討
当面は開催せずみちのくのうたごえに力を集中→県のうたごえへ</p> | <p>1 中央合唱団1期生卒業 青年グループ結成</p> <p>1 福島どんぐり合唱団結成（福島合唱団の前身）</p> <p>3 国鉄スワローコーラス創立</p>
<p>4 翠生会合唱団結成</p>
<p>6 中新田うたう会（町連青）結成100名</p> <p>7 第1回五色の集い開催</p> |
|---|---|

<p>9.16 みちのくのうたごえ実行委員会結成 国鉄、電報局、県庁、芸友会、七十七銀行、農林統計、裁判所、東洋刃物、仙台ゴム、中国合唱団、仙台合唱団、東北大コーラス協、東北音楽センター</p> <p>9.27 東北農村青年男女のつどい（弘前）高平統之参加し感激して仙台合唱団に入団</p> <p>10.24 みちのくのうたごえ（労働会館） 実行委員会主催 後援 県労評、市教委、毎日新聞社、仙台中央放送局、国労地本、同仙台支部、全日通東北全建労地本、全統計宮城、全司法支部 出演者40団体1000人 青森クマンバチ、健生病院、山形やまびこ、酒田、一関など東北各県合唱団参加 芥川也寸志、中央合唱団特別出演</p> <p>11 仙台合唱団2期生募集 野田俊次、志子田幹人ら入団</p> <p>11.6 谷、福地幸江結婚祝賀会</p> <p>11.27 日うた祭典（～29、共立講堂、東京都体育館） 東北合同として、そうらん節、どじょっこふなっこ、真実の勝利のために、で参加 指揮 谷宏坂病院うたう会郷土舞踊「大漁うたい込み」で参加</p>	
<p>1955年</p> <p>1 世界民青連代表歓迎会 アカハタ開きで演奏</p> <p>1.25 南郷村「ひろば」例会参加 原爆ゆるすまじ等歌唱指導</p> <p>1.30 丸森町青年有志主催音楽会参加 ジャズ大会であったが参加して好評</p> <p>2.13 恒常的全国組織として「日本のうたごえ実行委員会」発足</p> <p>2.27 拡大書記局会議 55年度の方針討議 東北合唱団会議の拡大、合唱サークル協議会の確立、労音問題、月1回のみんな歌う会の提起など） 加藤駒幸書記長となる 体制 書記長—加藤駒幸（組織部長兼） 書記局 各期係（常任より・財政部長大泉房、宣伝部長八巻喜代子、技術部伊東昭七・高平統之） 1期責任者（未定） 期委員 S房 A吉田 T高平 B伊藤 2期責任者（萱場千枝） 期委員 S渡辺 A萱場 T菊池 B野田</p>	<p>2 秋田のうたごえ開催</p>

房高校卒業後、八巻宮城学院短大学卒業後(4月)
常任となり常任4名になる

サークル指導—国鉄スワロー、アスナロ、日通森
永、調達局、明治屋、東洋刃物、
山下診療所、迎光園、丸光、丹
六、ボンボンクラブ、ゲームセン
ター、三馬、統計、中新田、古川
うたう会

* このころまでに事務所を田町借地借家人組合事務
所に移す

- 3.12 第1回みんな歌う会(公会堂) 日本のうたごえ
映画上映、歌唱指導、フォークダンスなど
- 3.21 河北新報夕刊に「うたごえは日共の新戦術」とい
う反共記事載る
- 4. 2 広原公演(鳴子・「米の会」主催)
- 4.19 第2回みんな歌う会(公会堂)世界平友祭記念
ワルツを踊る
- 4.25 世界青年学生平和友好祭全国準備会に参加(音楽
センター)全国から23中心合唱団代表参加
- 4.30 メーデー前夜祭 全体合同—原爆ゆるすまじ、東
京—北京
- 5. 1 メーデー参加
- 5. 3 全国うたごえ幹部学校 「合唱団は民主的芸術団
体」(藤本)
- 5.27 第3回みんな歌う会(1期生修了式及び3期生入
団式)
6月から3期生募集 佐々木春子ら入団
- 6.10 細倉鉦山ストライキ支援(12名参加)
- 6.14 平和と友情のうたごえ祭典実行委員会(公会堂・
50名)
参加団体 七十七銀行、簡保、農地、統計、建設
局、黄河合唱団、経済連、国鉄、三馬
ゴム、電報、司法、丸光、日通、通産
局、電話、電波、クールアルエット、
農学部、仙台合唱団、民青团、宮教
祖、労音準備会、細倉鉦山青婦部、山
下診療所、東北音楽センター
- 7. 2 平和と友情のうたごえ祭典(レジャーセンター)
仙台合唱団発表曲—しあわせの歌、青年行進曲
- 7 八巻結婚準備のため常任やめる
朝鮮総連事務所拡張のため好意で借りてきたレッ
スン場を失う
- 7 文化運動に対する方向をめぐって壇上=谷論争
(谷は巾広論の立場に立つ)
- 8 労音第1回例会「手古奈」公演協力
- 8.24 第4回みんなうたう会(公会堂)
- 9.24 みちのくのうたごえ大交流会(公会堂)

3 秋田音楽センター発足

3.20 福島どんぐり合唱団1周年記念
うたごえ

4 津軽のうたごえ開催

4. 7 うたごえ新聞第1号発刊

6. 7 第1回日本母親大会

7.23 世界青年学生平和友好祭(ワル
シャワ)日本のうたごえ
代表団19名に岩手の沢恩参加

7 秋田県合唱サークル協議会結成

7.27 共産党第6回全国協議会(六全
協)

8 仙台労音発足

8. 6 第1回原水爆禁止世界大会

<p>9.25 第2回みちのくのうたごえ祭典(労働会館)2000名 実行委員会主催、後援 県労評、宮青婦、宮教組、国鉄、統計、農協、全建、各地方本部 第1部宮城県の部(27団体-古川、小牛田、丸森、船岡、中新田など参加) 第2部東北の部(県別6団体、産業別10団体) 第3部 わらび座特別出演</p> <p>11.26 日うた祭典(東京国際スタジアム) 東北合同 福島-筑波-東京、刈上唄、相馬盆唄</p>	<p>11 秋田のうたごえ開催 ・ 塩釜合唱団発足</p> <p>12.7 芥川5つの提言(読売新聞) ①理論の欠如、②政治闘争との結びつきの非現実的側面、③無理矢理歌わせるやり方、④音楽的な高さを追求する姿勢の弱さ、⑤専門家との協力</p> <p>12.27 関鑑子スターリン平和賞授賞 (後のレーニン平和賞)</p>
<p>1956年</p> <p>* 55年秋より音楽センター崩壊状態(レッスン場問題、財政問題、加藤駒幸の退団)</p> <p>1.15 社会党宮城県連統一大会</p> <p>2 活動困難となり常任すべてやめる→職場オルグ活動は続ける</p> <p>4.30 メーデー前夜祭</p> <p>8.6 日本のうたごえ実行委員会規約決定</p> <p>11.29 宮城県のうたごえ(労働会館)伊勢堂コーラス、国鉄、丹六、農林統計、仙台合唱団(じゃがいもの歌他)、翠生会、市交通、経済連</p> <p>12.1 日うた祭典(東京都体育館) 東北合同で「外山節」「荒城の月」(指揮 沢恩 「どんぐり」の斎藤二郎-農学部研究生)創作発表会始まる</p>	<p>1.21 NHKで放送討論会「うたごえ運動をどう考えるか」 ・</p> <p>3 雑誌「知性」うたごえ特集を発行</p> <p>7.13 伊勢堂コーラス発足(伊勢堂下青年会) 7名→合唱団「どんぐり」へ</p> <p>11.23 民青团が日本民主青年同盟と改称</p>
<p>1957年</p> <p>3.3 中央合唱団公演「春のつどい」(公会堂・県労評主催)関鑑子、わらび座出演 仙台合唱団オルグ参加</p> <p>3 総会開催→メーデーの取り組み</p> <p>6.10 4期生入団式(乳銀杏保育園)40名 募集においてうたごえのセンター合唱団としての内容がはっきりしておらず、団員と期生との間の隔たり</p> <p>7.20 宮城県原水爆禁止協議会結成</p> <p>10.12 宮城うたごえ協議会 事務局-農林統計(菊池)技術-高平、翠生会(斎藤) (日うたの取り組みのための組織) 宣伝-仙台合唱団 財政-どんぐり(佐川)</p>	<p>1.20 弘前でうたごえ交流会</p> <p>7.13 どんぐり一周年記念集会</p> <p>9 合唱団「いずみ」発足 労音と仙台合唱団の協力 ・ グループ松原のコーラス部発足</p>

11. 7 第9回みんなうたう会（公会堂）
 ・ 機関紙「うたごえ」の復刊－責任者志子田
11. 10 東北合唱団会議（日うたの組織、東北参加曲の決定－責任者 谷宏）
11. 17 宮城のうたごえ集会（農学部講堂）
 参加－翠生会、仙台合唱団、市交通、全通、農林統計、経済連、スワロー、丸光、どんぐり、いずみ、古川うたう会、中新田うたう会、労音合唱講座
 仙台合唱団発表曲－夕焼け子焼け、他
11. 27 日本のうたごえ記念創作に高平「我等の願い」が優秀作で入選
12. 13 日うた祭典 創作発表会で「どんぐりさん」（斎藤二郎）、「よろこびの歌」（高平）発表
 全国合同「砂川」には不参加
12. 16 初の全国うたごえ総会（音楽センター・祭典の一環）で「うたごえは平和の力」決議→全国的統一へ
12. 21 クリスマスパティー（公会堂）

1958年

1. 9 北川剛を囲む懇談会（トロイカ）仙台合唱団2、いずみ8、労音1、翠生会12、コールウェンズデー2、グリーンウッド3、その他3
2. 2 日うた実行委員会に志子田出席
2. 6 宮うたサークル協発起人会 志子田、野田参加
3. 9 宮城県うたごえサークル協議会結成記念「うたごえ春の集い」（歯科医師会館）
 協議会綱領・規約審議－うたごえ運動の推進組織→実質化せず
 役員不明、加盟団体－仙台合唱団、長町コーラス、翠生会、どんぐり、いずみ、統計、その他は保留
 集会協力団体－丸光杉の子、どんぐり、スワロー、長町うたう会、仙台合唱団、農林統計、労音合唱団、古川うたう会、いずみ、中新田うたう会、石巻国税、全通サークル協、市交通わだち、宮青婦会議、労評青婦協、東北合唱団会議
3. 11 総会開催し綱領、規約の討議 25名参加 アンケート実施
3. 23 春の集い（歯科医師会館）
4. 6 総会開催し新委員会を選ぶ 団員5名は別にし残りの委員を選挙
4. 26 メーデー前夜祭

5. 7 新委員会第1回会合
 体制－委員長 野田俊次
 技術部－高平（指揮者）、房、中元良子、相沢輝明
 組織部－志子田、本郷日出子、大槻宇多子、佐々木春子
 機関紙部－佐藤喜代子、梅木、佐川邦夫、赤羽仁三
 財政部－早坂玲子、房
 規約・綱領の検討（組織部） 委員会の定期化
 合唱サークル協議会について
 レッソンは火曜日6:30～8:00 花京院朝鮮総連事務所（レッスン結集は30名弱）
5. 13 宮城県合唱サークル協議会についての案内
 規約案の提示－交流、援助のための連帯組織
 年会費200円
 設立準備会発起人－いずみ（手塚昂吉）、県庁合唱団（菊地毅）、翠生会（佐藤栄二）、仙台合唱団（志子田）、農林統計うたう会（斎藤文子）、どんぐり（小野隆右）
5. 25 合唱サークル協議会についての話し合い（労働会館）
6. 8 全国合唱団会議に志子田派遣
6. 10 うたごえについての機関紙上の討論開始
 4期生入団1周年記念コンパ
6. 22 宮城県合唱サークル協議会結成総会（教育会館）
 役員 会長－志子田 副会長－手塚（いずみ）
 組織部長－スワロー 技術部長－小野（どんぐり） 財政部長－佐藤（翠生会）
 情宣部長－菊地（県庁）
 他の加盟サークル－農林統計、石巻ドリームコーラス、小牛田YYコーラス、松原、中新田うたう会
 結集－市交通局わだちコーラス、気仙沼合唱サークル、市役所合唱団、北税務署、やまびこ（国鉄）
 ＊後に41団体1020名が加盟・結集（58年）
 長町うたう会（国鉄）、杉の子（丸光）、経済連、農地事務局、七十七、全通、日通、労災病院、労音合唱団、財務局、長谷柳絮学園、ユネスコ会館、専売公社、教育会館うたう会、川内うたう会、民青合唱団、開発青年隊コーラス（多賀城）、小牛田おんちコーラス、岩出山、南郷、涌谷、古川ともしび、愛唱クラブ（宮城）
7. 1 第10回みんなうたう会（4期生入団1周年記念・公会堂・107名参加）4期生は14名残る

5 大崎地方合唱サークル交歓会

発表曲－フォスター曲集、そーらん節 歌唱指導
－陽気な仲間、大地の歌 フォークダンス 合唱
団いずみの賛助出演

- 7. 13 どんぐり2周年記念の会参加 (16名)
- 7. 17 合唱団白樺仙台公演 (労音主催)
- 7. 18 同 終了後合唱交流 (仙台合唱団、いずみ、翠生会、どんぐり)
- 7. 20 東北地区うたごえ活動者会議 (教育会館)
山形4、青森1、宮城5、福島1、音楽センター1
30名
仙台合唱団が東北の活動の連絡センターになることを決定 佐久間参加
井上頼豊来仙、会議後仙台合唱団レッスン場で合唱講座
- 8. 2・3 泉ヶ岳キャンプ (31名)
- 8. 18 青年問題研究会 (根白石) 歌唱指導
- 8. 22 松川集会演奏 (スワローと合同・10数名)
- 8. 24 読書会「播州平野」(8名)
七十七銀行夏期講習で合唱指導
- 9. 6 全国合唱団会議に藤村派遣
- 9. 10 名取上田青年学級合唱交流 (13名)
- 9. 15 勤評反対大会歌唱指導
- 9. 18 機関紙合評会
- 9. 19 道徳教育講習会阻止に参加 (有志10名)、歌唱指導
- 9. 21 宮うた祭典実行委員会 (合唱サークル協が呼びかけ・国鉄仙台地本)
実行委員長－谷 事務局長・情宣部長－菊地毅
組織部長－菅原武 (スワロー) 財政部長－野田
技術部長－小野隆右 日本のうたごえ担当－志子田
- 10. 2 中央合唱団中尾来仙
- 10. 5 合唱サークル協ピクニック (山寺・50名) 団では5名参加
- 10. 7 第11回みんなうたう会 (歯科医師会館・137名)
- 10. 11 県労働祭参加
- 10. 12 松川事件現地調査参加
- 10. 17 七十七銀行組合学校歌唱指導
- 10. 18 第1回大崎のうたごえ交流会参加
- 10. 25 宮うた祭典実行委員会 (国鉄仙台地本)
- 10. 26 東北うたごえ会議で日うた参加曲「真実の勝利のために」「我らの願い」決定
- 11. 3 警職法改悪反対宮城県文化人会議 (公孫樹食堂・20数団体)
合唱サークル協、宮うた実行委員会も呼びかけ団体にはいる→仙台合唱団が実行委員となる

- 7. 27 大崎地方合唱サークル協議会結成
古川ともしび、涌谷、岩出山、南郷、小牛田YY、中新田うたう会
福島県うたごえ協議会結成準備会

<p>11. 6 宮うた実行委員会主催警職法学習会開催（20名） 仙台合唱団で反対決議</p> <p>11. 7 警職法粉碎県民大会参加</p> <p>11.16 臨時総会（25名）－うたごえ祭典の意志統一 うたごえ運動の活動方向（反共攻撃に対して）谷 参加</p> <p>11.23 宮うた祭典（労働会館・28団体1000人参加） 後援 宮城県、仙台市、県労評、宮城労働金庫 実行委員会参加団体－合唱サークル協、仙台労 音、労評青婦協、全遼サー クル協、いずみ、どんぐり 仙台合唱団、スワロー、全 百貨、農林統計、小牛田Y Y、わだち、葦笛、翠生会 宮教組、こまくさ（白石電 報局）、山びこ</p> <p>特別出演 武藤桃州</p> <p>第1部 懇談会－合唱の指導と技術について 合唱サークルの運営について</p> <p>第2部 合唱祭（28団体）仙台合唱団発表曲－ この声きけ、収穫の歌、明日はぼくらの もの 各指揮者による全員合唱－高平、小野、 伏見節子（小牛田YY）、佐藤 義信（全遼）、酒井宏（労音）、 鹿島守（いずみ）、谷（実行 委員長）</p> <p>11.30 合唱連盟主催の合唱祭を合唱サークル協と一緒に 開催 参加の呼びかけ</p> <p>12. 6 日うた祭典（東京体育館）宮城から13サークル 90名参加 統一プロ「自由と民主主義を守るために」に東北 合同として「真実の勝利のために」で参加 農村のうたごえに「大漁うたいこみ」で参加</p> <p>12.20 国鉄うたごえ祭典（第6回仙台大会）準備会（国 鉄仙台地本会議室） 国労仙台地本、合唱サークル協、県労評青婦部、他 準備委員長 戸田菊雄 副委員長 志子田、田茂 勝一（国鉄仙台地本コ・サ協議長） 事務局長 千葉佳男（仙台地本教宣部長） 委員として 三浦一雄（労音事務局長）、谷（仙 台合唱団顧問）、中尾（中央合唱団）など 仙台合唱団からは杉本、梅沢が委員</p>	<p>11 相沢輝明、宮田、全電通塩釜分 会コーラス おたまじゃくし結成</p>
<p>1959年</p> <p>1.24 第2回国鉄祭典準備会で独自に「森のうた」実行 委員会を結成－在仙合唱団、指揮者団、準備会で</p>	

構成

事務局－国労仙台地本部内 週1回のレッスン

(2.11より) 指導－鹿島

団内では国鉄祭典の参加が「森のうた」に一元化されることに対する反論もあり

1. 30 全国合唱団会議 (志子田参加)
2. 15 国鉄祭典成功のための東北合唱団会議 (野田、志子田、谷、藤村参加)
日うた実行委員会委員長の今藤来仙 中央合唱団から中尾をオルグに派遣
・ アジア・アフリカ青年会議宮城県集会参加 (ユネスコ会館・20名) うれたぶどう、若者よ、もういやだ
3. 8 合唱サークル協議会総会 (労働会館)
出席 県庁、農林、わだち、どんぐり、スワロー、中新田、小牛田YY、いずみ、仙台合唱団、翠生会
オブザーバー 労音、経済連、葦笛
規約改正－事務局体制の確立
役員 会長 菊地 (いずみ) 副会長 谷 事務局長 野田 委員 スワロー、翠生会、どんぐり
3. 17 団員活動記録調査 (4月からの中尾レッスン計画のための資料)
生活環境、団と自分の生活の関連、歌を広めた経験、団に対する希望等
3. 20 総会についての話し合い (東北大北門)
規約・綱領の確定をめぐる討論
4. 5 定期総会 (20名参加)－中心合唱団へと発展するための意志統一を 常任委員会体制の確立
新役員 委員長 野田 常任委員 組織部－藤村 情宣部－佐々木春子 技術部－高平 財政部－房 委員－佐藤喜代子、針生喜太郎、茨木ふみ、佐久間和男、安藤重雄、高橋勤
4. 7 オルガンカンパの訴え
4. 11 合唱サークル協代表者会議－メーデーの取り組み、国鉄祭典、大崎春の祭典など
- * メーデー歌唱班の結成 (公演6回、歌唱指導14回、歌集1600－4.25現在)
東北金属、特殊鋼、東洋刃物、本山製作所、山文製作所、国鉄管内、宮教組など
4. 17 メーデーの歌を覚えるうたごえ講座 (県労評・合唱サークル協主催、講師中尾、19日まで)
4. 19 働く婦人研修会 (労働会館) 出演
4. 28 メーデー前夜祭 (日の出会館) 中央合唱団特別出演1300名
産業別うたごえという形の組織化

3 安保条約改定阻止国民会議結成

- 仙台合唱団は宮教組と「子どもを守るうた」発表
4. 29 むやまひろし講演会（電通会館・仙台合唱団、民青仙台地区委員会主催）
 4. 30 郡山メーデー前夜祭公演
 5. 1 メーデー参加 うたごえ大合同「大行進のうた」
 5. 11 うたごえ集約会議（仙台合唱団・合唱サークル協主催、後援県労評青婦協）
メーデーの総括と今後の取り組み うたごえ講習会について
 5. 23 第7回世界平和友好祭宮城県実行委員会結成（労評青婦協、宮城青年婦人会議、仙台合唱団、民青など）
青婦協議長の松浦を代表としてウイーンに派遣することを決定（6. 3）－カンパ15万円
 5. 30 井上頼豊を迎えてうたごえ講習会（合唱サークル～31 協・仙台合唱団主催・公会堂）
発声法、歌唱法、理論、討論 2日間で150円
 6. 2 参議院選挙で団推薦の須藤五郎当選
 6. 14 日うた実行委員会 世界青年学生平和友好祭に東北のうたごえとして福島野木政夫を送ることを決定
 6. 25 第12回みんな歌う会（公会堂）198名（団員28）
44団体に歌う会の宣伝
発表曲－声高く、真実の勝利のために、草原に、建設、会津磐梯山、全世界民主青年歌
 6. 26 東北大工学部職組文化部まつり出演 発表曲同上
 6. 27 松浦欽送会 若者よ、青年行進曲、真実の勝利のために、子どもを守るうた発表
 6. 30 情宣部による「うたごえニュース」発刊 情宣部は合唱サークル協機関紙「コーラス宮城」も担当
部員：佐々木春子、杉本勇、佐久間、梅沢敦子、中村、高橋、伊藤、茨木
 7. 1 松川事件三氏保釈歓迎会（300名）参加
 7. 10 土井鉄工所東仙台工場歌唱指導（6名）
 7. 12 第6回国鉄のうたごえ祭典（レジャーセンター）
2300名
後援 仙台市、河北新報、東北放送、県労評、県青年婦人会議、合唱サークル協
地元合同のうたごえ（責任者 藤村・指揮 房）
で「声高く」「全世界民主青年歌」
オラトリオ「森の歌」山本直純指揮 東北大オーケストラ
合唱団200名（仙台合唱団からS-14、A-11、T-7、B-8）
 7. 13 仙台市制70周年記念演奏会（主催 仙台市、森の歌実行委員会）1500名
 7. 14 共産党37周年記念集会出演（労働会館）

- 7.18 平友祭栗駒登山
- 7.25 安保全国統一行動（8名参加）
- 7.30 4期生修了演奏会（歯科医師会館）
 演奏－若者よ、小麦色の娘、エルベ川、子どもを守る歌、祖国の山河に
 5期生の募集－仙台合唱団は「うたごえは平和の力」のスローガンの下に、うたごえ運動を広め、演奏、組織活動を積極的に進める中心合唱団です
 6カ月週2回の練習、団費100円
 修了後仙台合唱団への入団試験を受けられる
- 7.31 中尾さんを送る夕べ開催（キリンビヤホール）
 発起人 戸田、谷、藤村、村山正（労評青婦協事務局長）、菊地（合唱サークル協会会長）
 ・ 東京のうたごえ祭典に藤村、房を派遣（西日本のうたごえにも代表派遣）
8. 1 平友祭海の祭典（石巻海岸）
8. 3 原水禁世界大会宮城県集会
8. 4 安保改訂反対母と娘の集会
8. 7 団総会－「4期生修了を期に、新団員の無原則な混在からくる立場の不統一を基本的に一掃」
 在籍62（S-25、A-18、T-8、B-11 休団3）2月から7月まで入団24、退団28 レッスン出席平均30～40
 財政白書提出 団財政（1カ月）
 収入 70円×30人＝2100円
 支出 講師謝礼1500円 会場費600円
 団費を200円に値上げ→その後第2財政白書を出し150円に
 指導料（スワロー350円、長町200円、市交通、丹六）公演指導料1900円、歌う会収入600円見込む
- 8.16 団内話し合い（16名）一期生週2回のレッスンの必要性
- 8.17 5期生開始
- 8.20 拡大委員会－合唱サークル協の範囲からもっと広く
- 8.22 宮うた祭典準備会（国鉄仙台地本）呼びかけ 合唱サークル協、仙台合唱団、東北合唱団会議
 参加 県評青婦協、いずみ、教育会館うたう会、七十七、わだち、翠生会、仙台合唱団、専売、県庁、合唱サークル協、電通、国公、葦笛、農林統計、国鉄、全通
- 8.30 5期生歓迎ピクニック（さいかち沼）
9. 6 全国合唱団会議参加

- 9.13 宮うた祭典第1回実行委員会（準備会20数回）
委員長 谷 事務局長 菊地（いずみ）
仙台合唱団からは志子田（組織部）、藤村（企画部）、茨木（総務部）、野田（財政部）
- 9.27 総会流会（11名）一期生から団員になる点の曖昧さ 団内の要求と団外の要求との統一
10. 7 第11回みんなうたう会（歯科医師会館）
・ 宮うた祭典第2回実行委員会
スローガン討議ー県庁の代表者から「もう少し柔らかく」 仙台地区のうたごえの組織化へ
東北合唱団会議代表者 菊地（合唱サークル協）
黒沢哲也（いずみ）に決定
10. 8 中小企業のうたごえ交流会（仙鉄ホール）
- 10.13 臨時総会（レッスン後・16名）ー「砂川」の演奏、新しい「松川」の創作、宮うたの取り組み
中心合唱団として第一の役割である演奏内容の追求
綱領規約原案できる
- 10.18 労評青婦協大会出演（8名）
・ 中小企業のうたごえ交流会（仙鉄ホール）150名
金属（山文、東洋刃物、東北金属）化学（弘進ゴム、東北ゴム、宮城化学、三徳化学）
一般合同（帝国製菓、丹六、土井鉄工所、大東セロファン、東邦運輸）
- 10.21 第3回宮うた祭典実行委員会
スローガン採択 ・うたごえは平和の力・平和のうたごえを職場地域に広めよう
・安保体制打破、松川の勝利をかちとろう・アジアの青年と共に世界の平和を固めよう
伊勢湾台風被災者カンパの訴え
- 10.28 松川守る会交流会（国鉄仙台地本）
- 10.29 砂川学習会（主催仙台合唱団組織部、情宣部・東北大北門）「安保体制下の伊達判決の意義」
11. 7 宮うた祭典前夜祭（日の出会館ホール）579名
合唱発表ースワロー、どんぐり、労音、河北、翠生会、百貨、葦笛、弘進ゴム、松原、仙台合唱団
世界青年祭参加報告 映画「安保条約」
仙台合唱団発表曲ー若者よ、美しき我が祖国、けつまづいてもころんでも、八木節、つぶやきをささやきを声にしよう
11. 8 宮うた祭典（主催 宮城のうたごえ実行委員会後援 県労評、宮城松対協、仙台労音・労働会館）

<p>参加31団体—岩沼、塩釜、大崎、白石、本吉、石巻、栗原、いずみ、電通、印刷、日通、農協、県職、国公、学生、全通、医療、朝鮮、金融、市労連、専売、全碓、国鉄、中小企業、仙台、主婦、教員、仙台合唱団、松川守る会、武藤桃州、七北田獅子舞</p> <p>特別出演 井上頼豊 参加者1100名 仙台合唱団発表曲（指揮 中尾）大合唱砂川、闘いの列をさらに固めよう（50名）</p> <p>11.10 中尾さんを送る夕べ（青年会館）</p> <p>11.13 宮うた実行委員会事務局を今後も国労仙台支部内に設置することの要請</p> <p>11.17 藤村山形オルグ</p> <p>11.22 日うた実行委員会（志子田参加）運営本部に志子田、全東北行動責任者に藤村を決定 ・ 福島のうたごえ参加（10名）</p> <p>11.23 佐久間盛岡オルグ</p> <p>11.26 第13回みんなうたう会（公会堂）</p> <p>11.27 安保改訂反対統一行動に参加—「民独」「真実」「つぶやき」を演奏</p> <p>12. 5 日うた創作発表会（杉並公会堂） 参加—闘いの列をさらに固めよう 大音楽会（都体育館）に東北合同として「紅花摘唄」「闘いの列をさらに固めよう」指揮 大島久敏</p>	<p>11 岩沼に「あぶくまコーラス」生まれる</p>
<p>1960年</p> <p>1 日うた以降のレッスンプランの不明確—委員会が開かれていない</p> <p>2 松川現地調査を団独自で行う（17名参加・全体43名）</p> <p>2 長町地区若者の集い参加</p> <p>2.25 5期生修了記念演奏会（23人中18名修了—七十七5、丹六4、国鉄、全通、東北ゴム、大学職員1） 6期生は初めて団独自の募集活動</p> <p>3. 7 6期生開始 担当 宮田、福井とも子、房、杉本</p> <p>3.21 宮城のうたごえによる松川合同演奏</p> <p>3.27 どんぐり第1回演奏会出演</p> <p>3.28 総会—総括と方針 委員長 藤村 常任委員会体制不明 運動の指導的な役割 典型的な演奏活動と教育活動 活動家集団 70名の団の実現 宮うた事務局の強化</p> <p>4. 3 総会（続き）→メーデーの取り組みへ</p> <p>4.10 第1回宮うた実行委員会（野田、志子田、房、神戸和雄、庄司隆子参加）—事務局の強化</p>	

- 4.13 メーデー歌講習会（電通会館・14日も）中元良子
歌唱指導「青年行動隊」「どんとこい」
- 4.16 いずみ第1回演奏会出演
発表曲ー子どもを守る歌、若者よ、祖国の山河
に、飛べよ鳩よ、森の歌第5楽章
- 4.17 安保反対県民総決起集会（共産党主催）に参加
（団員17、期生2）「インター」演奏
- 4.18 日朝青年の集い歌唱指導（佐々木春子）
- 4.22 「うたごえニュース」発行→後「書記局ニュー
ス」（教宣部）＊大槻、伊藤両氏中央合唱団常任
候補合格
- 4.24 沼波彊二、大泉房結婚式→房再び常任活動家にな
る
- ・ 大崎サークル協議会春の集い（加護坊山）参加
 - ・ 安保反対運動会（メーデー行事）
- 4.29 ピクニック（メーデー行事・泉ヶ岳）
- 4.30 メーデー前夜祭（1200名） 仙台合唱団発表曲ー
三池は俺達の闘いだ（合唱構成）
5. 1 メーデー参加
- 5.28 うたごえ講習会（～29）105名参加
- 6.14 長町国鉄ストオルグ（6名参加・レッスン後）
＊うたごえ行動隊の検討ーキャップ 藤村 副キ
ャップ 房、神戸
- 6.15 国鉄労組ゼネストに団として参加（長町駅・16名
参加）
- ・ 正午 日通（増田家次子、神戸）専売（房）職場
集会参加
- 6.16 樺虐殺学生抗議集会参加（杉本勇、藤村）
- 6.17 同上（杉本、藤村、中元）「同志は倒れぬ」歌唱
指導 県民追悼集会
国会請願団で瀬川国郎、沼波、庄司、上京
- 6.18 統一行動デー参加
- ・ 第2回長町地区歌とフォークダンスの会（55名）
ー6期生の呼びかけによる
- 6.19 第1回仙台的うたごえ協議会準備会（青年会館）
藤村、神戸参加
- ・ 第1回団活動家会議（沼波宅）参加者 宮田猪一
郎、斎藤（清）、藤村、沼波、房、神戸
対象者：常任委員、歌唱指導担当者（中元、神
戸、佐々木とも、杉本）+針生、村上、
庄子、沼波、相沢、宮田、瀬川、斉藤（清）
- 6.22 国鉄ゼネスト（仙台駅）にうたごえ行動隊参加
（24名+壇上 A、B班）
電通職場集会参加（房、増田、杉本、鈴木重子、
峰岸富子、壇上）
- * 労演、労音、民衆劇場と連名で安保批准無効国会
解散要求の声明書提出

- 6.24 山下定時制高校歌唱指導（中元）
- 6.26 第2回仙台のうたごえ協議会準備会（青年会館）
出席－電通、いずみ、専売、翠生会、東北ゴム、
仙台合唱団、宮うた事務局、労音
現在参加している合唱団で結成（+どんぐり、金融）
国民平和大行進歓迎会の取り組み－うたごえ旗り
レー、仙台集会での合同演奏 30サークル参加
- 6.29 動力車労組全国大会で演奏
7. 2 沖縄返還県民大会で演奏－沖縄を帰せ
7. 6 国民平和大行進松島集会
7. 7 同塩釜集会 仙台のうたごえ合同レッスン
7. 8 同仙台集会（労働会館）仙台合唱団演奏「アジア
平和行進曲」仙台合同「ヒロシマ大行進」
- 7.10 第3回仙台のうたごえ協議会準備会（青年会館）
－アコ教室（講師高平）、討論集会、結成大会の
提起
- 7.24 宮うた実行委員会
- 7.25 仙台のうたごえ討論集会（青年会館）
「うたごえ運動をどう進めてきたか」
出席－いずみ、労音、どんぐり、翠生会、仙台合
唱団
- 7.27 準備会事務局会議 出席－黒沢（いずみ）、菊
地、藤村
準備会活動の総括－職場合唱団の参加が弱い 方
針が明きらかでない
性格規定に関して－仙台合唱団を中心にうたごえ
運動を統一していく方向
平和を守る闘いと国民音楽創
造の課題
音楽活動家の任務と養成の課
題
→「平和で健康な歌を歌い広める」という段階で
理解し仙台のうたごえを統一する
軍備全廃等のスローガンは当面押しつけない＝
「いずみ」の水準をどう高めるかは決定的
- 7.28 第4回準備会－性格等討議（房参加）
8. 3 第14回みんな歌う会（公会堂）82名
8. 7 第5回準備会－綱領、規約案について（藤村）
・ 関東・東京のうたごえ参加（5名）
- 8.15 第6回準備会－綱領、規約、予算、役員等討議
（藤村）
- 8.20 第7回準備会
- 8.21 仙台うたごえ協議会結成総会（宮城女子高講堂）
－仙台のうたごえ祭典
綱領－「うたごえは平和の力」の合言葉の下に明
るい健康な歌をうたいひろめながら国民音楽の創

造をめざして進む

加盟—いずみ、仙台合唱団、専売、翠生会、一般
合同労組あすなろ、東北ゴム、電通、どん
ぐり、スワロー、日通、農林

個人加盟—田中、八幡、高平、谷、増田、小野、
沼波

未加盟結集—労音、葦笛、県税、金融、河北、藤
崎、市交通、農地

役員—会長 菊地 事務局長 神戸和雄 事務局
員 どんぐり、専売、電通、東北ゴム

8.27 宮うた実行委員会—地区うたごえ集会参加37団
体

コンクール形式による合唱発表企画（課題曲「若
者よ」）

9 県労評大会で演奏

9.24 仙台のうたごえ協議会討論集会（青年会館）

10.1 宮うた祭典前夜祭（仙台うたごえ協議会主催）

10.2 宮うた祭典（労働会館）

主催 実行委員会 後援 県労評、仙台労音 常
任実行委員会（菊地、谷、房）事務局長 房（代
理 志子田）

・コンクール形式による合唱発表 参加—どんぐ
り、スワロー、松原、仙台合唱団、翠生会、電
通、あすなろ、6期研究生、小牛田YY、いず
み、東北ゴム、おたまじゃくし（塩釜）、あぶ
くま（岩沼）

審査員—谷、織田政勝（国労）、鹿島（いず
み）、高平（アコ教室）、平野（仙台
一高）、中央合唱団

仙台合唱団発表—子どもを守る歌（指揮 中元）

・うたごえ大交流 28団体 1021名参加

参加団体—金融、佐沼、医療、市労連、県南、
日通、大崎、自治労、生協、栗原、
印刷、アコ教室、塩釜、専売、全
通、主婦、学生、石巻、朝鮮青年、
民青、中小企業、教員、仙台合唱
団、中心合唱団合同、仙台、電通、
国鉄、国公

仙台合唱団発表—正夫星よ、常磐炭坑節、千里
の駒に乗って（指揮 藤村）

・ 宮うた総会

10.8 6期生修了 26名入期18名修了15名入団

東北ゴム6、専売5、電通4、動力車、山文、市
職各1

10.24 7期生開始 担当 房、福井、杉本

11.20 東北合唱団会議、宮うた実行委員会常任委員会合
同会議—日うたの取り組み

9 国鉄枕木コーラスできる
→D51合唱団へ

<p>日本のうたごえ実行委員（志子田）東北のうたごえ責任者（神戸）宮城のうたごえ責任者（杉本）</p> <p>11. 24 第15回みんな歌う会（公会堂）東北ゴム、弘進ゴム演奏参加</p> <p>12. 9 日うた祭典（杉並公会堂・都体育館～11日）東北合同「田植え歌」「桑畑」で参加（宮城から260名）指揮 井桁幸蔵、阿部秀而</p> <p>12. 12 日うた総会</p> <p>12. 13 全国合唱団会議 杉本参加</p>	
<p>1961年</p> <p>1 弘進ゴムコーラスと交流</p> <p>2. 4 全国合唱団会議</p> <p>2. 18 あすなろ1周年記念の集い演奏（日の出会館）</p> <p>2. 26 第1回宮うた実行委員会－事務局長に仙台合唱団メーデーの取り組み、松川結審全国集会の取り組み</p> <p>2. 25 第16回みんな歌う会（日の出会館）枕木コーラス友情出演</p> <p>3. 5 団総会（新体制不明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱領、規約の確定（2年以上の討議）－仙台合唱団は労働者階級の立場に立って、民族の歌をつくり、建設的な日本のうたごえと、諸民族の平和な美しい歌を生き生きと歌い広め、東北地方にうたごえ運動をすすめます。仙台合唱団はこれをはばむ日米反動勢力の政策と植民地文化に反対し、全国の中心合唱団と団結しすべての平和と独立をめざす民主勢力と手を結び闘います。 ・体制 委員長－常任委員－委員 団費月150円（休団50円） ・61年度方針－団員倍加、動力車に労働者合唱団の建設など ・団教育資料発行 ・公演・指導料（市内） 指導料（1時間）週1＝2000円、月2＝1200円、月1＝700円 臨時 アコなし＝700円、アコ付き（2名）＝1500円 公演料 1パート（4名＋伴奏・出演時間30分内）＝2000円 2パート（同45分内）＝3200円 <p>3. 18 翠生会卒演参加</p> <p>3. 21 婦人月間宮城県集会演奏</p> <p>3. 25 7期生修了（26名 入団15名） 動力車、電通各7、医療、化学各3、金属、市職、教員、日通、専売各1</p>	<p>1. 7 国鉄仙台地本合唱団結成 仙合から講師 （国鉄仙台地本コサ協中心合唱団）</p> <p>1. 14 福島川俣合唱団結成</p> <p>2. 3 金融合唱団結成 仙合から月2回講師</p> <p>2 福島音楽教室を発展させ福島合唱団、平センター合唱団、平野合唱団結成</p>

4. 1 うたごえ講習会（公会堂～2日）85名（仙台合唱団10名）講師中央合唱団今藤
4. 12 メーデー歌講習会
4. 22 第17回みんな歌う会（公会堂）スワローコーラス
友情出演 松対協、メーデー実行委員会挨拶
4. 23 メーデーピクニック
4. 27 松川最終弁論報告無罪要求全国大会（労働会館）
出演－松川を守るうた
4. 30 メーデー前夜祭（公会堂）実行委員長 高橋浩太郎
事務局長 房（代理 志子田）
＊5月から11月まで出産のため房休団
5. 1 メーデー参加
5. 7 民青10周年記念集会演奏
5. 11 8期生開始 担当 中元、福井 期生委員会をつくる（9名 委員長 岩井三郎途中で樋口健哉に交代）
これによって団員・研究生で105名となり倍化達成（全国中心合唱団会議も倍化達成）
5. 12 歌集発行（団芸術局）
6. 12 中国青年歓迎集会演奏
7. 4～ 平和大行進参加（古川、塩釜、岩沼、大河原、白石の集会にも参加）仙台－岩沼間には10数名参加
歌集1700部売上 「折り鶴胸に」普及
7. 9 研究生機関紙「ねっこ」発行（4号まで出る）
7. 12 七十七歌う会参加
7. 15 平和集会で「砂川」の演奏できず
7. 23 第2回宮うた実行委員会 委員長 谷 事務局長 志子田
7. 27 松川大行進 「迎えよう二十人」集団創作
歌集2500部販売
8. 8 松川無罪報告集会（レジャーセンター）
構成詩「松川」演奏（東北合唱団会議、宮うた実行委員会）
8. 13 第1回宮城県母親大会で演奏
関東・東京のうたごえ祭典派遣
8. 26 平友祭山の祭典・海の祭典 団は副実行委員
「キューバシー」普及
9. 1 第18回みんな歌う会（公会堂）98名（団13、8期生17） 9期生募集
友情出演 東北ゴム、あすなろ
9. 3 第3回宮うた実行委員会 政暴法反対の行動を起こすことも提起
9. 16 宮うた祭典前夜祭（公会堂集会室・仙台うたごえ協議会主催）
9. 17 宮うた祭典（公会堂）1700名参加
・コンクール形式による合唱発表 課題曲「俺たち若者」16団体 仙台合唱団は第2位

- 出場－ 8期研究生、仙台合唱団、どんぐり、おたまじゃくし、小牛田YY、D51、労音、亘理、いずみ、国立宮城療養所、東北ゴム、古川合唱団、あすなろ、あぶくま、翠生会、国労仙台地本
- 仙台合唱団発表曲－輝く道
 研究生－うれたぶどう
 ・うたごえ大交流 37団体
- 参加－柴田、市労連、経済連、大崎、化学、日通、栗原、佐沼、生協、石巻、社青同、主婦、朝鮮、日中朝ソ、私鉄、金融、印刷、学生、塩釜、名取亘理、教員、紙パ、金属、自労、医療、金鉱、民青、電通、自治労、一般合同、夜間高校生、国公、仙台、動力車、国鉄、仙台合唱団
- 特別出演－宮城村芋沢田植え踊り、中央合唱団
 訪中記念公演
- 仙台合唱団演奏－砂川
- 9.23 東根日赤オルグ（8名）
10. 8 宮うた実行委員会－宮うた総括、事務局体制の強化、日うたの取り組み
- 10.22 東北のうたごえ代表者会議（東北合唱団会議・宮うた実行委員会）－日うたの取り組み
- 10.27 8期卒演（歯科医師会館）46名入期18名修了15名入団
 動力車11、市職5、医療、化学各7、中小企業4、全通3、生協、金融各2、電気1
11. 9 ロシア革命44周年集会演奏
- 11.11 9期生開始
- 11.19 あすなろ歌う会演奏
 ・ 七十七従組文化祭演奏
- 11.23 医療の仲間大交流会（日の出会館）
- 11.25 青森のうたごえ参加（8名～26日）藤村、千枝、半沢、菊池和子、加川、佐々木京子、樋口健哉、斎藤
12. 2 民青文化祭でいずみと合同演奏
12. 7 三徳化学労組スト支援
12. 4 日うた結団式 日うた実行委員 神戸 東北責任者 志子田 企画責任 佐々木とも子
12. 9 日うた祭典創作発表会（久保講堂）「迎えよう二十人」発表 指揮 藤村
- 12.10 日うた大音楽会（都体育館）東北合同で「花笠音頭」「迎えよう二十人」発表
 宮城から180名参加 全国合同「日本の夜明け」
- 12.11 日うた総会
- 12.17 団活動者会議－職場労働者に対する分裂攻撃に対して

11 第1回日うた農村のうたごえ活動者会議

12.26 臨時総会－日うた総会資料討議、61年度総括
 新役員 委員長 藤村 副委員長 神戸 書記局
 長 柳川定夫 芸術局長 福井 財政
 菊地和子 組織 佐藤千枝 情宣 半沢
 紀男－以上常任委員
 芸術局－藤村、房、中元、佐藤勝男
 委員－大場幸子、岩井、加川洋子、千葉
 慶一郎、桶口道夫、宮田敬子、高橋勤
 団費250円に

1962年

- 1. 1 あかつきの大合唱（10名参加）－歌集発行（1月
中に943部普及）
- 1. 9 「団週報」発刊 常任委員会の持ち回り担当（藤
村、福井、房、幸子、千枝、勝代、神戸）
- 1.13 アカハタ開き演奏
- 1.14 政暴法反対婦人祭り出演－ゴラク版「合理化ナ
ベ」発表
- 1.15 花京院町内会成人式、民青成人式演奏
- 1.18 文化団体連絡会議準備会－市長選に対して文化関
係団体集まる（23団体）
賛同団体－＊労音、＊労演、映協、仙台うたごえ
協議会、＊仙台合唱団、＊ローゼンシ
ュタットコール、いずみ、こだま、労
音合唱団、翠生会、全農林合唱団、国
労地本合唱団、金融合唱団、あすな
ろ、木曜会合唱団、D51、職場演劇
サークル協、＊劇研銅羅、仙台民衆劇
場、＊仙台小劇場、劇団プロセニウム
（＊世話団体）仙台合唱団の責任者は
藤村
- 1.19 文団連準備会社共統一の島野市長候補に申し入れ
（22日に回答）
 - ①音楽・演劇団体などが自由に使える練習会場の
保障
 - ②芝居、オペラ、バレエなどの上演に適した近代
的大劇場の新設
 - ③文化センターの建設
 - ④文化団体への具体的援助協力－公会堂使用料の
軽減、「市政だより」などの文化面の充実・編
集参加
 - ⑤恒常的な文化団体と市政との交流の場をつくる
- 1.21 青年交流会（増田小学校）3名参加→このころか
ら演奏依頼相次ぐ
- 1.24 市民の集い演奏－初めて社青同主催の集会で歌唱
指導
- 1.25 宮うた実行委員会（委員長 谷）

1. 28 一関民青祭り演奏 (10名)
- ・ 東北合唱団会議 (沼波宅) - 東北のうたごえ祭典の計画
 - ・ 島野当選 - 「統一戦線の思想と実践の勝利」と評価
2. 2 日うた実行委員会 (~4日)
2. 3 青研集会演奏 (~4日)
2. 6 日韓会談粉碎連鎖集会演奏
- ・ 青森のうたごえ祭典参加 (8名)
2. 8 文団連結成第1回準備会 - 新たに、県合唱連盟、市民劇場、仙台シティバレエ研究所、高橋バレエ研究所、仙台サークル協、ひまわり舞踏研究所、文楽後援会参加
2. 11 団総会 - 「停滞から前進への1年」と総括 → 総合2か年計画へ
- 東北の中心合唱団へ 200名の団、5人の常任、東北祭典5000名で 団の第1回演奏会を計画
 主要な産業経営に合唱団をつくりそれぞれを東北のセンターに
 教育資料の作成
- 体制 委員長 藤村 副委員長 神戸 書記長 房 常任委員 福井、半沢、菊地和子、佐藤千枝
 委員 中元、大場、加川、高橋、岩井、千葉、樋口道夫、樋口健哉、柳川、斎藤弘太
 書記局員 柳川、加川、大場、横山順子
 芸術局員 中元、房、藤村、佐藤勝男
 情宣部員 弘太、慶一郎、千葉勇次、中元
 財政部員 佐藤典子、房
 研教部員 房、藤村、健哉
 東北合唱団会議 藤村 宮うた実行委員会 神戸、菊地、志子田 仙台うたごえ協議会 神戸
 うた新分局 勤
- 団員数 S-11 (休団2) A-16 (休団5) T-13 (休団4) B-13 (休団3)
- *総会修了後8期生同窓会「根っこの会」結成
- ・ 月ヶ丘・西多賀青年学級主催「若者の集い」参加 (9期生)
2. 17 長町地区働く若者の集い参加
2. 18 矢本基地調査参加
- ・ 民青スキー教室演奏
2. 19 久々に仙台うたごえ協議会委員会開かれる
2. 20 文団連結成第2回準備会 - 綱領討議 (神戸出席)
2. 22 団委員会
2. 25 市内夜間高校生卒業祝賀会演奏 (12名参加)
- ・ 第1回宮うた実行委員会
3. 5 仙台うたごえ協議会総会 (神戸、房、柳川参加)

3. 6 文団連結成総会及び島野市長を囲む懇談会（公会堂）
 加盟－＊労演、＊労音、労映、仙台合唱団、＊ローゼンシュタットコール、労音合唱団、いずみ、こだま、木曜会、＊仙台うたごえ協議会、＊職演協、仙台小劇場、鈍、市民劇場、サークル協（＊幹事団体）
 事務局は労音
 県民会館建設についての要望 平友祭の取り組みなど
3. 7 労音民謡教室参加（房、藤村）
3. 8 東部若人の集いオルグ
3. 10 あすなろ2周年記念演奏会友情出演
 日うたから石渡健二、山本喜一來仙→東北オルグ（山形、秋田、青森、盛岡）に藤村同行
3. 11 翠生会卒業演奏会出演（12名）
 ・ 振興相互従組結成大会（4名参加）
 ・ 沖縄民青代表歓迎集会演奏（4名参加）
3. 18 農村工作（松島）軍縮カンパ活動参加
3. 20 春闘第3次統一行動屋内集会演奏
3. 25 軍事基地撤去東北大集会三沢基地調査参加（4名）
3. 31 国鉄時限ストライキ参加（7名）
 ・ 常任委員会で地域分担（東部、中部、南部、西部、北部）一斉歌う会の提起
4. 1 第1回全国創作活動者会議－福井、菊地よう子（いずみ）、菊地毅（労音）参加 ～3日まで
 ・ 4組合同結婚祝賀会（日の出会館）
 茄子川満理子・志子田、中元・高橋勤、大場・神戸、宍戸春子・針生
4. 8 アコ教室開講（一期生 4カ月 大谷幼稚園 受講料1カ月300円 講師高平）
 ・ 主婦と働く婦人の宮城県集会演奏
4. 10 娘・母・息子の集い演奏
4. 21 市内3カ所の一斉歌う会（東部、中・西部、南部）
4. 22 アカハタ春祭り出演（八木山グラウンド）
4. 26 メーデー前夜祭（公会堂）
4. 28 東北大工学部新入職員歓迎集会演奏
 ・ 全国創作活動者会議報告会（宮うた事務局主催・宮城労評2階）
4. 29 団演奏会第1回実行委員会
4. 30 メーデー前夜祭野外大集会（県庁前広場）
5. 1 メーデー参加－期間中平和歌集6700部、ピース1424部販売
5. 3 若者の集い演奏
5. 5 全国合唱団会議総会（藤村出席）～6日
5. 12 山形民青祭り演奏（11名参加）

3. 25 山形センター合唱団創立

- 5.15 9期生卒演うたごえの夕べ（大谷幼稚園）
- 5.19 宮城県うたごえ講習会（宮城労働金庫）
- 5.21 10期生入団（41名）医療11、国鉄4、白洋舎、鈴彦、東北急行、各2、学生3、仙台精研、仙台鉄道、丸仙タクシー、富士電気、協和メッキ、大同生命、宮教組、木下経理、三徳化学、常盤木学園、アイエ各1—期生は仙台合唱団2班と呼ばれる（団員は1班）
委員長 森和男
- 5.26 合宿レッスン（教育会館）
6. 3 2班ピクニック（19名）
6. 9 仙台合唱団を励ます会（演奏会に向けた修了者との集い・マルAストア—）発起人 谷、佐々木、亀一郎
- 6.10 合宿
- 6.15 第1回演奏会（宮城学院大講堂）545名
実行委員長 藤村 委員—房、神戸、良子、谷、佐々木、亀一郎、高平、福井
事務局長 高橋良子 局員—柳川、幸子、慶一郎、岩木洵子、須長照子
企画委員—福井、藤村、房、千枝、菊地幸市、神谷一、鎌田勝男
指揮—藤村、房 伴奏—高平、井上晶夫、佐藤勝男、菊地蓉子 司会—志子田、春子 照明—早川寿
出演者—S10、A11、T10、B8、10期生—S18、A12、T7、B4
開幕演奏—東京・北京、若者よ、青年行動隊の歌、明日は俺達の時代
1部（心はいつも夜明けだ）—シワジエベチカ、ワーシャワシリョーク、熟れた葡萄、作業場の休憩、シベリア大地の歌、幸福の河辺に豊作を祝う
2部（歌は闘いと共に）—花笠踊り、常磐炭坑節、燃やせ闘魂、迎えよう二十人、キューバシーヤンキーノー、沖縄を返せ、アジア平和行進曲
3部—組曲日本の夜明け
賛助出演—D51コーラス、合唱団いずみ
特別出演—武藤桃州
- 6.16 平友祭東北大祭典
- 6.27 平友祭フェスティバルダンスパーティー（レジャーセンター）

- 6.16 第1回岩手県うたごえ講習会
- 6 東北ゴム「くるみの会」発足

7. 1 団総会（労金会議室）
前半期及び演奏会総括 後期方針
サークル指導—サークル若人、長町動力車、あす
なろ、私鉄サークル
団員—T12（休団2）、B7、S11（休団2）、
A13（休団1）
7. 5 わらび座公演（公会堂）—平友祭企画
7. 8 第3回宮うた実行委員会 62年県祭典は行わず東
北祭典に結集することを決定
7. 14 平友祭蔵王山の祭典
7. 27 いずみ第2回歌う会賛助出演（大谷幼稚園）
7. 28 平友祭桂島海の祭典
8. 2 中西部みんな歌う会（東北大北門）39名
8. 16 七十七不当弾圧組合分裂反対宮城県集会（労働会
館）
8. 18 団総会が成立していないため常任委員会（19日
も）—36000円のカンパ提起
8. 19 東北のうたごえ祭典第1回実行委員会
8. 20 仙台うたごえ協議会サークル代表者会議（青年会
館）
市内サークルの状況—麦の芽（北部）、あゆっこ
（南部）、すべやの集い（中部）、若人
（東部）、むつみ（月ヶ丘）、夜学サー
クル
仙台サークル協議会（緑の会、茸会、広
場、葦笛）五月会
合唱団—仙台合唱団、いずみ、労音、どん
ぐり、あすなろ、D51、国鉄地
本、金融、県庁、農林
8. 29 10期生誕生会（青年会館）
8. 30 あすなろうたう会友情出演（中西部班・東北大学
生食堂）
8. 31 あぶくまコーラスにオルグ派遣
・ 動力車青年部旗開き参加（仙鉄ホール）
9. 3 友好祭代表歓迎の夕べ（日の出会館）演奏
9. 6 東部みんなうたう会（乳銀杏保育園・若人と共
催）39名（団16名）
9. 23 期生ハイキングを兼ねた青葉山現地調査
（11名参加）
9. 24 文団連県民会館建設に当たって知事に申し入れ
①大ホールの収容力は2500以上にすること、②舞
台は奥行き10間以上、間口15間以上にすること、
③花道、オケピットは移動仮設用にするこ
と、④楽屋について、⑤室間相互の連絡電話を設備す
ること、⑥稽古用の部屋をもうけること、⑦使用
料を安く、⑧文化団体の事務室について、⑨運営
の民主化
7. 8 福島県磐城地区うたごえ協議会
結成
7. 20 第8回世界青年学生平和友好祭
に山形センター合唱団の田中チ
ヨ子女性合唱団で参加
8. 8 金融合唱団イスクラ結成 指揮
者酒井惇一
- 8 原水禁世界大会「いかなる国」
問題で紛糾

* 国鉄仙台支部引っ越しのため事務所を自動車会館内民青県委員会内に移す

10. 4 西部みんなうたう会 (西部班・北門)

10. 6 北部・麦の芽うたう会 (北部班・医学部食堂)
・ 合宿

10.13 第1回東北のうたごえ祭典合唱創作発表会 (レジャーセンター)

参加—あぶくま、古川、D51、翠生会、木曜会、国労地本、あすなろ、10期生、仙台合唱団、いずみ

わらび座公演

実行委員長 斎藤義 (県庁) 常任実行委員 藤村、菊地、黒沢、井上、細川、渡辺、佐藤、田中、長崎

仙台合唱団発表曲—台湾に必ず勝利の旗を掲げよう、アジア平和行進曲、若い心へ

10.14 東北のうたごえ祭典 (レジャーセンター) 34団体 1500名 (目標の半分)

スローガン—核戦争阻止、核実験禁止協定を結べ 民族文化を守り、農村にうたごえを広めよう

全東北の統一と団結の成果を日本のうたごえに

参加—電機、私鉄、医療、報道、化学、日通、市交通、電通、全通、国公、動労、国鉄、交通、仙台合唱団、高校生、学生、教員、紙パ、農協、自治労、一般合同、金融、全畠、青年、佐沼、大崎、名取亘理、石巻、仙南、塩釜、仙台、宮城合同、山形、福島、東北合同

仙台合唱団発表曲—幸福河大合唱第6楽章 仙台合同—若い心へ 宮城合同—心はいつも夜明けだ 東北合同—日本の夜明け

わらび座特別出演

*基地撤去のスローガンに反対して社青同の不参加 組合としては取り組まない単産続出

10.21 三沢軍事基地撤去東北総決起大会参加 (4名・東北のうたごえから40名)

創作曲「三沢を必ず取り戻そう」歌唱指導

11. 6 10期生修了式 (レッスン場で)

11. 9 10期生修了記念うたごえの夕べ (大谷幼稚園)

12 民青祭で演奏 (日本の夜明け—いずみと合同)

12. 7 日うた歓送集会 (179名)

12. 9 日うた祭典コンクール形式による合唱発表会参加 (厚生年金ホール)

10. 7 第1回山形のうたごえ祭典

10.26 荒木栄死去

<p>発表曲－美しき祖国のために（課題曲）アジア平和行進曲 指揮 房 次点 地域の部で山形合同「最上川舟唄」「燃やせ闘魂」（指揮 阿部秀而）3位</p> <p>12.10 日うた10周年記念大音楽会（都体育館）東北合同－麦打唄、エルベの誓い忘れまい</p> <p>12.12 日本のうたごえ総会で仙台合唱団、沢恩10周年記念表彰、年間活動優秀団体に山形至誠堂病院歌う会</p> <p>12.28 11期生主催「送る会」</p> <p>12.29 第1回うたごえ幹部学校（委員、常任委員対象）柳川、千枝、房、米沢、神戸、国分、勝代参加</p>	
<p>1963年</p> <p>1. 1 あかつきの合唱（国見）</p> <p>1. 4 新年団結会（20名）</p> <p>1.13 新婦人の会結成集会演奏</p> <p>1.15 成人の集い演奏</p> <p>1.19 第2回うたごえ学校（～20日合宿）15名参加</p> <p>1.21 日韓会談反対統一行動参加</p> <p>1.23 アカハタ開きで演奏（公会堂）</p> <p>2. 1 全国合唱団会議総会（～2日）－藤村は日うた祭以降全国合唱団会議事務局長として就任（東京へ）</p> <p>2.17 団総会（北門）29名参加 総括－1年間に40回の歌唱指導、歌集（10円ピース）1424部、平和歌集（春闘時）6700、豆歌集400部等 指導参加者16名 アコーディオン伴奏者獲得（井上） うた新仙台分局取扱部数120部 方針－1000万人みんなうたう会運動 100名の団など 役員－委員長 神戸 副委員長 房 書記長 千恵 常任委員 神戸幸子 勝代 幸市 菅原宏子 委員 横山順子 金なか 渡辺清子 米沢二三子 *日韓会談紛争に関する決議</p> <p>2.23 東北合唱団会議（～24日）</p> <p>3. 9 第2回全国創作活動者会議に神戸幸子、横山を派遣（カンパ8352円集める）</p> <p>3.15 古川青年講習会で歌唱指導</p> <p>3.18 解放運動犠牲者追悼集会で演奏</p> <p>3.21 仙台うた協主催うたごえ学校（23、24日も）</p> <p>3.25 槇さん沖さん松本さんを励ます集いで公演</p> <p>3.26 春闘統一行動私鉄時限スト支援</p> <p>3.27 自治体に働く若者の集い</p> <p>3.28 全日自労職場公演（2回行う）</p>	<p>2. 3 秋田県うたごえ協議会結成</p> <p>* 青森センター合唱団、盛岡合唱団、郡山合唱団など結成</p> <p>2.23 全国うたごえ事業活動者会議 62年になって青森センター、秋田センター、山形センター、平センターが事業部を確立</p>

- 3.31 長町みんな歌う会参加（あゆっ子会と実行委員会
結成・長町小学校）－長町会館建設運動
- ・ 事務所を利休ビル4階に移し東北音楽センター開設 藤村の代わりに中央合唱団から星野定雄着任
設立カンパ9669円 事業基金62800円
レッスン場は全電通労働会館 アコーディオン教室は場所問題で開催できず
- * オカジ複団
4. 3 メーデー前夜祭実行委員会－仙台合唱団は事務局
長になる
- 4.10 前夜祭うたごえ代表者会議
- 4.14 11期生ピクニック（野草園）
- 4.19 川内公演
- 4.26 メーデー前夜祭（公会堂）750名 仙台合唱団
演奏－ゴラク版、日本の夜明け（合同演奏）
- 4.28 西花園で歌唱指導
5. 3 第1回全国教育活動者講習会に房、星野派遣
- 5.18 工学部歓迎集会
- ・ 学習会「世界婦人大会に向けて」（青年会館）
- 5.19 東北合唱団会議
- * 団員章できる
- 5.20 安保反対統一行動歌唱指導
- 5.22 県庁広場歌う会
- 5.25 労災病院患者慰問
- ・ 一関公演
- 5.27 12期入学11期修了の夕べ（公会堂）
11期は9名修了5名入団、12期は21名入期（目標
70名）－担当者 房、菅原宏子
6. 6 三沢集会についての学習会
6. 8 宮教組青年部総会歌唱指導（日の出会館）
- ・ 北部働く若者の集い歌唱指導（公会堂）
- 6.12 昼休み県庁広場（毎水曜）、労災病院、司法であ
う会 夜仙台コンクリート歌う会（毎水曜）
- 6.13 昼休み西公園うたう会
- ・ 中央合唱団仙台公演実行委員会－事務局長 千枝
- 6.15 東部うたう会（若人主催・乳銀杏保育園）公演
- 6.16 三沢大集会参加（勝代、石森）カンパは5000円目
標に対して965円
- ・ 東北合唱団会議
- 6.22 全東北教育活動者会議（山形）に7名参加（～23
日）
- 6.23 12期生ピクニック
7. 6 全国郷土のうたとおどり活動者会議に1名派遣
（～7日）
7. 7 宮うた活動者会議 中央合唱団公演、宮うた祭
典、東北うた祭典

4 うたごえ新聞 青森10、秋田14、
岩手15、山形59、宮城120、福
島95

参加一麦の芽、翠生会、丸光、金融、動力車、い
ずみ、司法うたう会、医療、厚生協会、河
北、自治労、あすなろ、仙台合唱団、東北
音楽センター

事務局体制の整備—事務局団体（仙台合唱団、い
ずみ、自治労、電通、翠生
会、宮交青）

- 7.15 中央合唱団仙台公演（主催 宮城のうたごえ協議
会、東北音楽センター・公会堂）

600名（仙台合唱団で342組織）

活動に参加した団員28、12期生12

仙台合唱団友情出演—世界をつなげ花の輪に、建
設、走れ！D51、美しき
祖国のために、日本の夜明
け（中央合唱団と合同）

- 7.28 第1回宮うた実行委員会—事務局長 勝代
仙台合唱団から事務局に星野、神戸、千枝 実行
委員 房、幸子、武田、那須
仙台合唱団の組織分担—食品、高校生、化学

8. 2 団臨時総会（26名）

前期総括 県庁広場うたう会（中央印刷の菅原、
横山、須長が指導）、工学部サーク
ル、長町うたう会
うた新98部固定

8. 6 全国郷土のうたとおどり活動者会議1名派遣

8. 9 団臨時総会（続き・34名）

事業—年間収入平均額を約半年で達成 メーカー
歌集5124部 豆歌集960 青年歌集318 レコード
91

中央合唱団公演、平和月間総括

規約改正—一班、二班の名称を団員、研究生とす
る

団内活動者会議を開き「大漁うたいこみ」の踊り
レッスン

- 8.11 星野結婚式

- 8.17 東北のうたごえ創作活動者会議（秋田）（～18
日）2名派遣「野菊」「医療の仲間」できる

- 8.25 小松島病院闘争支援

9. 1 横須賀集会に3名派遣（団員は10名でうたごえ行
動隊）

- ・ 第1回東北のうたごえ祭典実行委員会（秋田）
齊藤義（自治労）、柴（医療）、星野参加

- 9.21 国見台基地撤去集会参加

- ・ 細倉鉦山オルグ（武田）

- ・ 宮うた合唱発表会（日の出会館）250名

創作発表—医療（医療の仲間）、D51（走れD
51）、仙台合唱団（五月の若者、明

- 9.12 松川事件被告全員無罪確定

- るい日ざし、農村のうた、野菊)
 合唱発表－イスクラ、東北ゴム、木曜会、工学部
 むぎふえ、ドビーヌシカ（七十七）、
 D51、翠生会、いずみ、仙台合唱団
 （発表曲 統一列車は走る） 課題曲
 世界をつなげ花の輪に
- 審査員 楠本和彦（日うた）、谷、星野、高平、
 桜井（国鉄）
- 審査結果 職場－イスクラ、東北ゴム、D51
 階層－翠生会 中心合唱団－仙台合唱
 団 が選出
 仙台合唱団は「昨年にくべての前進は
 大きい」と評価
- 9.22 宮うた10周年記念祭典（公会堂）35団体 915名
 実行委員長 谷
 スローガン－今すぐ世界に平和を、原子力潜水艦
 寄港 F105D水爆積載機配備反対
 統一と団結のうたごえを更に高め、
 首切り合理化をはねかえそう
 掘り起こそうふるさとの歌、うたお
 う民族の心を
 全ての職場、地域にうたう会を
 県労評、社会党、共産党、平和委員会、本吉南部
 地区労、白石地区労青婦部よりメッセージ
 参加－日通、動力車、全通、電通、学生、塩釜、
 栗原、佐沼、仙台、農協、報道、紙パ、全
 日自労、医療、金融、新島太鼓、少年少
 女、教員、朝鮮、仙台合唱団、全礦、青
 年、石巻、仙南、大崎、名取亘理、宮城一
 般、国公、市交通、私鉄、国鉄、宮青交
 合同合唱「地底の歌」
 仙台合唱団発表曲－統一列車は走る、武器はみん
 な捨てろ、折り鶴（女性）
 仙台合同－手のひらの歌、心さわぐ青春の歌
 宮うた総会（青年会館）9団体参加
 祭典約40000円赤字 日通、自治労、金融、栗
 原、石巻、仙南の前進
10. 5 宮うた実行委員会－祭典総括と東北、日うたへの
 取り組み
 仙台合唱団より「松川勝利の歌」（創作曲）提案
- 10.23 第1回みんな歌う会（生協ホール）
- 10.26 西部歌う会（3回→南部で2回、労災病院で1回
 など1千万人うたう会運動進む）
11. 9 東北のうたごえ祭典合唱創作発表会（秋田市産業
 会館大ホール）
 創作7団体 仙台合唱団－明るい日ざし、五月の
 若者、走れD51、農村の歌、医療の仲間

- 合唱発表21団体 仙台合唱団－ブッヘンワルドの警鐘
 中心合唱団課題曲 今すぐ世界に平和を
- 11.10 東北のうたごえ大祭典（秋田市スポーツセンター）42団体 3000名 宮城から50名 仙合20名
 特別出演 わらび座 朝鮮の歌と踊り
 東北中心合唱団合同－地底の歌 統一列車は走る、熟れた葡萄、ブッヘンワルドの警鐘
 宮城のうたごえ－松川のうた、大漁うたい込み
 仙台合唱団－新島太鼓 全員合唱－松川創作曲
- 11 12期生修了（7名修了2名入団）13期生募集（50名目標で13名入期・自治会委員長 政居利男）
- 11.16 いすくら第1回発表会（237名）に出演
- 11.17 サークル協文化祭出演
- 11.18 第2回みんな歌う会
- 11.20 労災病院歌う会
- 11.23 第1回登米のうたごえ祭典（佐沼高校体育館）－
 県内初の地域祭典150名
 仙台合唱団出演－統一列車は走る、熟れた葡萄
- 11.27 長町歌う会
- 12.11 労音ダンスパーティ参加
12. 2 日うた祭典大音楽会 全国合同 地底の歌 中心合唱団合同 ブッヘンワルドの警鐘 怒りを炎に
12. 3 東北合同 大漁うたいこみ
 松川のうた（秋田合唱団曲）
 合唱発表会 仙台合唱団 統一列車は走る（日比谷公会堂 14名参加）
 創作発表会で山形合同「今すぐ手を引け」「力よ空に燃え上がれ」
12. 5 日うた総会
- 12.13 翠生会発表会出演（農学部講堂）
 ・ 農協スト支援
- 12.15 市交通工作
- 12.18 第3回みんな歌う会
 ・ 長町みんな歌う会
- 12.23 工学部青婦部クリスマス参加
- 12.27 「うたごえ」臨時増刊号発行
- 12.30 1千万人歌う会の学習会

1964年

1. 1 あかつきの集会
1. 3 1千万人歌う会の学習会
- 1.15 未来をつくる成人の集い演奏
- 1.20 第4回みんな歌う会

1. 25 団総会（白萩荘・～26日）
 総括と方針 1千万人歌う会運動の前進と団建設の停滞（団員26、研究生13）
 公演活動の前進
 役員 委員長 藤村 副委員長 房 書記長 神戸
 委員 幸子、千枝、武田博徳、菊地泰義、勝代、A宏子、S宏子、幸市、横山、勤、井上捷夫、富美
2. 9 団臨時総会（12名参加）
 財政、事業、活動方針討議
 うた新買い取り110部（63.9よりストップ→6月から再開） 研究生が少ないため受講料減
 サークル指導2カ所（8000円）臨時3カ所 人権費が月々払えない状態 赤字127000円
2. 23 藤村・千枝結婚
2. 27 横山君追悼抗議集会演奏（9名参加・労金ホール）
2. 29 ビキニデー宮城県集会（日の出会館）歌唱指導
3. 1 ビキニデー10周年記念集会に菅原宏子(A)派遣
3. 2 電通のうたごえ祭典に向けた団内討議
3. 7 東北合唱団会議（～8日・音楽センター）
 山形での東北祭典計画 電通祭典の取り組み
3. 12 第5回西部みんな歌う会（59名）
3. 19 団委員会懇談会－「音楽センターをうたごえ運動躍進のとりでに」というアピール
3. 29 三沢基地撤去東北統一行動
4. 1 宮うた実行委員会メーデー月間うたごえ行動隊結成の呼びかけ（はちまきつくる）
4. 4 メーデー前夜祭実行委員会
 ・ 上京請願団歓送集会 団から勝代派遣
4. 8 メーデー歌講習会（9日も・音楽センター）
4. 9 西部歌う会（東北大講堂）
4. 12 第1回宮うた実行委員会 委員長 斉藤義 事務局 局長 藤村
4. 17 4.17スト
4. 21 いずみと共催で日うた方針学習会（フジヤ）
4. 24 電波高校歌唱指導
4. 26 北日本労働者総決起大会参加（県庁前）
4. 27 厚生協会歌唱指導
4. 28 沖縄デー歌唱指導
4. 29 医療のうたごえ交流会
4. 30 メーデー前夜祭（公会堂）
 仙台合唱団演奏－晴れた五月の、ブッヘンワルドの警鐘、統一系列は走る
 合同演奏－地底のうた 仙台地区うたごえ合同－

4. 18 東北音楽センターアコーディオン教室発足（毎週土曜日・300円）

相馬盆踊り

5. 1 メーデー参加
- ・ 神戸夫妻転勤で東京へ→書記長、技術部長、財政部長の後任決まらず→書記長は勝代に
5. 4 全国合唱団会議（藤村出席）－4.17問題
5. 6 団委員会－1月より5月までで去年1年分の売上15万達成
5. 9 塩釜合唱団第1回みんな歌う会で歌唱指導
- 5.10 団で閑上の大漁節の掘り起こし
- ・ 青学小牛田集会参加（青空幼稚園）
- 5.13 電通祭典実行委員会で全電通中央本部からの申し入れ強行採決
- ①4.17スト処分者は祭典参加をひかえること
 - ②組織決定外の政治論議をうたごえの中でやらないこと
- 5.15 宮うた実行委員会常任委員会名で全電通中央の不当な干渉に対する撤回声明
- 5.16 電通のうたごえ祭典合唱創作発表会（三島学園講堂）合唱17、創作4 1000名
- ・ 前夜祭 イスクラ、いずみ、木曜会、仙台合唱団友情出演 特別出演 わらび座
 - ・ 宮城県青年学生大集会（1500名・レジャーセンター）公演
- 5.17 第9回電通のうたごえ祭典（公会堂）－全電通中央の妨害をはねのけ39団体1000名参加
- 5.30 宮うた講習会（大谷幼稚園・～31日）61名 仙台合唱団10名 福島から2名盛岡から1名
6. 5 仙台市内サークル・合唱団交流会（公会堂）
6. 9 13期生修了式
- 6.12 14期生入学（33名）
- 6.28 宮うた活動者会議
- 6.14 第2回宮うた実行委員会
- 7.11 アコーディオン教室1期生修了演奏会（45名）
- 7.12 第3回宮うた実行委員会
- 7.26 第4回宮うた実行委員会
- 7.29 第10回原水禁世界大会参加納涼大会（西公園・宮うた協、新婦人仙台支部、民青、労音）
8. 1 宮城のうたごえ合唱創作発表会（大谷幼稚園）参加－いずみ、14期生（金は天下のまわりもの）、翠生会、仙台合唱団（夜明けのうた）、木曜会、イスクラ
- 1位イスクラ、2位仙台合唱団
8. 2 宮うた祭典（レジャーセンター）18団体参加－角田、あぶくま、報道、登米、金融、塩釜、栗原、青年、日朝、学生、国公、青年学生集会、仙台合唱団、主婦、アコ協、市交通、医療、自治体、国鉄、電通、全鑛、

6 全電通、全通、私鉄など日うた実行委員会脱退

8 原水禁大会でソ連と総評系脱退、分裂

在仙合同

友情出演 在日朝鮮青年同盟 特別出演 仙台民族歌舞団

仙台合唱団発表曲—みんなが笑う日まで、夜明けの歌、常磐炭坑節、大漁歌い込み

- ・ 原水禁大会うたごえ代表8名出発 藤村、勝代、紺野信幸
- 8. 3 宮城のうたごえ総会（音楽センター）
- * 8月に藤村入院
- 9. 13 総会を中止しての常任委員会（8. 31、9. 7の常任委員会流会）
団の執行機関が動いていない
- 9. 26 第3回東北のうたごえ祭典合唱創作発表会（山形市労働会館）13団体 250名
地域の部努力賞雄勝合同、職場1位イスクラ通信合同、中心合唱団1位山形、仙台、2位秋田、福島、3位青森、盛岡
- 9. 27 東北のうたごえ祭典（山形県民会館）36団体1000名
・ 実行委員長 齊藤義 事務局次長 藤村
宮城合同 大漁うたいこみ、相馬盆唄、この勝利ひびけとどろけ
- 9. 28 東北のうたごえ総会
9 教育部「教育資料」発行
- 10. 5 日うた沖縄公演に勝代派遣—沖縄派遣、日うた参加10万円運動
- 10. 7 宮うた常任委員会（毎週木曜日開催）
音楽センター維持困難となる（七十七従組移転、部屋代値上げなど計画性の欠如）
支出15000円（部屋代、雑費）に対し収入1500（レッスン使用料）×6=9000円
- * 宮うた後援会（会費1口100円、入会費100円）の呼びかけ
- 10. 11 第2回宮城スポーツ祭典参加（18日も）
- 10. 12 岩手自治労県本部青婦部主催うたごえ講座で藤村講演
- 11. 15 東北大学市民と学生の音楽祭（大学祭・500名参加）
- 11. 20 仙台合唱団財政白書
借金—センター設立資金借入れ（56000円）アコーディオン（27000円）印刷費（6000円）中央合唱団公演赤字（60000円）レッスン会場費（月2400円—電通労働会館ある時払い）
音楽センター費用月8080円がまかなえず（常任人件費は指導料などで賄うがその分団運営に支障）
責任の所在がないという問題

* 会津センター合唱団結成

<p>12 東北音楽センター「みんなでうたおう」シリーズ発行</p> <p>12. 3 藤村名で「組織及び体制について」→常任の請負を脱する体制作り 同「技術、教育白書」→自分達で身につけ創り出すレッスン 星野、中央合唱団依存体質への批判</p> <p>12. 5 「うたごえ新聞の現状」(仙台分局) 79部 20820円未納</p> <p>12. 6 藤村名で「団建設をおしすすめ成功を重ねて行こう」 今年の団活動の困難—中堅幹部のくずれるのを防ぎとめることができなかった →男声の獲得、団建設は職場にうたごえを起こすこと</p> <p>12. 8 宮うた実行委員会、全損保仙台地協に「受信用電話切替装置設置に関する要請」</p> <p>* 年末カンパ(目標60000円)の訴え</p> <p>12. 10 日うた祭典合唱発表会(文京公会堂) 宮城から93名 仙台合唱団(13名)—ウラルのぐみの木(課題曲)、夜明けの歌 指揮 藤村 「昨年来の消極性が克服できず」との評(井上頼豊) 大音楽会(東京都体育館) 東北合同—相馬盆唄、要求ドンパン節 指揮 伊藤幸勝</p> <p>12. 12 日うた創作発表会(共立講堂) 宮城—村の父ちゃん母ちゃん</p> <p>12. 13 日うた総会</p> <p>12 団臨時総会—団の活動の改善と団建設の必要性</p>	<p>12 日朝協会仙台支部青年部を中心にチョンリマ合唱団結成</p>
<p>1965年</p> <p>1. 1 あかつきの集会参加</p> <p>1. 15 成人式公演 東北のうたごえ活動者会議(わらび座・～17日) 藤村、千枝、勝代、阿部英俊参加</p> <p>1. 24 全建労家族会出演—自由ベトナム行進曲、平壤は心のふるさと、相馬盆踊り 団総会—停滞から前進がはじまったと総括 事業は前年比1.6倍244300円—青年歌集794、レコード75、ソノピース395、うたごえ歌集1530、平和歌集8500、平和歌曲集600、1千万シリーズ1350、日うた歌集75(全国平均1.4倍) 団員数—s 6、A3、T3、B3 休団6=21 期生9</p> <p>1. 25 アカハタ開き参加</p>	

- 2.12 14期生修了演奏会（歯科医師会館）
- 2.13 第1回在仙宮うた実行委員会
参加－国鉄、動労、医療、市交通、電通、自治
労、金融、いずみ、仙台合唱団、あぶくま
- 2.16 15期入期
・ 大洋漁業歌う会参加
- 2.18 春闘学習会（センター）－「春闘勝利うたごえ集
会」における第2うたごえの策動
- 2.20 第2回在仙宮うた実行委員会（美よし旅館）
- 2.21 スキー学校（面白山）参加
- 3. 6 春闘勝利うたごえ集会（東京・～7日）→県での
うたごえ集会の提起
- 3. 8 第4回委員会決定で6月に第2回演奏会の計画発
表
- 3 春闘勝利うたごえ集会
- 3.14 第1回宮うた実行委員会（センター）実行委員会
規約の確定 祭典計画
役員 実行委員長 義 副実行委員長 イスク
ラ、仙台合唱団 事務局長 藤村 次長 翠生会
加盟団体－国労宮城、国公うた協、イスクラ、木
曜会、医療うた協、翠生会、いずみ、
仙台合唱団
- 3.20 東北のうたごえ講習会（繋温泉・～21日）
－仙台合唱団、木曜会、塩釜合唱団から4名参加
- 3.24 民青第9回大会記念集会演奏
- 3.29 宮城歌舞団訪問
- 4.18 金融の仲間の文化祭公演（公会堂）
発表曲－金は天下のまわりもの、春の声、自由ベ
トナム行進曲、みんなが笑う日まで
- 4.13 沖縄・小笠原返還要求国民大行進にうたごえリレ
ー旗をもって参加
- 4.30 メーデー前夜祭参加
- 5. 1 メーデー参加（メーデー歌集5000部）
- 5. 5 むすことむすめのつどい参加
- 5.21 平友祭参加仙台合唱団みんな歌う会（公会堂）
- 6.12 宮うた講習会（～13日）－「ようこそ中国の友
よ」「平和友好祭の歌」創作
- 6.18 ベトナム代表歓迎集会参加
- 6.20 第1回東北のうたごえ事業部会義（秋田市教育会
館）藤村参加
- 6.25 原水協仙台地区集会参加
- 6.28 中国歌舞団仙台公演（スポーツセンター）協力
- 7. 7 沖縄行進泊まり込み
- 7. 8 後期第1回委員会
役員体制－委員長 藤村 書記長 勝代（財政）
組織 宏子 企画 福井、井上（以上
常任委員） 事業 三浦 うた新 佐

- 2. 1 社会党＝総評ブロック原水禁国
民会議結成

- 5.19 東北大学うたごえ祭典

藤チビ 研究生 芦立

- 7.11 東北のうたごえ祭典準備会（盛岡市みどり荘）
- 7.14 日韓会談反対青年共闘学習会
- 7.18 センター改造運動 在仙合唱団サークル代表者会議
団が直接協力指導しているサークル代表者会議
（西部歌う会、労災、南部、アコ教室）
- 7.20 平和行進参加（5名）
- 7.27 世界平友祭アルジェ祭典に藤島紀恵子（団員・労災病院）派遣
8. 7 平友祭（鬼首）参加
- 8.15 東北青年集会公演
- 8.18 第2回委員会一団の回りで運動は広がっているが
団は停滞、委員会が成立しない
9. 1 花笠踊り（八木節）掘り起こし＝飯坂町でのみんなうたう会特別出演
9. 5 宮うた実行委員会
9. 6 東北のうたごえ祭典第1回実行委員会 委員長 沢恩（岩手大学） 副委員長 藤村
9. 8 盆踊りをいれた歌う会（歯科医師会館）
- 9.12 県庁前集会参加
- 9.14 中国歌舞団歓送歓迎集会（労音10周年企画）
- 9.18 八木節学習会
- 9.28 国慶節前夜祭参加
10. 4 歌う会
- 10.14 中央合唱団宮城県オルグ（～17日・40日間の1パート東北オルグ）－井上、勝代、宏子担当
- 10.23 第4回東北のうたごえ祭典合唱創作郷土発表会（盛岡市産業ビル）19団体550名
郷土に「八木節」で参加 日うた推薦は釜鉄歌う会、全建労秋田、盛岡合唱団
特別出演 中央合唱団、わらび座、ほうねん座
- 10.24 東北のうたごえ祭典（盛岡市体育館）2500名
宮城から100人－金は天下の回りもの、自由ベトナム行進曲、八木節
- 10.25 東北のうたごえ総会（盛岡市公会堂）
11. 3 宮城のうたごえ行動隊結成－宮田、勝代、山口ら
責任者となり県内オルグ
11. 6 学習会（青年会館）
11. 7 宮うた実行委員会
- 11.14 東北大学大学祭全学フェスティバル音楽祭典に出演－イスクラ、ほうねん座、アコ教室、仙台合唱団など
仙台合唱団発表－新しいあいつ、熟れた葡萄、我が母の歌、広い道を行こう、会津磐梯山、起ち上がれ
9. 6 大河原第1回みんな歌う会（ザッコの会）
11. 4 日本音楽協議会結成 委員長芥川也寸志
事務局長 全通教宣部長漆崎達郎
- 11.17 イスクラ第3回発表会（公会堂）

- 11.21 団活動者会議（勝代宅）
- 11.26 日うた祭典合唱発表会 職場の部で釜鉄歌う会、
全建労秋田、中心合唱団の部で盛岡合唱団参加
- 11.27 日うた祭典大音楽会（日本武道館）東北合同一
とどろけ太鼓、そうだ仲間達 指揮 小畑健治
創作発表会（文京公会堂）東北合同一お父を返せ
（岩手）
山形合同、釜鉄歌う会参加
史上最高の52000人参加
12. 4 学習会（福井宅）
12. 9 東北電気オルグ
- 12.11 宮うた祭典前夜祭（県民会館中ホール）200名参加
創作発表会参加一翠生会、イスクラ、仙台合唱
団、D51、医療合同
合唱発表会参加一木曜会、塩釜合唱団、翠生会、
D51、イスクラ、仙台合唱
団、アコ教室
特別出演一電通エレキバンド、ほうねん座、中央
合唱団
審査委員一斉藤義、柳川、江口高信
- 12.12 宮うた祭典（公会堂）27団体 900名（去年の倍加）
実行委員長 義 副委員長 藤村、柳川 事務局
長 晶夫 次長 藤本和武（翠生会）
スローガン一とどけ侵略反対のうたごえ 朝鮮・
ベトナムの友に まき起こせ生活守
る闘いを 広めよう勝利呼ぶうたご
えを とどろけ太鼓 よびさませ民
族の誇り
連帯の挨拶一社会党、共産党、県労評、平和委員
会
参加一宮城一般、仙台南部、高校生、多賀城、電
気、石巻、保母、食品、労音、登米、報
道、女川、医療、学生、金融、自治体、ア
コ教、市交通、民間交通、仙台合唱団、主
婦、教員、相銀、通信、塩釜、仙南、日
中、国鉄
特別出演一ほうねん座、中央合唱団
合同演奏一ベトナムの乙女、地底の歌、南ベトナ
ムを解放しよう
・ 宮うた総会（53名参加）一実行委員会から協議会
への提案
- 12.13 16期生開始
- 12.18 民青フォークダンスパーティー
- 12.21 団臨時総会一65年総括に向けて（際だった前進を
遂げられなかった理由）
- 12.24 宮うた忘年会（白萩荘）
- 12.25 東北合唱団会議

- 12.28 団臨時総会（続き）
- 12.29 送る会
- 12.30 センター大掃除

1966年

- 1. 1 あかつきの集会
- 1. 7 団総会 総括と方針 「全体としては登り坂にきている」「運動に対する請負と受け身をなくそう」体制（案）委員長 宮田 副委員長 宏子 書記長（勝代、チビ、山口）
- 1. 9 うたい始め（宮うた）
- 1.12 アカハタ開き公演 発表曲－赤旗
- 1.15 民青成人式公演
- 1.23 新体連結成大会 歌唱指導－その日のために体をきたえておけ
- 1.26 日中の青年部結成大会出演
 - ・ 全建労公演
- 1.30 学校生協労組創立記念大会公演
 - ・ 宮うた実行委員会－宮うた協議会と名称変更し第1回協議会の会議を開催（宮うた協の新発足）
- 2. 1 うた新10部以上のサークルが分局と認められ直接送付
 - 翠生会12、イスクラ12、木曜会10、塩釜合唱団11、仙台合唱団33、アコ教室10、石巻労音10、チョンリマ5、労災コーラス部6、女川合唱団5、D51合唱団6、築館うたう会3
- 2. 4 レッスンの中で団に近ごろ来なくなった人の問題について話し合い
- 2. 6 松山事件現地調査
- 2.13 全国教育活動者会議参加－S宏子、岡本、山田
- 2.19 東北合唱団会議（福島・～20日）に団として芦立、荒川派遣－その他 藤村、小高（木曜会）、山田（D51）
- 2.21 みんなうたう会（宮うた・歯科医師会館）
- 2.27 団総会 17名参加（委任状1） 方針討議「一人が一サークル、一職場を持とう」
 - 「分裂うたごえ」は宮城では余り心配がない
 - うた新固定52部（10000円赤字）
 - 新役員 委員長 勝代 副委員長 宏子 書記長 山口孝宣 委員 芦立弘子、荒川庸子、晶夫、佐藤昭男、平田洋子、藤村、宮田
- 3.10 河北うたう会参加
- 3.13 晶夫、勝代結婚式
- 3.19 第1回東北地方郷土活動者講習会（ほうねん座）に宮田、佐藤（明）参加 14名
- 3.20 諸要求貫徹大統一行動参加（40名）
- 3.25 春を呼ぶうたう会（40名）

3. 6 宮城アコーディオン協議会結成

3. 26 全国創作活動者会議に宮田、山口参加（～27日）
4. 7 東北合唱団会議日うたから中央教育講師を迎える方針を出す
5月から第2週、月（福島）火、水（仙台）木（盛岡）金（青森）土、日（希望地）
講習料－定期受講地5500円、希望地7000円
4. 17 宮うた教育活動者講習会（センター）
4. 18 メーデー歌講習会（19、21日も）
4. 19 服部時計昼休みうたう会参加
4. 22 みんなうたう会（センター）
4. 25 国鉄仙台駅スト支援
4. 26 宮城バス、仙南バススト支援
4. 27 メーデー前夜祭（宮うた協が企画部担当・公会堂）うたごえ合同－地底の歌
4. 28 沖縄デー参加
5. 1 メーデー参加
月間中に平和歌集7000部、オルグー森永、气象台、キリンビール、東北大生協、簡保、鉄道弘済会、東北電工、損保、富士火災、振興相互、丸善、七十七、宮城バス、服部時計、河北、公済、労災、東北金属、逡信病院、帝国製菓、東北放送、岡商店、国立病院、全自交など
5. 3 全国郷土のうたと踊り活動者講習会（第5回）に初参加
5. 8 全建労演芸会公演
全自交スト支援（10、15日も）
5. 9 17期生開始（48名）
5. 10 中央合唱団奈良恒子来仙教育者として定期派遣
5. 27 団委員会で専従をおく方針出る
5. 29 東北のうたごえ協議会結成－東北合唱団会議で検討 日音協に対抗
会長－斎藤義 副会長－嘉藤都美子（福島）、芳賀晴雄（山形） 事務局長－藤村
6. 10 16期生修了
6. 12 鳴子公演（労音づくりをかねて）14名参加 400名
6. 27 宮うた祭典実行委員会結成
7. 2 うたごえ講習会（～3日）
7. 10 民青大文化祭宮城合同公演
7. 23 平友祭参加（野蒜海岸）
7. 30 気仙沼平友祭、日中友好協会キャンプ、国公共闘登山 それぞれに参加
8. 1 新専従となる高橋宏君を激励する会（センター22名）
債権（1口10000円）を発行し、団員70、研究生30
4. 30 酒田青年合唱団「雪どけの歌」発表（うた新）
5. 3 うた新分局長会議で東北5分局発送停止
5. 7 アコ教室 仙台、石巻、塩釜、大河原で同時発足
5. 15 青森県うたごえ協議会結成され東北6県すべてにうたごえ協議会成立

目標、66年2月から返済で8月1日より専従受け入れ

- 8. 7 指揮法研究会 (教育部)
- 8. 8 平和月間・うたごえ祭典に向け行動隊結成 (宮うた協)
- 8. 9 団常任委員会で高平復団討議
- 8. 11 平和盆踊り (宮うた・仙台合唱団共催・市民教養センター) →9. 18、25、10. 2、15にも講習会開催
- 8. 14 塩釜青年文化祭出演 (行動隊1パート)
- 8. 28 あぶくまオルグーうたごえ講習会 (宏子、平田参加)
- 8. 29 女川合唱団・石巻オルグ (山口)
- 8. 30 鮎川ざっこオルグ (山口)
- 9. 3 小牛田YY・古川オルグ (山口、平田)
- 9. 11 宮うた合唱創作発表会 (農学部講堂)
18団体250名ー昨年の3倍
職場ーイスクラ、D51 (以上推薦) 木曜会、坂うたう会、東北電気、宮城野コーラス (努力賞) 宮城医療コーラス、仙台合同庁舎うたう会 (激励賞)
地域ー塩釜合唱団 (推薦) スクラム合唱団、ポプラ合唱団 (激励賞)、あぶくまコーラス (努力賞)
階層ー仙台合唱団 (推薦) 発表曲ーきみは胸をはって、返せ沖縄 アコ協 (活動賞)、17期研究生、翠生会、黄河うたう会、チョンリマ合唱団
創作発表会推薦 仙台合唱団 (きみは胸をはって) 17期研究生 (みどりの夢) 翠生会 (かあさんの便り、朝露)
- 9. 12 帝国製菓オルグ (宏参加)
- 9. 18 大河原オルグ (宏子、アコ協鈴木)
- 9. 20 うた新に高平「君は胸をはって」発表
- 9. 28 石巻オルグ (山口)
- 9. 30 翠生会オルグ (宮田)
- 10. 1 大崎オルグ (山口) 河北オルグ (宮田)
- 10. 2 高教組オルグ (車田、山口) 佐沼オルグ (宮田、勝代、宏子、コン、布施、丹野)
- 10. 3 国公オルグ (江口)
- * その他行動隊として、農協、保母、主婦、報道、印刷、北日本電線ソニーなどオルグ
- 10. 5 うたう会 (おでんを食べながら30名)
- 10. 8 第5回東北のうたごえ祭典合唱創作郷土発表会 (福島市教育会館)
創作発表 (9団体) 仙台合唱団「きみは胸をはって」(推薦)
合唱発表 (21団体) 仙台合唱団「祖国」(推薦)

* 労音運動最高時64万から減少に向かう

10. 9 東北のうたごえ祭典大音楽会（福島市公会堂）
46団体一日音協が入り統一できず
宮城合同一きみは胸をはって、熟れた葡萄
- 10.10 東北のうたごえ総会（福島市教育会館）
- 10.13 沖縄・小笠原集会で「返せ沖縄」公演（宮うた・公会堂）
- 10.14 統一行動に仙台合唱団行動隊参加
- 10.16 宮うた祭典大音楽会（公会堂） 実行委員長 斎藤義
参加一塩釜・多賀城、郵便・通信、医療、教員、石巻、子ども、栗原、高校生、紙パ、国公、気仙沼、主婦、大崎、自治体、金融、報道、日朝、日中、交通合同、登米、仙南、労音、学生、保母、電気、宮城一般、国鉄・動労、仙台合唱団「祖国」「収穫の歌」「南ベトナムを解放しよう」
特別企画一構成詩「黒潮の歌」、アコ演奏、郷土「八木節」「秋田音頭」、返せ沖縄、地底の歌
特別出演一朝鮮青年同盟、ほうねん座
- 10.20 国労スト支援参加
- 10.21 第1回国際反戦デー 10.21スト支援
11. 3 うたごえ協議会ピクニック（丸太沢）
11. 6 福島のうたごえ祭典公演
- 11.12 17期生修了演奏会（64名参加）22名修了
- 11.22 日うた祭典合唱発表会（共立講堂）仙台合唱団一返せ沖縄、祖国（指揮 佐藤健次、高平）激励賞大音楽会（日本武道館）東北合同一きみは胸をはって、春闘音頭
- 11.23 郷土の歌と踊り 東北合同一秋田音頭、さんさ踊り
- 11.24 日うた総会（日本青年館）小編成のうたごえ行動隊優秀団体賞授賞
- 11.27 新団員学習会
- 11.29 入団式
- 12.10 翠生会発表会賛助出演（医学部講堂）
12. 4 石巻青年文化祭2パート公演
- 12.11 宏結婚式
- 12.13 鈴木善蔵講演会参加（団員29名参加）
- 12.20 宮うた忘年会（歯科医師会館）
- 12.22 18期うたう会（カワイホール：41名）
- 12.24 新団員歓迎会
・ 安保共闘県民集会歌唱指導
- 12.25 団総会 総括（34名中23名参加）
不十分であるが東北のセンター合唱団として自覚が高まりつつあり行動が起こされようとしている団員が少ない、常任委の不団結、古い団員の指導

<p>援助の弱さなどの欠陥 団員－S6、A11、T10、B7 団長 宮田 書記長 宏 委員 宏子、晶夫、房、ニキ、庸子、アッコ、山口、チビ、誠、ユメ、勝、平田</p> <p>12.26 全国中心合唱団常任委員会－常任委員を藤村から宏に交代</p>	<p>12.31 全通宝樹委員長労働戦線統一提唱</p>
<p>1967年</p> <p>1. 1 あかつきの集会 1.11 うた協うたいぞめ 1.12 団組織部機関紙係が機関紙部として発足し第1回目の会合－1月に機関紙第1号発行（名称未定） 1.15 成人式講演（公会堂） ・ 全国事業部会に平田派遣 1.16 仙台小劇場の新年交流会で歌唱指導 1.21 第1回日うた祭典実行委員会 1.22 気仙沼労音祭に歌唱指導（3名） ・ 日朝青年友好のつどい参加（世界バレーボール大会参加朝鮮選手団を歓迎する実行委員会） 1.25 宮うたで地方選の政策を聞く会（団員12名参加） 2. 5 宮うた協総会（青年会館）21団体46名参加－ 結集サークルは52サークルある 「恒例的な行事消化」ではなく「運動として明確に適用するよう、各サークルの意識面の強化をはかる」 役員 会長 斉藤義 事務局長 晶夫 事務局次長 車田 常任委員 総務－晶夫、藤村、車田 組織－宏子 企画－布施（木曜会）佐藤久雄（塩釜） 事務局員に大友誠</p> <p>2.10 全国創作活動者講習会に宮うた協から高平派遣（～12日） 2.11 晶夫大崎オルグ（～12日）鹿島台、涌谷、古川など ・ 建国記念日反対統一集会参加 2.12 ニキ、門間鹿島台で郷土の歌の掘り起こし調査（どうづき唄） 2.19 団教育部講習会（10名参加）発声（房担当）楽典、合唱（高平担当） 2.24 日うた教育者講習会に宮うたから宏子派遣（～26日） 2.26 第4回委員会で総会議案討議 ・ 宮うた協佐沼ポプラ、築館オルグ</p> <p>3. 3 第2回全通みちのくうたごえ祭典（公会堂） 宮うた協に協力要請→日音協問題でアコ協は協力要請拒否→要望事項を確認しアコ派遣決定</p>	

①日音協の方針を押し付けない ②宮うた協の活動、挨拶を認める ③宮うた祭典に全通宮城地本が協力する方向を明らかにする

3. 5 第5回庄内地区うたごえ学校に高平講師で参加
3. 6 宮うた幹部講習会（～8日・青年会館）－「社会派流行歌」や「日音協問題など」深める
- 3.12 団総会（21名参加）団員37名、研究生38名
会議の定期化が勝ち取られるようになった（常任委員会のうけおいの傾向の批判あり）
1年間で団の倍加達成→18期80名達成運動、塩釜合唱団を中心合唱団にする働きかけ
研究生対策部、教育部、郷土部、組織部、財政部、事業部、機関紙部
委員長 宮田 書記長 宏
- 3.15 歌う会
- 3.19 全建労演芸大会友情出演（日の出会館）
- 3.22 メーデー前夜祭実行委員会－日音協は余り問題にならず、実績により宮うた協が企画担当
- 3.26 地方選立候補者報道（うたごえ運動指導者）をめぐって宮うた協が声明
- ・ 山口、アッコ、森川送別会（センター）
- 4 機関紙に「やくしん」と名称をつける
4. 3 市内合唱団合同発表会（200名・県民会館）実行委員長 岩淵浩 後援 宮うた協
いすくら、すくらむ、仙台合唱団、塩釜合唱団、木曜会、D51、アコ協
仙台合唱団発表曲－戦車兵とトラクター手、春の
声、赤旗
合同－八木節
4. 8 18期生と団員の交流会
- 4.10 19期生開始（54名入期）
- 4.11 職場オルグ（東北金属、東北ゴム、北日本電気、山文鉄工所）
- 4.15 18期修了演奏会（100名）15名修了
- 4.18 宮うた祭典第1回実行委員会
・ 新入団員入団式（9名入団）
- 4.19 キリンビール、東洋刃物、大洋漁業など月間中46
職場団体オルグ
- 4.29 宮うた祭典第2回実行委員会
委員長 義 事務局長 藤村 組織部長 宏 企画部長 車田 財政部長 晶夫
- 4.30 メーデー前夜祭（レジャーセンター）
仙台合唱団演奏－赤旗、戦車兵とトラクター手、
南ベトナムを解放しよう
宮うた合同－返せ沖縄 全体合同－地底の歌
みんな歌う会（カワイホール・前夜祭終了後）50
名

3. 4 郡山合唱団創立記念発表会

4.15 美濃部革新都知事当選

5. 1 メーデー参加 16名 - 歌集10000部突破
5. 3 全国中心合唱団会議参加 宏が新常任委員になる
5. 5 全国郷土のうたとおどり活動者講習会に団からニキ、宮うたから伊藤武文派遣（～7日）
- 5.17 宮うたサークル代表者会議
- 5.21 宮うた祭典第3回実行委員会
- 5.27 宮うた郷土のうたとおどり講習会（～28日・農学部講堂）
6. 4 宮うた祭典第4回実行委員会
- 6.10 団うたう会（カワイホール・96名）
- 6.16 6月仙台学生集会（～18日・川内記念講堂）分科会に協力
- 6.18 宮うた祭典第5回実行委員会
- ・ 建設省（釜房ダム）オルグーその他 大洋漁業など24職場オルグ
- 6.25 宮うた祭典（公会堂）後援 労評青婦協 22団体 1402名組織
- 仙台合唱団24職場5団体にオルグ180枚組織
- 参加 通信、電気、一般、自労、公務員合同、アコ協、学生、農協、塩釜、報道、仙台合唱団、子どもを守るうたごえ、食品、全自運、金融、大崎、労音、医療、宮うたアンサンブル、東部、仙南、交通合同
- 特別出演 朝鮮青年同盟、遠島甚句保存会、琴合奏、ほうねん座
- 男声合唱 地底の歌 大合唱組曲 返せ沖縄
- 仙台合唱団発表曲（64名）飛べよ鳩よ、人のいい恋人、戦列へ
- 普及曲 はなしかけようよびかわそう（高平曲）
7. 2 佐沼職場発表会1パート参加
- 7.24 共産党25周年集会演奏（22名）
- 7.25 団臨時総会 23名出席 委任12名 情勢討議、方針
- 第2回演奏会の提起（来年3月）
- 教育部長、副委員長の辞意（健康、家事都合）
- 書記次長をおく方針
- 7.26 全自運オルグ
- ・ 学生原水協歌唱指導
- 7.29 平友祭（野蒜海岸）参加（15名）
8. 3 労音12月例会「第九」レッスン開始ー建部指導
- レッスン会場問題等で難航 仙台合唱団は36名登録
8. 5 印刷業者大会演奏（仙台ホテル）
- ・ 川岸闘争支援参加
 - ・ 原水禁大会にユメ派遣（カンパ10566円）
8. 8 団臨時総会
- 新体制 委員長 藤村 副委員長 宮田 書記長

宏 書記次長 小住芳枝
教育部長 房 組織部長 宏子 財政部
長 勝代 委員 高平

- 8.18 宮うた協拡大常任委員会－臨時総会が2回流会
うたごえ月間で保母歌う会、あぶくまコーラス加
盟
初級講習会は評価できたが、常任委員会の活動は
長続きしなかった
- 8.20 第1回東北のうたごえ祭典実行委員会(センター)
歌いたいすべての仲間にかかれた祭典にするた
め、「日うた祭典とは別個のもの」という確認
- 8.26 川岸盆踊り(川岸工場広場)参加
- 8.27 涌谷うたごえ講習会(15名)に派遣
・ うた新分局長会議－滞納40000円 部長 チビ
- 8.28 宮うた協臨時総会
宮田が事務局長になる
- 8.30 研究生主催みんな歌う会(カワイホール・103名)
9. 2 合宿(18名)団員相互の理解
9. 4 宮うた協代表者会議－合唱創作発表会に向けて
9. 7 第2回東北のうたごえ祭典青森実行委員会(青森
教育会館)
基本的性格5項目確認－一致できるスローガンで
祭典を開く、独自活動を保障する
9. 9 研究生創作合宿(青年会館)「不安な青春」完成
- 9.17 宮城県合唱創作発表会(塩釜公民館)
審査委員 斉藤義、今井邦男、安積嘉代、房、宏
創作7団体 合唱発表17団体
D51、木曜会、坂うたう会、保母、いすくら、
塩釜、石巻、白石、あぶくま、涌谷キリギリス、
翠生会、仙台合唱団、研究生、アコ協、川岸、宮
城野合唱団、雑唱団、農協、すくらむ、ポプラ、
チョンリマ、西部うたう会
特別出演 ほうねん座、東北造船ギターサーク
ル、ピアノ・バイオリン合奏
合同合唱 返せ沖縄
仙台合唱団発表曲－はなしかけようよびかわそ
う、日本の夜明け、人のいい
恋人
- 9.20 第2回東北のうたごえ祭典実行委員会
「5項目」の問題点討議
・ オペラ沖縄の取り組み始まり、高平が制作委員会
より推薦され派遣要請
- 9.28 団うたう会(140名)
- 9 仙台市の青年文化団体が共同の要望として市に青
年文化会館建設の請願書提出
- 9.30 第3回東北のうたごえ祭典実行委員会(青森市自
労事務所)

- 方針の問題点を常任委員会に委任
10. 1 東北のうたごえ常任委員会
宮城、山形などから「5項目」による分裂工作批判
10. 2 東北のうたごえ常任委員会—東北6県の合意を前提とし、日音協押しつけを排除
全林野代表常任委員会から脱退
10. 8 第3回東北のうたごえ実行委員会（自労事務所）
・ 宮城「反戦のうたごえ」集会（日音協）—平友祭
宮城県実行委員会が反対声明（10.4）
10. 9 第6回東北のうたごえ祭典合唱発表会（青森県教育会館ホール）16団体400名
入賞（職場）—D51、全建労秋田
（地域）—酒田青年合唱団
（中心合唱団）—仙台合唱団、秋田合唱団、
青森センター合唱団
活動賞—青森センター合唱団 努力賞—仙台簡保
雑唱団 激励賞—つくしの会
仙台合唱団発表曲 創作—人のいい恋人、はなし
かけようよびかわそう 合唱—戦列へ
10. 10 東北のうたごえ祭典大音楽会（青森市民会館）
1100名 宮城から103名仙台合唱団24名
職場合同 男声—地底の歌 女声—庄内おぼこ
中心合唱団合同—返せ沖縄
郷土—どんづき唄、大漁歌い込み
・ 東北うたごえ協議会総会
10. 14 19期生が自主的に集まって総括会（ブラジル）
10. 22 ほうねん座結婚式で演奏
10. 24 働く仲間の交流会（日の出会館）—帝国製菓閉鎖
2周年、川岸闘争支援
10. 28 19期生修了演奏会（30名修了） 20期生入期式
10. 30 新団員入団式—21名入団
11. 4 団合宿（19名）日うた祭典基本方針学習
11. 5 統一行動参加
11. 8 宮うたで日うた祭典方針の学習会
11. 22 発表会
11. 23 日うた祭典合唱創作発表会（渋谷公会堂）
仙台合唱団発表曲—とべよ鳩よ 37名
11. 24 創作発表会（渋谷公会堂）—人のいい恋人
11. 26 大音楽会（日本武道館）—仙台合唱団42名参加
（宮城から134名）
東北合同—テケテケ節、起ち上げれ
郷土のうたとおどり—宮城合同で「どんづき唄」
11. 27 日うた総会
仙台合唱団、D51が躍進していると評価
12. 3 団うたう会
12. 10 翠生会発表会演奏
10. 67年度全国創作曲に駒場としお
（酒田）「百姓の旗」、高平
「はなしかけようよびかけよ
う」推薦
11. 27 八戸センター合唱団結成

<p>12.17 東北うたごえ協議会代表者会議（盛岡）－東北うたごえ協議会の指導性を確立すべきであること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労音「第九」例会－指揮 山田和男 合唱に9名参加 <p>12.18 雑唱団パーティー1パート公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮うた代表者会議 <p>12.20 角田うたう会1パート演奏</p> <p>12.23 川岸団結もちつき大会参加</p> <p>12.24 団臨時総会－総括</p> <p>団員が着実に増え演奏力も高まってきている （名簿上55名レッスン平均20名） センターが狭くなってきている、東北の中心合唱団としてはまだ弱い 団指導サークル（定期）農協、国立病院、塩釜合唱団</p> <p>12.26 団年を送る会</p> <p>12.27 宮うた年を送る会</p>	
<p>1968年</p> <p>1. 1 あかつきの集会</p> <p>1. 9 うたいぞめ（教養センター）</p> <p>1.15 成人式公演（片平中央講堂）</p> <p>1.17 団委員会</p> <p>常任委員は三役のほかに組織部長（宏子） 教育－房、高平、荒川 事業－平田 研対－小住 機関紙－ユメ 財政－勝代 委員長2月いっぱい病欠 発表会は延期</p> <p>1.18 原船反対統一行動（レジャーセンター）6名参加</p> <p>1.20 日うた実行委員会総会で規約改正提案</p> <p>1.21 アカハタ開き演奏（県民会館）</p> <p>1.25 みんな歌う会（教養センター）</p> <p>1.26 葛西君追悼式（建設会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D51歌う会参加 <p>1.28 宮うた協総会（蚕糸会館）13サークル30名</p> <p>常任団体留任 会長 義 副会長 弘太(D51) 庄子（あぶくま） 事務局長 宮田 企画 相沢（仙合） 情宣 今野（アコ協） 財政 佐藤（木曜会）</p> <p>加盟サークル－D51、翠生会、木曜会、塩釜合唱団、スクラム、アコ協、保母、あぶくま、ポプラ、国鉄ひばり合唱団、仙合、坂うたう会＝12団体、個人会員2名</p> <p>1年間に新しく保母、石巻、柴田、ひばり、市職にサークル結成</p> <p>2. 2 学習協旗開き公演（県民会館）</p>	<p>* 大学民主化闘争激化</p>

- 2. 4 民青文化祭典出演ー日本の夜明け
- 2. 5 宮うた協サークル代表者会議ー合同発表会実行委員会発足
 - ・ 団常任委員会
- 2. 6 団委員会
- 2.10 気仙沼労音祭り公演（6名）
- 2.12 第1回うたごえ教室（登録10名5名出席、担当者会議週1回）
- 2.17 東北うた協総会（～18日・教養センター）
- 2.24 合同庁舎歌う会参加
 - ・ パブリカオルグ（6名）
 - ・ 民放連大会参加（松島）
- 2.25 米山公演（団24名、研究生9名）ー米山青年文化祭 仙台小劇場と一緒に公演
- 2.27 石巻歌う会参加（5名）
- 2.29 団歌う会
- 3. 3 宮うたうたごえ行動隊活動開始（隊長 宏）
- 3. 4 全国中心合唱団会議
- 3.10 あぶくまうたう会参加（5名）
- 3.11 宮うたうたごえ教室始まる（担当 相沢）
- 3.12 ほうねん座後援会参加
- 3.15 団常任委員会
- 3.16 研究生創作合宿
 - ・ 東北中心合唱団会議（～17日・山形）
- 3.22 農協労連スト支援（3名）
- 3.23 パブリカオルグ（6名）
- 3.24 統一行動参加（レジャーセンター）
- 3.26 第2回合同発表会（教養センター・委員長 弘太）14団体ーうたごえ行動隊活躍
 - 参加ーチョンリマ、塩釜合唱団、研究生、あぶくま、仙台合唱団、宮城野合唱団、保母歌う会、坂うたう会、雑唱団、いすくら、D51、ひばり、いぶき（自治体）、アコ協
 - 仙台合唱団発表曲ーうれたぶどう、きみは胸をはって
 - 女声合同ーつつじ 男声合同ー南ベトナムを解放しよう 全員合同ー返せ沖縄
 - ・ 平和大行進参加
- 3.30 仙南青年の集い実行委員会オルグ
- 3.31 団常任委員会
- 4. 1 宮うた祭典準備会
 - ・ メーデー実行委員会
- 4. 3 メーデー歌講習会（～4日）
- 4. 4 河北スト支援（4名）
- 4. 5 山文オルグ
 - ・ 白石ベトナム支援音楽の夕べ参加（6名）
- 4. 7 教養センター4周年記念芸能発表会参加

- 2 木曜会を発展的に解消「自治体合唱団いぶき」発足

- ・ 築館うたう会参加
- 4. 11 山文スト支援
- 4. 12 メーデーオルグ始まるー23職場
- 4. 14 仙南地域青年の集い（船岡公園）340名
- 4. 21 宮うた日曜講座始まるー中央講師 渡辺昌子
- 4. 22 宮うた祭典準備会ー労評青婦協、社青同は実行委員会に入らず呼びかけ団体にもならない
主要団体の呼掛けではなく「準備会」を呼びかけ準備会で実行委員会を結成
- 4. 24 県青年学生総決起集会（レジャーセンター）参加
- 4. 25 メーデー歌講習会（労金ホール・25日も）
- 4. 26 宮うた祭典第2回実行委員会
- 4. 27 20期生修了式（33名修了）
- ・ 佐沼オルグ
- 4. 28 統一行動参加（ハイキング予定は取消）
- 4. 30 メーデー前夜祭（公会堂）ー宮うた合同「返せ沖縄」「川岸闘争構成詩」（担当 宮田）
- 5. 1 メーデー参加 平和歌集14000部（1 去年の2倍、職場数で4.5倍）
- 5. 2 全国中心合唱団会議（～5日）宏参加
- 5. 3 全国郷土講習会（～5日）伊藤参加
- 5. 6 宮うた祭典第3回実行委員会
役員体制ー実行委員長 館山甲午 副 池田（国公） 事務局長 宮田
委員 車田、三塚（教組）、柴田（保母）、宏
- 5. 7 新団員入団式ー青田卓也、大場静子、鈴木みち子ら14名
- 5. 8 団委員会
- 5. 9 佐沼オルグ
- 5. 11 大洋、近鉄オルグ
- ・ 第2回宮城青年学生集会公演（レジャーセンター、12日東北大教養部ーベトナム代表団参加）
- 5. 12 松山事件現地調査参加
- ・ 第4回宮うた祭典実行委員会
- 5. 13 21期生開始ー申込65名
- 5. 15 新団員教室（宮田宅）
- 5. 16 9職場オルグ
- 5. 25 団うたう会（教養センター）
- 5. 26 日うた実行委員会規約改正 団体加盟の原則
- 5. 28 本山オルグ
- 5. 30 齊藤鉄工オルグ
- 6. 8 東北中心合唱団会議ー宏ブルガリア派遣問題
- 6. 9 宮うた祭典（公会堂）33団体 1300名 労評青婦協後援
参加ー中小企業、金融、報道、労音、医療、食品、県中、学生、高校生、国公、自治体、

- 農協、電機、栗原、大崎、アコ協、石巻・女川・気仙沼、登米、郵便、電通、D51、仙台合唱団、自労、朝鮮青年同盟、教組、主婦、子ども、保母、川岸、全金、全自運、バス電車のうたごえ、国鉄、仙南
- 特別企画－八丈島太鼓、琴合奏、支倉豊年踊り、遠島甚句保存会
- 職場合同－地底の歌 大合唱－返せ沖繩
- 仙台合唱団発表曲－「アジア平和行進曲」研究生と合同80名の演奏
- ・ 宮うた協緊急代表者会議－宏を世界青年学生平和友好祭（ソフィア）にうたごえ代表団事務局長として派遣する運動
- 6.22 宮うた協宏派遣委員会（センター）
- 6.23 平友祭派遣街頭カンパ始まる（目標40万、仙台合唱団20万）
7. 7 宏歓送会
7. 9 派遣カンパ達成－宮うた協始まって以来の額を短期間で達成（団19万円－書記長代理にヒラメ）
- 7.14 研究生ハイキング（権現森）
- 7.20 平友祭参加（団15名、研究生27名）
- 7.21 東北うた協
- 7.28 東北のうたごえ祭典実行委員会
- 7.30 団常任委員会
- 8.10 団合宿（18名・川岸寮）「恋愛について」「中心唱団とは」「サークルづくり」「レッスン場問題」
- ・ 東北アコ講習会
- 8.13 川岸盆踊り参加
- 8.17 福島で日本母親大会（～18日）研究生4名参加
- 8.24 第2回東北祭典実行委員会
実行委員長 館山 副委員長 宮田 事務局長 藤村
- ・ 宏仙台着
- 8.25 団臨時総会（22名出席）
各部部长 組織（宏子）教育（高平）機関紙（ユメ）財政（勝代）郷土（伊藤）事業（ヒラメ）うた新（大宮）研対（小林一茂・20）うたう会（みち子）宮うた（宮田、相沢）
- ・ 団員数 S21（休団1）A16（休団1）、T16（休団1）、B9
- 8.31 宮うたサークル交流会（～9.1・泉ヶ岳）60名
9. 1 日うた教育活動者会議（藤村参加）
9. 2 全国中心合唱団会議
9. 8 秋田県うたごえ祭典参加

- ・ 東北祭典実行委員会
- ・ うた協代表者会議
- 9.13 涌谷オルグ
- 9.15 大船渡祭典1パート公演
- ・ 気仙沼オルグ
- 9.17 研究生主催歌う会（カワイ）
- 9.19 鹿島台、若柳、佐沼オルグ
- 9.22 宮うた合唱創作発表会（東六番丁小学校）
 創作発表7団体－仙台合唱団「ベトナム参戦国の母や妻たちに」「春の使者」
 アコーディオン合奏 器楽合奏－宮城のうたごえアンサンブル
 合唱発表16団体 参加－あぶくま、21期生、塩釜合唱団、柴田うたう会、アコ協、合同庁舎歌う会、雑唱団、全日自労合唱団、坂うたう会、いすくら、保母うたう会、ひばり、D51、いぶき、翠生会、仙台合唱団
 仙台合唱団発表曲－風よ吹け、アジア平和行進曲
- 9.29 東北紙工ハイキング
- * 団歌集「春の使者」作成
- 10. 5 東北のうたごえ祭典合唱創作発表会（東六番丁小学校・462名）
 創作14団体 合唱21団体
 審査結果
 地域の部 2位柴田うたう会、青森あらぐさ
 3位酒田青年合唱団
 職場の部 1位D51 2位いぶき、保母歌う会
 3位全建労社合唱団、いすくら
 学生の部 1位岩大うたごえサークル
 中心合唱団の部 1位仙台合唱団 2位青森センター 3位盛岡合唱団
 仙台合唱団発表曲 創作－ベトナム参戦国の母や妻たちに 合唱－バイカル湖のほとり、春の使者
- 10. 6 東北のうたごえ祭典（公会堂・1146名）
 宮城合同－相馬盆踊り、出稼ぎの歌、一坪たりとも渡すまい 全体合同－返せ沖縄
- 10.10 団常任委員会
- 10.12 21期生創作合宿（川岸寮）
- 10.13 山形祭典1パート公演
- 10.14 職場団員会議
- 10.16 団常任委員会
- 10.20 門間・平田結婚式
 ・ 職場団員会議 8名参加
 ・ 第1回栗原のうたごえ祭典1パート公演－若柳高校生の参加が問題に
- 10.21 宏東北オルグ（～25日）

- 11. 2 21期生修了 (46名・20名入団—荒井静夫、谷井利子ら)
- 11. 3 東北うた協会議
- 11. 4 22期生レッスン開始 (49名)
 - ・ 塩釜合唱団オルグ
- 11. 5 新団員入団式
 - ・ 本山、山文オルグ
- 11. 7 本山オルグ
- 11.16 団歌う会
- 11.22 日うた祭典合唱発表会 (厚生年金ホール)
 - 中心合唱団の部 仙台合唱団発表曲「春の使者」で激励賞
 - ・ 創作発表会 (渋谷公会堂) 宮城合同「ベトナム参戦国の母や妻たちに」
- 11.24 日うた祭典大音楽会 (武道館)
 - 東北合同—おい仲間たち、外山節
 - 郷土のうたと踊り—どんづき唄
- 12. 4 ベトナム歌舞団実行委員会
 - ・ アルト会
 - ・ 小住家パーティー
- 12. 8 宮うた常任委員会
- 12. 9 団教育部会
- 12.10 ベトナム歌舞団公演
- 12.14 団歌う会
- 12.15 団委員会
- 12.17 団常任委員会
- 12.19 白石労音交流会1パート公演
- 12.22 団総会
 - 月1回のうたう会運動の定着 (100名前後)
 - 指導サークル—農協、国公、山形センター (藤村) ひらつか、河北、看護学院 (宏、宏子)
 - 小編成公演活動の前進に比べ、大演奏は「うまくなかったが感動が薄い」という評価あり
 - 中央講師のレッスン、中級テキストの学習、センターの拡張
 - 団員—S24 (休団4) A18、T18、B13
 - 団発表会の準備→自発的な団発表実行委員会の集まり
- 12.24 団送る会
- 12.27 宮うた送る会 (白萩荘)

11.30 秋田大学「黒い瞳」結成

1969年

- 1. 1 あかつきの集会
- 1. 8 宏二分脊椎のため1週間休養
 - ・ 総会決定に基づき自発的に演奏会実行委員会動き始める—団としての取り組みの弱さ
- 1.12 赤旗開き演奏

- 1.13 宮うたサークル代表者会議
- 1.15 成人を祝うフォークダンスの集い演奏
- 1.18 団新春歌う会（教養センター）
 - ・ 団創作合宿（3曲できる）
 - ・ 新規約後第1回日うた実行委員会（藤村、義参加）藤村が常任委員になる
- 1.20 宮うた協うたごえ教室3期生始まる
- 1.26 初級テキストによる団学習会
- 2. 9 わらび座で合宿（～11日）5名
- 2.11 宮うた協総会
- 2.17 いぶき演奏会出演
- 2.20 団うたう会
- 2.23 創作合宿（井上宅）一県知事選に向けて「みんなの宮城」できる
- 2.24 団委員会一演奏会実行委員会体制決まる
委員長一藤村 事務局一宮田 企画部長一高平
- 2.25 演奏会実行委員会
- 2.28 演奏会実行委員会
- 3. 1 22期生うたう会
- 3. 2 うたごえ喫茶「なかま」開店一毎週月、木曜9:00～10:50 利休ビル4階
支配人一宮田 ネコ、タミ、ユリ、山キチ
- 3. 5 演奏会企画部会
- 3. 6 統一行動参加
- 3. 9 春闘勝利集会演奏（レジャーセンター）
- 3.11 団臨時総会一演奏会に向けて
- 3.13 明るい民主県政をつくる青年の集い演奏（レジャーセンター）
 - ・ 演奏会事務局会議
- 3.14 演奏会実行委員会 演奏会に向けチュー短期専従
- 3.15 県民の文化を語る会参加（教養センター）
 - ・ 団うたう会（教養センター）一20名、関係者除くと1名という不調
- 3.16 大統一行動参加
- 3.28 北日本教育活動者講習会（教養センター・～30日）55名参加
- 4. 3 河北職場オルグ
- 4. 5 団うたう会（70名）
- 4.10 メーデー前夜祭第1回実行委員会一分裂策動あり
- 4.11 第2回演奏会（公会堂）700名 団員43名演奏参加
開幕一心はいつも夜明けだ
1部一オオブレネリ、リムジンガン、人のいい恋人、五木の子守唄、収穫のうた
2部一自動車を作る仲間たち、三池の主婦の子守唄、マンコロのうた、金は天下のまわりもの

- 3部－郷土のうたとおどり そうらん節、豊年こいこいなど
- 4部－自由ベトナム行進曲、ベトナム参戦国の母や妻たちへ、地底の歌、沖縄を返せ
- 4.13 宮うた祭典第1回実行委員会
実行委員長 館山 事務局長 宏
- 4.17 県労評5.11うたこえ集會中止決定
- 4.27 メーデー前夜祭（公会堂）
仙台合唱団発表曲－自動車をつくる仲間たち、春の使者
- ・ 宮うた祭典第2回実行委員会
組織部長 藤村 副 佐久間 仙台合唱団部員 新井、大場、フキ、ネコ、光枝、宍戸、小笠原
- 5.1 メーデー参加
- 5.4 県庁前憲法記念音楽會参加
- 5.6 「いぶき」からの抗議に対して団内討議
- 5.7 22期生修演
- 5.9 「いぶき」からの抗議文に対して回答－研究生の入団に対する「セクト主義」に対して
- 5.18 宮うた祭典第3回実行委員会
- 5.19 23期生開始（43名）
- 5.11 若柳うたごえのつどい参加
- 5.20 団臨時總會一名簿作成 S13 A14 T12 B15
- ・ 宮うた実行委員会「6.15反戦のうたごえ祭典」に対する申入書提出
- 6.16 歌劇沖縄制作拡大常任幹事會 宏出席
- 6.21 東北うたごえ協議會總會
- 6.22 宮うた祭典（公会堂）後援 県労評、仙台市長
44団体1300名（仙台合唱団組織148）
参加 仙南、食品・一般・百貨、國際友好のうたごえ、高校生、西部、東部、労音、子供を守るうたごえ、金属・電機、交通、細倉、医療・報道、通信、学生、自労、国鉄、仙台合唱団
- サークル合同－みんなが笑う日まで
女声合同－ベトナム参戦国の母や妻たちへ
男声合同－地底の歌
混成合同－歌劇「沖縄」プロローグ
特別出演－豊年座 特別企画－アコーディオン合奏、宮うたアンサンブル
仙台合唱団発表曲－日本の夜明け
- 6.29 福島県うたごえ祭典参加（23名）
発表曲－オオブレネリ、マンコロの歌、日本の夜明け
- 7.19 団總會
委員長 宮田 副委員長 ニキ 書記長 宏 次長 ネコ

7 山文に歌う會、若柳に「麦」で
きる

財政 佐藤フキ子 うた協 勝代 事業 ニキ
うたう会部 鈴木みち子 郷土 伊藤 教育 高
平 うた新 芳賀正子 研教部 青田 組織 大
場 情宣 小岩

団員43名(休団6名) レッスン結集平均40%

パート会(アルト、ソプラノのみ)

藤村退団し専従が1名になる

7.20 センターで毎週日曜日のうたごえ喫茶「仲間」開
始

カマラドイの始まりーカマラドイというカクテル
を売っていた

・ 高平うた新に「夜」発表

7.30 看学ゼミ公演 23名参加

8.24 宮うた祭典合唱発表会(白鳥ビル) 仙台合唱団、
保母、いぶき、塩釜、あぶくま、柴田、23期、
D51、イスクラ、自労、アコ協、アコグループ

8.28 団歌う会(教養センター・80名ー団員3、団外5
名の実行委員会体制)

8.31 山形うたごえ祭典に5名の小班派遣 体制弱く仙
台合唱団が請け負っているみたいだった

8 ネコ、ヒゲ結婚

9.5 第8回東北のうたごえ祭典合唱創作発表会(河北
小学校)500名 実行委員長小畑健治
創作9団体、小班5団体、合唱20団体

9.6 第8回東北のうたごえ祭典(盛岡体育館)1300名
実行委員長沢恩

女声合同「ベトナム参戦国の母や妻たちに」

男声合同「地底のうた」

全体合同「歌劇沖縄ープロローグ」

宏を専従に送るー東北のうたごえ運動のセンター
としての自覚を提起

9.26 テナーパート会

9.27 23期研究生と保母うた共催の歌う会(149名)

・ 気仙のうたごえ公演 6名参加

10.5 わかもの集い(雑誌「わかもの」の読者会)
歌唱指導

10.9 ソプラノ、アルト合同合宿 7名参加

10.12 東北工大祭参加 25名参加ー空白地帯に入ろうと
いうよびかけ

10.19 栗原のうたごえ祭典公演 6名参加

11.2 オペラのため中央講師(渡辺昌子) レッスン
(15、23日も) 12名参加

11.4 宮うたオペラ学習会

11.12 団うたう会(40名)

11.25 23期生終了演奏会(公会堂・150名)ーS4、A
3、T5、B1入団

8.20 矢口うた新に「網地島大漁節」
発表

10.5 平センターえくぼ15周年演奏会

<p>12. 1 歌唱指導講習会 *中心合唱団とは「追われる」活動から「追いかける」活動へというアピール（やくしん51号） *労音例会に民主的音楽運動の連帯をこめて（やくしん52号） 国民音楽の創造という点ではぴったり、みんなうたごえをよく知らないから普及を</p> <p>12.10 日うた祭典（渋谷公会堂）で歌劇沖縄初演</p> <p>12.11 日うた祭典合唱発表会 「ひびく声あり」（高平）「歌劇沖縄プロローグ」 30数名参加－目標は関西合唱団（宮田談・やくしん53号） 高平「さよならもいえないで」で創作69年賞</p> <p>12.14 大音楽会 東北・信越・北陸合同「百姓のせがれ」（仙台合唱団22期生作、高平補作）「こきりこ」 ・ 労音例会「あの人は帰ってこなかった」 高平合唱レッスン担当－労音合唱団結成へ</p>	
<p>1970年</p> <p>1. 7 赤旗開き出演 30名参加</p> <p>1.10 団主催ダンスパーティー（団財政赤字解消のため）</p> <p>1.15 成人の集い演奏</p> <p>1.18 歌唱指導講習会</p> <p>1.24 日うた実行委員会総会 常任委員に宏</p> <p>1.25 宮うた祭典第1回実行委員会</p> <p>2.15 宮うた祭典第2回実行委員会（センター）館山甲午実行委員長に決定</p> <p>2.22 栗原青年の集い参加</p> <p>2.27 宮うた祭典在仙代表者会議（レジャーセンター会議室・40名）</p> <p>3. 1 宮うた協総会（センター）</p> <p>3.11 団うたう会（ブラザービル・70名）</p> <p>3.14 拡大常任委員会 宮田「思いつく問題点」－ 家庭、職場の事情で団のウェイトを減らしたい 壁新聞の活用、団の中核づくり、レッスンの結集 など課題提起 財政問題 うたごえ新聞40000円赤字で読者に断わりなく配布ストップ（10月10日まで）</p> <p>3.15 県評春闘統一集会歌唱指導 ・ 23期生が大河原でみんな歌う会</p> <p>3.17 栗原青年の集い参加</p> <p>3.21 春闘統一行動歌唱指導 ニキ、サン、オノ</p> <p>3.22 あぶくまうたう会参加 フキ、オガ、ベン、サン</p> <p>3.23 河北春闘交流会参加 トコ、イッチ</p> <p>3.26 川岸総決起集会参加</p> <p>3.27 石巻自労オルグ</p> <p>3.28 食品一般オルグ</p>	<p>1 労音合唱団結成</p> <p>1.31 宮城県学協結成レセプション</p> <p>3. 8 文団連結成</p> <p>3.17 いぶき2周年演奏会</p> <p>3.26 川岸工業事件判決で親会社の賃金支払い義務を認める</p>

- 8.31 川岸盆踊り参加
9. 1 やくしん復刊
9. 5 土曜音楽祭参加 (13名)
- 9.15 第1回保母のうたごえ全国祭典 (仙台) 850名
組曲「私たちの青春」(高平曲) 発表
職場合唱団員から取り組みに対して批判ありー
よい音楽とは何か、現代化、大衆化について討議
- 9.19 土曜音楽祭参加
10. 3 創作合宿 (勝代宅)
- 10.10 うた新復活
- 10.11 宮うた合唱発表コンクール (歯科医師会館)
郵便雑唱団参加せず、塩釜も少人数
東北祭典推薦団体
合唱-D51、仙台合唱団、厚生協会准看
小班-D51 創作-保母、あぶくま
- 10.21 10.21統一行動歌唱指導
- 10.24 東北のうたごえ祭典合唱発表会 (秋田教育会館)
宏を専従に送る
日うた推薦 創作-あぶくま、保母 小班-D
51、岩大、青森センター 合唱-D51、厚生
協会准看 (祭典カンパ7万円集める)
仙台合唱団は落ちるー「東北の中心は宮城である
ことを忘れてはいけないと思う」(やくしん10号)
- 10.25 東北のうたごえ祭典 (秋田産業会館) 1400名参加
仙台から112名 中心合唱団がパッとしない
参加サークルが少ない
以降主として財政問題で東北祭典は開かれていない
- 10.31 25期歌う会 (130名)
11. 7 准看歌う会 (下馬にて、多賀城地区では初めて)
11. 8 栗原うたごえ祭典 (170名) 仙台合唱団8名参加
* 団学習会を第1、第3土曜日に行うことを決める
財政問題
- 12.10 日うた祭典
D51 職場の部第1位、厚生協会准看激励賞
郷土のうたと踊りに宮城・ほうねん座で「北上川
櫓こぎ唄」
創作70年賞ー「私たちの青春」「チェロのための
小品」 あぶくまコーラス「青春マーチ」で参加
仙台と関西が中心となった 高平の創作が好評
- 12.27 団総会
団員41名 (S11、A13、T9、B8、団友1)
休退団19名 (宮田退団する)
オペラ以前
「歌で闘っていく」「中心合唱団としての責
任」「うたごえ活動家は文化の担い手」の自覚
バラバラ

9 国鉄マル生反対闘争

オペラ以降

うた新再開、常任委の団結、うたごえ運動は何かの討論、みんなあぶくまコーラスが作っていくレッスン、など「圧倒的な感動を生む演奏は何によって作られるか」という60年代の提起に「生き生きと積極的にレッスンし歌うことだ」という回答が得られた（教育部総括）

委員会の確立が課題 レッスン結集最高29名 うた新読者75

150名の団、4人の専従を結集させる3か年計画
新役員 委員長 ニキ 副委員長 高平 書記長 宏 委員 八島、エナミ、トシ、伊藤、市川、トコ、勝代、オノ、青田

1971年

1. 1 あかつきの合唱
1. 15 成人を祝う集い演奏
1. 18 国労旗開き参加
1. 19 研究生創作合宿（オバ宅）17名参加
1. 23 チェロの夕べのための学習会
1. 24 赤旗開き演奏
1. 26 団歌う会（マルシンデパート・76名）
1. 30 25期歌う会一歩行者天国でアコーターによる宣伝活動などうたう会活動の前進
 - ・ 日うた実行委員会総会 宏参加
- * 宮うたから佐久間復団準備
2. 9 団うたう会（教養センター・86名）
2. 21 YFスキー交流会参加
- * 小磯昭子レッスン指導はいる（～6月体調崩して中止）
2. 22 井上頼豊チェロの夕べ（白鳥ビル・422名）
団が主催して団演奏の入らない音楽会を企画—
60年代では考えられなかったこと
団が関わる音楽会の記事が初めて河北新報に載る
高平作品が演奏され「市民権拡大」のひとつとなる
日うた運動の中でもユニークなものとして評価
団としては財政問題からの企画であったが、70年代の音楽運動（国民音楽の創造）という点からすればよい音楽を自分自身で聴く必要があり、クラシックから学ぶ必要を感じさせた
チェロの総括より、音楽会場、身近な歌う会の会場問題等、仙台市議選を前にしてうたごえの要求をもって市民にアピール（やくしんNo.23）
- * その後宏過労で入院
3. 5 第1回春闘勝利のうたごえ祭典（公会堂）
3. 6 25期修演

- ・ 東北うた協総会
- 3. 9 団歌う会（教養センター・77名）
- 3.16 新団員歓迎会
- 4.10 団歌う会（教養センター・46名）
- 4.17 季刊日本のうたごえ発刊
- * メーデー月間
団員を4地区に分担 1日約5カ所の要請 多賀城地区の前夜祭にも参加
食品、宮城交通、農協、明治屋、大洋漁業、P S
コンクリート、雪印、丸善、ソニーなどスト支援
春闘勝利うたごえ祭典参加
- 4.25 丸森青年の集い参加
- 4.29 メーデー前夜祭参加
- * 日音協は全林野の中に残っていたが春闘勝利のうたごえ祭典には不参加
中立労連からも歌唱指導の要請あり
メーデー歌集9450部
- 5. 1 メーデー参加 22名
- 5. 5 仙台市からの依頼で憲法記念集会での野外演奏（野草園）
- 5. 7 団臨時総会
全国中心合唱団会議常任、東北うた協事務局長、宮うた協事務局長、仙台合唱団書記長であった宏が、一身上の都合で事務処理を行わず団を去る→専従がいなくなる
活動が少数の活動家に集中してきたが、新体制で専従のいない団を支えていこうと決議
カマラドイが部となる アコ教育部新設・うたう会活動の前進を評価
新体制 教育（高平）やくしん（青田）うた新（小野）組織（カマ）アコ教育（佐久間）うた協（トシ、ニキ、サク、オノ）など
- 5. 9 宮うた協総会
加盟団体－保母、いぶき、D51、仙台合唱団、アコ協、あぶくま、イスクラ
役員 会長（佐久間）副会長（引地・D51）事務局長無し（団に要請があったが断わる）
委員ニキ、トシ、オノ、弘太（D51）丹野（いぶき）長尾（保母）
- ・ 団常任委員会で新しい団体制
委員長ニキ、副高平、書記長代行エナ、オノ、組織カマ、ネコ、教育高平、やくしん山キチ、うた新オノ、事業伊藤、研教トコ、歌う会引地、カマライッチ、財政エナ、アコ教育佐久間、うた協トシ、佐久間、オノ

5. 15 東北創造活動者講習会（鳥の海・～17日）61名－
仙台合唱団から8名 中央講師柴田泰子
5. 30 オヤジ結婚式で演奏
・ 東北学院大学祭で演奏
6. 5 参議院選挙に対して各政党に公開質問状提出
（社会党、共産党、公明党、民社党から回答）
6. 13 勾当台野外歌う会 40名 団員12名参加
- * 6月から73年4月までやくしん中断（担当者のレ
ッスン結集の悪化が原因）
団活動の停滞－音楽集団であること、労働者階級
の立場にたってということの問題
について団内討議
歌劇沖縄第2次公演は提起されたが見送りとなる
6. 26 26期うたう会
7. 6 団学習会 13名参加 うたごえ運動、音楽運動に
ついて
7. 8 第17回原水禁世界大会記念創作で高平曲「川面に
ひとつ」が第2位入選
7. 16 中央合唱団公演のための全団集会
7. 24 平和友好祭（磯浜）参加
7. 31 東北青年集会（桃生町）
8. 7 ニューポップス演奏会参加
8. 13 中央合唱団仙台公演（電力ホール・820名）
合同演奏参加
8. 21 全国中心合唱団活動者会議にトコ、照井参加
（虎ノ門共済会館～22）
8. 28 研究生合宿（川岸）24名参加
9. 4 土曜音楽祭参加
9. 10 団常任委員会 新しい層にうたごえの感動を与
え、団の果たした役割は大きい、連帯が深ま
ったとは言えない感じ 労音合唱団の演奏・組織
から学ぼうというアピール（9. 17やくしん）
9. 12 クロ、ユッキ結婚式で演奏
10. 16 26期修演－オケイ、サカナヤら入団
- * 声楽レッスン再開（壇上教室14名）
10. 24 宮うた祭典第1回実行委員会 短期決戦型 会場
費12万円で川内記念講堂断念
11. 3 宮うた祭典第2回実行委員会（センター、11団
体）横谷善雄（宮教組）を実行委員長
11. 7 宮うた合唱創作発表会（白鳥ビル）1位労音合唱
団、こまくさ 2位仙台合唱団
創作 仙台プライウッド石巻労働組合（矢口清志）
11. 10 日うた創作推薦曲に宮城から「川面にひとつ」
「夕焼けのうた」「のの岳の火」（高平）「腕くむ
俺たち」（D51）「おとうは出稼ぎ」（仙台合唱
団）「いつでも仲間は」（上野勝子）「名もない
花」（翠生会）
6. 17 沖縄返還協定調印
- 9 公会堂取り壊し
10. 22 D51演奏会
11. 8 福島青年会館（福島合唱団事務
所）火災で全焼
- 11 いぶき演奏会

<p>11.15 山形うたごえ祭典特別出演</p> <p>11.28 宮うた祭典（電力ホール・900名） 実行委員長 横谷善雄 副引地恒一 事務局長佐久間 短期の取り組みでも成功 特別企画返せ沖縄 女性小班スプリングエコーズ、フォークゴンベーズ できて活躍 うた協の書記長は選出されず 県学協と連帯 「基地を許さぬぞ」普及</p> <p>12.6 日うた祭典合唱発表会（共立講堂） D51合唱 団3位 労音合唱団激励賞</p> <p>12.25 団臨時総会 第3回演奏会に向けて</p>	<p>12 センタープロダクション設立</p>
<p>1972年</p> <p>1.10 うた新に高平「基地を許さぬぞ」発表</p> <p>1.11 赤旗開き公演</p> <p>1.15 成人を祝う集い演奏（歯科医師会館）5名参加</p> <p>1.23 宮うた協新春ジャンボパーティー（日本生命ビル）</p> <p>1.29 27期歌う会</p> <p>* 4班の演奏班体制発足</p> <p>2.19 第2回全日通労働組合東北地区青年部婦人部うた ごえ指導者講習会参加</p> <p>2.27 第3回演奏会（県民会館）804名一団として486、 他サークル248、歌い手34名 事務局長トコ 初めて大ホールでの演奏会 2ヶ月弱の取り組み で成功 第2部には振付けがはいる 伴奏に初めてギタ ー、フォークやゴーゴーが入る 全体として「演奏力の市民権」を得るにはまだ相 当の努力が必要 中心合唱団とは？の追求が弱い（芸術的総括） 開幕ー新しい太陽は昇る 1部ー芝浦、ベトナム解放区の春、海鳥のうた、 夾竹桃のうた、基地を許さぬぞ 2部ー広場と僕らと青空と、君と歩こう、カチュ ーシャ、ラクカラーチャ ・大うたう会 特別出演ー壇上佐和枝 郷土ー畔打ち唄 友情出 演ー労音合唱団、D51合唱団 3部ー高平作品 君は胸を張って、人のいい恋 人、川面にひとつ、春の使者 4部ー祖国築く僕ら、花を送ろう、日本の夜明け</p> <p>3.26 団友会（仮称）第1回総会（センター）</p> <p>* 梅デー月間 40職場、9カ所オルグ、歌集約10000部</p> <p>5.7 団総会 団員 S19、A9、T15、B8（休団17名）</p>	<p>2.1 福島合唱団地主うた新に「花の 想い」発表</p>

レッスン結集40%から50% カマラドイ平均50名
赤字約33万

新体制 委員長 ニキ 副 高平 書記長 トシ
うた新代を団費に入れる

規約改正—うた新を購読すること 団費値上げ
芸術委員会、書記次長を作る

20周年記念第4回演奏会に向けて意志統一

5. 9 太洋漁業スト支援

5.10 食品労連決起大会参加

5.13 27期歌う会

5.14 宮うた協総会 役員体制の規約改正

うた協加盟団体 仙台合唱団、D51、保母うた
う会、アコ協(7/20)

友好団体 労音合唱団、若柴、不忘、栗原、多賀
城、石巻、翠生会

5.17 東洋刃物労組歌う会参加

5.20 高平うた新に「君は胸をはって」発表

5.28 27期生修演(24名)12名入団(マッチ、ポニーら)

5.31 声楽レッスン開始

* 地主入団

* 平和月間

平和歌曲集約1000部 解放のうたごえ60部 イン
ドシナ人民支援カンパ約20000円 署名約200

原水禁大会に団より倉口派遣

演奏オルグ15回(この手をつないで、ジョンブラ
ウン、青春など普及)

6. 4 宮うた協主催ベトナム人民支援統一行動 17名参
加 カンパ8756円 署名198

6.11 東北電工労組交流会参加

6.21 ベトナム支援うたごえの集い(白鳥ビル)民青仙
台地区委と共催

6.24 うた新東北地方会議開催

宮うた協交流会(泉ヶ岳~25)52名

7. 2 宮城母親大会演奏(石巻小学校)

7.10 全司法結成25周年祝賀会参加

7.18 ジャンボうたう会(~20日)一中の瀬橋で平和盆
踊り

7.22 市民音楽祭参加

7.23 宮うた祭典第1回実行委員会

7.29 平友祭参加

8. 5 宮うた祭典合唱団結成合宿(充国寺)団長トシ

8. 8 七夕音楽祭

8.12 仙南蔵王キャンプに参加

大崎うたごえ講習会(~13日)チューター高平、
地主

8.17 南材うたとフォークダンスの集い参加

8.18 母親大会電通実行委員会歌唱指導

* 弘前「おらんど」結成

<p>8.19 宮うた協平和盆踊り（西公園～20）</p> <p>8.20 第18回日本母親大会（宮城教育大等～21）参加</p> <p>9. 4 宮うた祭典古川事務所開き</p> <p>9.11 宮うた祭典気仙沼第1回実行委員会</p> <p>9.16 宮うた合唱創作発表会（白鳥ビル）13団体 仙台合唱団ゴンベーズで小班（3）創作－青春、基地を許さぬぞ、ベトナムにカンパを 合唱－みんなは夜明けを待っている、アムール川の波 200名参加 合唱の部1位となる</p> <p>9.17 古川みんなで歌う会参加</p> <p>9.30 祭典合唱団合宿 74名 団長トシ</p> <p>10. 1 宮うた祭典（古川－初めての地域祭典848名） 実行委員長横谷善雄 事務局長トコ 仙台から200名 職場の組織が遅れたが石巻58、 気仙沼55、古川100を組織 祭典合唱団90名 普及曲「みんなは夜明けを待っている」 赤字2万円 特別出演－ほうねん座、渡辺定市 特別企画－ベトナムの友と</p> <p>10. 8 団、研究生合同いもに会</p> <p>10.15 松山事件現地調査参加</p> <p>10.22 宮城学院学園祭フォーク集会参加</p> <p>11. 1 地主うた新に「青春」発表</p> <p>11. 4 宮うた協大学習会（仙山荘）26名 塚田一未、高平、勝代講演</p> <p>11. 9 28期歌う会</p> <p>11.10 団臨時総会 4回演奏会について 20年の歩みを検討。 新体制 委員長 高平 副 佐久間 書記長 トシ 次長 地主 うた協 佐久間、勝代、トコ、高平、オノ</p> <p>11.11 宮うた祭典最終実行委員会（ニューフジヤ）</p> <p>* 総選挙に関連し、庄司後援会いもに会、学生後援会、多賀城、古川励ます会、文化の夕べ等で演奏</p> <p>12. 3 日うた祭典大音楽会 東北合同で「青春」「畔打ち唄」（宮城提案） 合唱コンクール中心合唱団の部2位次席（今までの最高）小班の部A班「芝浦」「収穫の唄」2位 D51 職場の部1位</p> <p>12.22 全団集会</p> <p>12.25 クリスマス歌う会</p> <p>12.26 団忘年会</p> <p>12.28 28期生修演（25名修了12名入団）</p>	<p>10.14 D51 合唱団演奏会</p> <p>11. 5 名取ひまわり1周年演奏会</p> <p>12 石巻地域うたごえ協議会結成</p> <p>12.10 総選挙で共産党躍進、社会党復調</p>
<p>1973年</p> <p>1. 1 あかつきの集会</p> <p>1.12 共産党新春文化の夕べ出演</p>	

- 5.19 団総会（～20日）
 団員数 S27、A13、T22、B10 この1年に入
 団27名
 新体制 委員長 高平 副 佐久間 書記長 ト
 シ 次長 地主
 研教 マー うた新 ボーヤ 事業 伊
 藤 やくしん 加藤 うたう会 市川
 組織 カマ 財政 地主 教育 高平
 うた協 トコ、勝代、高平、佐久間
 全国中心合唱団会議常任 カマ 日うた
 常任委 勝代
 レッスン結集 平和月間（平均15.4）日うた前
 （18）演奏会前（31.7）4月（25）
 カマラドイ50名定着 赤字約31万
- 5.22 研究生うたう会（100名）
- 5.23 関鑑子音楽葬に勝代、ケン、ニキ、カワトー参加
- 5.26 全国創作講習会（伊東市つじ梅旅館）に高平、地
 主、矢口清志参加
- 5.30 労音合唱団第2回演奏会に「輝く道」合同演奏
6. 5 全団集会
6. 8 東金歌う会参加
- 6.14 不忘歌う会参加
 ・ 古川・東北安田オルグ
- 6.17 宮うた協総会
 うたごえ文化講演会（講師 宝木実）
 うた協加盟団体 仙台合唱団、D51、保母、ア
 コ協、石巻、古川、不忘、どら
 ごえ
 友好団体 労音合唱団、若柴、栗原、多賀城、翠
 生会、竹の子、吉岡、登米、気仙沼
- 6.21 東北安田昼休み歌う会
- 6.22 第一勧業銀行労働講座歌唱指導
- 6.26 石巻オルグ公演
7. 4 東北電工うたう会参加
7. 8 古川うたう会参加
 ・ 29期生と電通国見交流いもに会
- 7.10 石巻うたう会共催
- 7.14 研究生募集歌う会（北門食堂・20名）
- * うた新拡大、研究生100名募集推進作戦本部でき
 る（部長地主）－70職場に募集チラシ
- 7.17 佐沼歌う会オルグ
- 7.19 研究生歌う会
- 7.22 石巻公演（初めての地域公演・4回演奏会の内容
 で）
 演奏の質を高めようというアピール
 ①東北の中心合唱団として ②うた協の中に活動
 家を ③仙石ラインを中心に東部地区にうたごえ

7 多賀城合唱団結成

- を ④演奏内容、姿勢、組織を学ぶ
 オルグ延べ40名 14カ所 公演33名 参加422名
7. 24 平友祭参加
8. 4 ほうねん座合宿（郷土の歌と踊り追求・～5日）
8. 7 七夕音楽祭参加
8. 16 歌う会（勾当台公園）
8. 18 29期修演（27名修了11名入団ーミヤ、ハシ、関口ら）
8. 25 日うた第6回総会参加 「日本のうたごえ全国協議会」と改称
 春闘メーカー月間での活動に対して表彰
 「73年日本のうたごえ祭典に対する提言」杉浦敏郎論文で「昨年から前進に次ぐ前進の仙台合唱団」と評価される
- * 桑島を多賀城センターの講師に派遣
8. 30 新団員歓迎会
9. 3 30期オリエンテーション
9. 16 国鉄のうたごえ20周年記念演奏会（20名参加）
 500人
9. 22 宮うた合唱創作発表会（医師会館）仙台合唱団36名参加
 合唱発表ーあいつはほんとにいいやつだ、我が母の歌
9. 25 学生のうたごえオルグ
9. 30 ヤングの手による「青春」音楽会準備会に地主参加（東京土建本部会館）
10. 1 大須事件で林学オルグ来仙
10. 13 団うたう会（白鳥ビル・216名）
 それまでうたう会が余り成功しなかったが、団員の自主的な取り組みに対するために実行委員会結成
 団員30名 久々に成功
 ・ 30期合宿
10. 28 うた新読者会（団創設以来初めて）3名
11. 1 七十七闘争勝利レセプション（25名参加）
11. 4 福島県うたごえ祭典出演（20名）
11. 6 団学習会（季刊日本のうたごえ、うた新）
11. 18 宮うた祭典（石巻市民会館）866名 実行委員長横谷善雄 事務局長勝代 団43名 オルグ35回
 学生のうたごえ参加 仙南うた協発足
 特別企画ー井上頼豊チェロ演奏、大須事件、福島合同、松山事件
 石巻の奮闘光るが専従無しの限界が言われる
11. 26 30期生うたう会（95名）
12. 1 日うた祭典
 宮城から92名 団34名
 仙台合唱団時間オーバーで選もれ、しかし2位の
- 11 寮生うたごえ「やまびこ」発足
- 11 福祉大「おたまじゃくし」発足
11. 24 全国労音第19回総会で新しい「労音運動の基本任務」採択

- トップという評を得る D51 職場の部3位
- 12.15 団臨時総会（～16日）
 カマラドイの意義について話し合い センター使用料未納問題 うた新165部（5月総会目標を達成）
- 12.16 カマ結婚式演奏
- 12.28 団忘年会

1974年

- * 仙台市長選の取り組み－会場問題（革新市政これが団活動を支えた－やくしん32号）
- 1.16 赤旗開き演奏
- 1.18 オノ死去 葬儀
2. 1 日うた7回総会方針でる
- 2.17 演奏会宣伝（～21日）朝ピラを東宝、日の出前で
 研究生創作合宿に大西進参加
- 2.21 第5回演奏会（市民会館大ホール）970名 歌い手35名
 7回総会方針（日うた）に先立って、うたごえをはっきり音楽運動として位置づけた計画
 夜明けのうたのオープニング、下町の太陽の歌謡曲路線、ラテン・フォークなど大きな支持を受ける
 井上頼豊メッセージ
 「前年にまさる意欲的な選曲は“新しい時代に向けての新しい歩み”といえるでしょう」
 伴奏に初めてうたごえ以外の団体の共演（山元町ニューポップス）
 1人平均20.9枚の組織
 団はやっと混迷の中から糸口を見つけ出した（特に創造面で）と総括
- 2.22 日うた第7回総会（いわゆる7回総会方針を決議・～24日）
 トコ、マー、キヨッチ、地主、五右衛門参加
 年間優秀団体として表彰される
 （毎週みんな歌う会を全県的に普及、うた新拡大、演奏活動前進、地域サークルへの援助）
- 2.25 多賀城うたう会演奏
- 3.16 研究生合宿
- 3.17 団総会 団員66名（S23、A12、T22、B9）
 3か年計画の総括
- ①「70年代やくしん」の初頭に専従を失った
 その痛手が幹部の弱体化を生み、団の前進を阻む
 社会的条件はあったが主体的要因に問題
- ②設定に甘さがあった 「70年代に向けた夢」の要素が大きくそれをやり抜く力量がついて行けなかった

③失敗である しかしこの失敗のもつ意味は大きい

- ・ 社会の発展の情勢にいちじるしく立ち後れてしまった
- ・ 幹部の団結と積み重ねがいかに大切か、3か年の歴史の教訓

弱点として

- ・ 幹部集団は定着したがまだ十分な指導性と団結をもっていない
- ・ 音楽的力量は確かに前進したが不十分である
- ・ 各部は前進しているが不十分である

カマラドイ客平均27名 うた新150部

新体制 委員長 高平 副 佐久間、マー 書記
長 地主 次長 ボーヤ
常任 トコ、宮沢、太田、勝代

団費値上げ1000円に

- 3.23 30期修演（教養センター）スケ、カク、アトムら入団
- 3.28 メーデー講習会
- 3.30 栗原青年歌の集い参加（16名・全体50名）
- ・ 名取うたごえ喫茶3名参加
4. 5 新団員歓迎会
- 4.20 不忘うたう会 7名参加
- 4.26 春の音楽祭参加
- 4.29 31期研究生開始
- 4.30 メーデー前夜祭（白鳥ビル）参加（労音、労演と3者合同）
5. 1 メーデー参加 200職場へオルグ 歌集11000部
金融うたう会、星座、しおさい、労音、大空等へオルグ
5. 3 全国郷土講習会 ボーヤ、モリ、ポニー参加
- 5.12 いもに会 17名参加
- 5.18 31期生合宿 25名参加
- 5.25 不忘オルグ
- 5.26 センター改造
6. 1 団うたう会（280名）
- 6.12 研究生ハイキング（船岡）
- 6.13 邦楽器による新作演奏会（日本音楽集団・日本音楽舞踏会議主催、東京日経ホール）で高平作品演奏
- 6.15 学生セツル大会演奏
- 6.19 多賀城うたう会演奏
- * 参院選本田・岩間労働者後援会、塩釜、古川、栗原、教員励ます会演奏
- 6.29 研究生合宿（八幡神社）
- 7.13 研究生うたう会（教養センター82名） 27名参加

3.31 全動労結成

- 7.14 センター第2次改造—保育所を作る 1人1時間
100円 保母手当500円 当面金曜日
- ・ カマラドイ参加費制となる (1回100円、飲み物別料金)
 - ・ 研究生星君の告別式
- 7.20 民謡講座開始 (労音、D51、仙台合唱団、保母うた)
- 7.22 柴田うたう会オルグ
- 7.24 しおさい、大空、保母うた、名取オルグ
- 7.25 団うたう会
- 7.27 センター保育所開き 18期北野、29期内海ら協力
- ・ 五色の集い参加
8. 3 ニューポップスコンサート出演 (山下小学校)
- ・ どらごえオルグ
- 8.10 土曜音楽祭参加
- ・ 平和友好祭 (鬼首) 18名参加
- 8.12 名取連青理事会オルグ
- 8.16 名取オルグ
- 8.18 仙南地域公演 (名取市民会館・250名) 歌い手38名
仙南うた協 (ひまわり、大空、どらごえなど) 参加 「自由なる大地」普及
- 8.22 仙台地区労ビアパーティー (勾当台公園) で演奏
9. 7 団臨時総会
班体制整備—困難団員のためにレッスン班 (L班) を作る
パートリーダー制の強化
6回演奏会に向けた新体制—
書記次長にマーが入り副委員長1名減
常任委 (ミヤ、メダカ、ポーヤ) 宮沢、太田出席のため抜ける
- 9.10 ひまわりオルグ
- 9.12 東北労災オルグ
- 9.13 栗原オルグ
- 9.18 研究生うたう会
- 9.22 古川うたう会 (22名参加)
- 9.26 団うたう会 (畑中ビル)
- 9.28 齊藤一郎 (団員のおじさん) ハモニカリサイタルで18名友情出演
10. 3 登米オルグ
10. 4 岩沼オルグ
10. 6 県職オルグ
- 10.10 登米オルグ
- 10.20 宮うた祭典夜明けをよぶ大音楽会 (県民会館) 大音楽会形式 (山響、佐藤光政出演) 885名
団39名参加 赤字36万

9.22 古川うたう会発足

<p>* うた協加盟8団体変わらず 結集 いぶき、こまくさ、どらごえ、大空、ひまわり、はぎ、あらぐさ、竹の子、ケロッコ、統一列車 協力 ほうねん座、労音、ニューポップス</p> <p>10.26 宮うた反省会（高平宅）</p> <p>11.10 宮うた合唱創作発表会（白鳥ビル）仙台合唱団34名参加 コンドルは飛んでゆく、俺たちは太陽</p> <p>11.14 金融うたう会参加</p> <p>11.16 31期生修演（24名修了19名入団ーシン、ジャンボ、KKら） 活動家と言われる人よりも音楽としてうたごえ運動に参加してきた人が多い</p> <p>11.19 仙音、多賀城オルグ</p> <p>11.23 五右衛門、マー結婚式演奏</p> <p>11.28 団うたう会（畑中ビル）</p> <p>11.30 日うた祭典（～12.2） 合唱発表第2位（44名参加） 創作「ほたる」宮城合同入賞</p> <p>12.6 新団員歓迎会</p> <p>12.7 栗原オルグ</p> <p>12.12 竹の子オルグ</p> <p>12.14 明善寮オルグ</p> <p>12.15 竹の子演奏会出演</p> <p>12.19 金融うたう会オルグ</p> <p>12.22 名取NRUクリスマスパーティー参加</p> <p>12.23 多賀城うたう会オルグ ・ うたごえ理論学習会</p> <p>12.26 総括の団委員会 労金借金支払い完了 うた新247部ー11月より仙台支局 創造面の課題として声の力量を高めること 普及面の課題としていつでもどこでも中心合唱団としての立場に立てる思想の確立 新団員オリエンテーション資料作成</p>	<p>12.5 統一労組懇結成</p>
<p>1975年</p> <p>1.11 不当解雇撤回を闘う4者励ます新春の集い演奏</p> <p>1.18 教育マスコミ大交流会演奏</p> <p>1.26 団総会 団員82（S27、A17、T21、B17） 50名出席 6回演奏会に向けた方針討議 創造委員会（団の創造路線を打ち出す）と書記局（団の日常の全てを把握しレッスンの話合いを運営） 新体制 委員長 高平 副 佐久間 書記長 トシ 常任委 トコ、ミヤ、オケイ、ス</p>	

ケ、勝代

宮うた 佐久間、勝代 局長 高平、ト
コ 書記次長空席

- 2. 7 春闘学習会
- 2. 9 カマラドイ問題を考える会（カマラドイと部と班の役割について）
- 2. 13 春闘歌唱指導（市民会館）
- 2. 22 春闘歌唱指導
 - ・ 日うた8回総会参加 宮城のうたごえ協議会、仙台合唱団、青森のうたごえ、中田青年合唱団74年度表彰
- 2. 27 ほうねん座公演協力（市民会館）
 - ・ 春闘歌唱指導
 - 2 日うた第8回総会で表彰—全国協新規約できる
- 3. 6 春闘歌唱指導
- 3. 9 32期生合宿（八幡神社）
- 3. 29 団うたう会（エコービル・90名）
- * 3月より声楽レッスン（S7、A4、T2）
- 4. 10 東北大新歓に8名出演
- 4. 12 農学部うたう会に4名参加
- 4. 15 交通労組うたごえ集会参加
- 4. 17 春闘休暇作戦6名参加
- 4. 19 32期合宿
- 4. 26 工大うたう会参加
 - ・ 東京時計労組うたう会参加
- 4. 27 全損保決起集会参加
 - ・ 東京時計うたう会参加
- 4. 28 32期うたう会（カワイ）
- 4. 29 東京時計労組昼休み集會に5名参加
- 4. 30 南ベトナム解放
- 5. 1 メーカー参加—120職場オルグ（新しい職場13）
12職場で歌唱指導 歌集9173部
- 5. 4 第1回日うた中級指揮者講習会（東京労音会館）
ニキ、関口参加
- 5. 20 OX朝一番出演（仙台放送）
- 5. 24 団合宿 45名参加
- 6. 3 おたまじゃくし第1回演奏会
- 6. 17 仙音アコール第3回演奏会
- 6. 21 32期作曲学習会 大西進来仙
- 6. 27 第6回演奏会（電力ホール・1200名）団員65名
（歌い手55名）研究生含め76名
単一合唱団でプロオーケストラ（山響アンサンブル15名）を使つてのコンサート—形の上では誇れる音楽会
原爆企画（合唱構成ひろしまの空）が好評 学生が100以上はいる 黒字によりエレピアン購入
創造上—音楽と社会の問題を選曲と演奏内容で明らかにしてきた（仙台にはこのような合唱団はない）
選曲の幅を広げ、70年代の創造課題を發

- 展させた
普及上—大規模なうたう会の場合であった 市民権
の確立
瀬戸の花嫁、喜びも悲しみも幾年月、俺達は太
陽、涙をこえてなど
- 7.12 日うたうたごえ講習会（鳥の海）9名参加（～13
日）81名（宮城21名）中央講師佐藤、宝木
- 7.18 団臨時総会
演奏会総括 7回演奏会に向けて討議 うた新
253部
- 7.22 日朝協会うたう会参加
- 7.24 平友祭ダンスパーティー—団が企画担当
- 7.25 32期修演（27名修了）チョー、ジョーら入団
8. 2 平友祭参加（鬼首～3日）18名参加
8. 9 東京時計盆踊り 5名参加
- 8.11 マルエム鉄鋼所歌唱指導 6名参加
- 8.16 土曜音楽祭参加
- 8.27 野外うたう会（勾当台）
- 8.31 創造委員会で高平リサイタル計画確認
・ センター大掃除
9. 6 全国中心合唱団会議（3年ぶりに開催）
高平、オケイ参加
- 9.21 庄司長町後援会うたう会出演
- 9.22 33期開始
- 9.27 音楽の学習会
10. 3 共産党より「救国・革新の訴え」申し入れ討議
10. 9 マイク講習会
- 10.12 文化スポーツの集い参加
- 10.14 「救国・革新の訴え」学習会
- 10.17 新団員歓迎会
- 10.19 宮城母親大会歌唱指導 4名参加
- 10.23 清水先生を励ます集い参加
- 10.25 緑が丘町内会萩祭り参加 11名参加
・ 33期生合宿（八幡神社）27名参加
11. 2 市民文化祭参加（市民会館大ホール、西公園）
31名参加
・ 新体連全国テニス大会交流会演奏（毛利ビル）
7名参加
11. 9 看護学生交流会参加 10名参加
- 11.15 庄司励ます大集会演奏 30名参加
- 11.16 宮うた祭典（片平丁小学校）
発表曲—喜びも悲しみも幾年月、母なるボルガを
下りて
学発形式 18団体（職場4、学生1）277名
D51停滞、自治体、保母復活、しかしサークル
数が少ない
- 11.22 日うた祭典 33名参加
- 8.25 統一列車さよならコンサート
- 11.26 公労協スト権奪還スト

<p>11. 30 新体連集会参加 12. 5 全団集会 12. 9 国土地理院歌唱指導 12. 14 声楽おさらい会 12. 22 33期うたう会 (180名)</p>	<p>12. 7 宮城学うた協結成 (はぎ、おたまじゃくし、やまびこ) 12 一関うたごえセンター発足</p>
<p>1976年</p> <p>1. 6 新年会 1. 17 団うたう会 (読売ホール・70名) * 体制一部変更ー組織部長オケイ、うた新代表佐久間 (260部)</p> <p>1. 27 高平リサイタル (市民会館小ホール) 650名 歌い手128 (13団体・個人) 基本方針 ・宮城のうたごえ20年の歴史から学び達成点を通じて示す ・全サークルの共同事業として演奏力量を高めサークルの交流を ・地元専門家を中心に専門家の協力、その一歩とする ・高平の作品から学び、彼への30周年に向けてのはげましの音楽会とする 日うた7回総会方針の団における発展、個人発表会という形をとったもののうたごえと団がかち取った成果</p> <p>1. 30 33期合宿 講師 門倉さとし 2. 13 ジョン・ハラ歓迎集会 「ベンセレモス」歌唱指導13名参加 2. 22 33期合宿 2. 26 キラパジュン前夜祭 7名参加 2. 28 日うた総会 会津のうたごえ協議会表彰 3. 16 婦民クラブ再建集会演奏 24名参加 3. 19 33期修演 (ブラザービル・25名修了) 185名 3. 21 東北学うた協結成1周年総会 83名 講習会講師に高平、壇上、山本忠生 3. 22 33期修了発表会 (カワイ) 3. 27 全団集会ー7回演奏会に向けて * 声楽レッスン (S8、A7、T3、B2、西根) 受講料2500円</p> <p>4. 4 団総会 団員60 (S18、A11、T16、B15) 休団7 30期以降の新団員の成長 ママさん団員の復帰 カマラドイがテイクオフと専属バンド契約 カマラドイニュースなど着実な前進 新体制 委員長 高平 副 佐久間、ジョー 書記長 勝代 次長 チョー、オケイ 常任委 ミヤ、五エ門、ポニー、カワトー</p>	<p>1 テイクオフ結成</p> <p>2. 10 きたがわてつ出発コンサート</p>

うたごえ30周年に向けた思い切った普及活動
7回演奏会のとりくみ

- 4.23 新団員歓迎会
- 4.26 高平作品発表会最終実行委員会（センター・8団体10名参加）宮うた協再建強化、76県祭典も討議
- 4.29 新団員オリエンテーション
- 4.30 ベトナム解放1周年記念集会歌唱指導（婦人会館・70名）16名参加
- 5.11 メーデー12名参加 メーデー作戦さえず歌集8500
- 5.16 春の集い演奏
 - ・ 大須事件オルグ来仙
- 5.22 演奏会に向けた合宿（森郷）46名参加
- 5.29 やまびこオルグ
 - ・ 日うた全国講習会
- 5.30 宮うた祭典実行委員会（11団体参加）
 - ・ 音楽センター落成式 建設運動2年2ヶ月、総工費4億7千万円
- 5.31 近鉄第1トラックスト支援
- 6.13 ミヤ結婚
- 6.26 合宿（山本忠生来仙・～29日）
- 7.6 第7回演奏会（電力ホール）1100名 山響の伴奏 京都ひまわり（山本）と高平の指揮者交流 自分達の創作曲、うたう会を多くの団員で作りに上げたという成果はありつつも、日常の普及と演奏会の結び付きが曖昧で創造面でも第6回を越えたものにはならなかった 全員が1枚以上の券を売る 選曲の目安
 - ・ うたごえの伝統の良さを備え仙台合唱団ならではのというもの
 - ・ おもに普及活動に役立ち、またはつながって行くもの
 - ・ 団外の古典的な作品、団の合唱力量にとって課題となるもの
 - ・ 広い意味で日本の民族性を備え、また演奏によってそれを発展できるもの合唱構成「青い空を私は嫌い」、最上川舟唄、ドレミの歌、収穫の歌、アジア平和行進曲など
- * その後団内結集わるし→団内民主主義の問題討論、やくしん7月より78年4月まで中断
- 7.16 多賀城合唱団演奏会参加
 - ・ うた新記者武藤昌代来仙
 - ・ 日フィル仙台公演実行委員会参加
- 7.17 京都ひまわり指揮者交流
- * 福島合唱団、郡山合唱団、大槌に対する指導、援助→東北のうたごえ運動に対する大きな足がかり

5 音楽センター会館落成
フリーダムスタジオ業務開始、
アンサンブルケーナ全国公演開始

6.15 郡山合唱団第1回演奏会

7.16 多賀城合唱団第1回演奏会

- | | |
|---|--------------------|
| 7. 25 やしのみ会ハイキング伴奏、歌唱指導
・ 大須事件林学来仙 | |
| 7. 26 34期研究生開始 | |
| 7. 31 平友祭参加（泉ヶ岳） | |
| 8. 14 土曜音楽祭参加 | 8 十和田市サークルドンドン発足 |
| 8. 21 東京時計盆踊り演奏
・ 34期合宿（八幡神社） | |
| 8. 28 宮うた教育講習会（河北ビル・団より21名参加・
～29日）講師木下そんき、壇上 8 団体44名 | * 郵便「きぼこ」結成 |
| 9. 12 宮うた合唱創作発表会（市民会館小ホール）
38団体・個人 450名
実行委員長佐久間、事務局長ミヤ フォーク8、
民謡1、小班2、器楽1、創作8、合唱24
学生、D51、保母、郵便の前進 特別出演 斉
藤博（ヴァイオリン）、壇上佐和江
創作曲集（55曲）を作る | |
| 9. 18 日フィル仙台公演（団は実行委員） | |
| 9. 19 庄司青年後援会集会演奏 | |
| 9. 26 宮うた祭典（電力ホール）大音楽会形式 26団体
参加650名 祭典合唱団150名
混声大合唱「地底のうた」
うた協再建、専門家との協力を目指す大音楽会
（佐藤光政、山響出演）であったが、70万円の赤
字
アラパジュン組織に活躍 セニョール、ポップ専
従体制 | |
| * 団生活で困ること
・ 古い団員が7回方針について行けない
・ 会議が多すぎる
・ レッスン日の時間が長すぎる
・ 何のために歌うのか（書記局ニュース 76.10.5） | |
| 9. 29 福島合唱団レッスンにポニー、スケ、高平参加 | |
| 10. 7 「とろろの心」出版記念集会演奏 13名 | |
| 10. 10 藤島祝う会演奏 | |
| 10. 11 福島ヘタカ、チョー派遣 | |
| 10. 12 高平LP制作についての話し合い | |
| 10. 15 庄司励ます会演奏 20名 | |
| 10. 16 34期創作合宿（泉ヶ岳）
研究生24名、団員12名参加 | |
| 10. 17 福島ヘタカ、チョー、ポニー、スケ派遣 | |
| 10. 19 福島合唱団第1回演奏会に団から13名応援 | 10. 19 福島合唱団第1回演奏会 |
| 10. 24 宮うた協再建準備会
・ 山形のうたごえ祭典に仙台から17名参加
ケン審査委員 | |
| 11. 3 市民祭り演奏（合連だけでは運営できない、うた
ごえに対する期待）
・ 創造委員会で7回演奏会総括と8回演奏会の提起 | |

<ul style="list-style-type: none"> 11. 6 日うた臨時総会 マッチ、オケイ、勝代参加 11. 8 34期うたう会 (カワイ・150名) 11. 16 高平LP全国制作委員会結成 * 声楽レッスンを教育部で位置づける 12. 5 カワト、ランラン結婚 12. 11 第1回日うた組織幹部学校 4名参加 12. 12 看学うたう会演奏 12. 14 木下そんき音楽センター問題で来仙 12. 18 34期合宿 (権現森) 12. 19 宮うた実行委員会結成 (6団体) -うた協再建と77年祭典成功を目指す (その後11団体へ) 12. 25 宮うたクリスマスパーティー (毛利ビル・50名) 12. 28 レコーディング合唱団レッスン開始 - 井上、壇上、堀来仙 	<ul style="list-style-type: none"> 11. 26 はぎ第1回演奏会 12. 14 おたまじゃくし第2回演奏会
<p>1977年</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 4 新年会 1. 8 宮うた常任委員合宿 1. 14 レコーディングレッスン-今村肇、渡辺一利来仙 1. 23 レコーディング (福島) 1. 24 レコーディング打ち上げコンパ (蚕系会館) -団内に普及委員会できる 1. 28 レコーディング反省会 1. 29 団合宿 (権現森) 1. 30 県内サークル3役会議 (10団体30名) 76年度建設サークル-国公あすなろ、鹿島台どじよっこふなっこ <p>D51再建</p> <ul style="list-style-type: none"> 2. 5 音楽センター運営委員会 勝代参加 2. 11 声楽おさらい会 (仙台17、福島9) 七十七従組春闘交流会22名参加-何を誰のために歌うのか、うたごえ運動とは何かで感動 2. 12 東北うたごえ講習会 講師林学 2. 13 高平レコード普及実行委員会結成式 (市民会館教養室) 2. 20 シンプ結婚式演奏 2. 23 東北放送TV録画 3. 3 34期修演 (ブラザービル・43名修了15名入団) 3. 5 日うた祭典 (名古屋・~7日) 27名参加 中心合唱団の部3位 盛岡合唱団激励賞 3. 18 東北学うた総会講習会演奏 3. 22 観光労連うたごえ集会参加 3. 24 春闘学習会 4. 1 新団員歓迎会 40名参加 4. 4 新団員教室 (~7) 4. 14 飛島建設労組春闘オルグ 4. 15 マスコミ共闘オルグ 	<ul style="list-style-type: none"> 2 石巻フォークキャラバン結成

4. 18 学校生協オルグ
4. 23 宮うたサークル代表者会議 (10団体) 20名
 年間の計画ー共同の取り組みをもつ中でうた協の
 再建を
 参加 仙台合唱団、農協、しおさい、アコール、
 おたまじゃくし、多賀城、あすなろ、大
 空、テイクオフ、きぼこ、アコ協
4. 30 メーデー前夜祭 19名参加
5. 1 メーデー 27名参加 34職場オルグ、歌集4667
 部、カセット17巻 (全国的には上位)
 動いた人36名、延べ129日、キャップ (スケ)
5. 3 日うた総会 3名参加 優秀団体として盛岡合唱
 団 勝代、沢田孝二が常任委員に
5. 7 宮うたサークル代表者会議
5. 11 下田労働者後援会集会演奏
5. 14 団総会 (～15日)
 21名出席 団員43 うた新235部 (15団体)
 声楽レッスンの位置づけ、女性は大半が参加→
 ソリストを作り上げた
 うたう会が1年間開催できなかった カマラドイ
 は班に任せきりになってしまった
 団費を1500円に、うた新250円は団財政から分離
 (学割1000円、休団500円)
 全団員が入る班をカマラドイだけではなく基礎
 単位として班キャップは組織部所属にし、書記局
 廃止
 新体制 委員長 高平 副 佐久間、ジョー 書
 記長 勝代 次長 チョー
 常任委 オケイ、マッチ、五エ門
5. 16 宮うた常任委員会
5. 22 下田励ます宮城集会演奏
5. 27 高平レコード出版記念会 (東京・音楽センター)
5. 29 宮うたサークル代表者会議 集まり悪く常任委員
 会に
 ・ 子ども祭り (三神峰公園) 演奏
5. 30 でっかくうたう会 (200名) ー短期の取り組みで
 も久々に成果
6. 2 35期生開始 (62名) ーかつてない広がり規模
6. 6 どらごえオルグ 3名参加
6. 8 大河原、D51オルグ 3名参加
6. 9 登米オルグ 4名参加
6. 10 鹿島台オルグ 4名参加
6. 11 ライモンわらび座公演 歓迎交流会及び郷土創作
 交流会 (～12) 東北の全体交流運動へ
6. 14 宮うた常任委員会
6. 16 多賀城、大河原オルグ
6. 18 宮うた講習会 (～19日)

5. 12 盛岡でライモン歓迎実行委員会
 結成

6. 5 宮学うた講習会 (河北ビル45名)

- 6.26 大河原うたう会演奏
 * 宮うた協再建について団内討論
 実情をよく知ること、宮うた協の必要性、再建に向けて団の方針をもつこと、パイプの強化、祭典をどうするのかの意見をもつこと
- 7.13 郵便祭典成功を目指す職場合同うたう会（河北ビル）演奏
- 7.15 全団集会－8回演奏会問題
- 7.27 高平レコード記念レセプション（ブラザービル）
 井上頼豊来仙
- 7.29 うたごえ祭典を考える会（センター・6団体参加）
- 7.31 大河原うたう会参加
8. 6 市民音楽祭 「仙台賛歌」演奏、歌唱指導
 ・ 身障者の集い演奏
 ・ 平友祭参加
- 8.14 宮うた祭典準備会
- 8.20 宮うた交流会（泉ヶ岳・72名）
- 8.21 郵便祭典現地実行委員会結成－実行委員長 勝代
- 8.28 古川うたう会オルグ
- 8.29 学うた協オルグ
 ・ どらごえオルグ
9. 3 35期生創作合宿（八幡神社～4日）
9. 4 郵便祭典宮城連帯合唱団結成 「労働者はいいぞ」「夜」「タンポポ」
- 9.17 郵便全国祭典合唱創作発表会（医師会館）
- 9.19 郵便全国祭典（電力ホール）1000名 実行委員長 相沢功 連帯合唱団100名 地元組織300名
- 9.24 団合宿
10. 1 郵便祭典現地実行委員会総括会議
10. 9 宮うた実行委員会
 ・ 35期いもに会
- 10.17 どらごえオルグ 3名
- 10.24 多賀城オルグ
- 10.30 宮うた実行委員会
11. 3 市民祭り参加
11. 6 宮うたマイコンサート（東二番丁小学校）
 実行委員長佐久間 事務局長車田
 合発形式 20団体（県北合同、学生合同）400名
 創作曲集発行
 参加－35期生、どらごえ、石巻うたの村、国公あすなろ、電通歌う会、きぼこ、おもちゃ箱、坂歌う会、D51、学生合同、アコール、リゾン、村田、しおさい・大空合同、医療合同、保専、仙台合唱団、仙北合同
 特別出演－斎藤博（バイオリン）、壇上佐和枝

- 6.26 青森のうたごえ協議会再結成（8団体）

8. 3 原水爆禁止世界大会14年ぶりに統一大会

- 10.29 どらごえ演奏会

<p>全国交流会推薦－①どらごえ（実行委員会推薦） ②学生合同③仙北合同、保専、 D51、仙台合唱団</p> <p>講評委員－ダンシャク（学うた）、相沢（郵便）、 斎藤（バイオリニスト）、弘太（D51）、 壇上（日うた）、高平（委員長）</p> <p>11.14 35期うたう会（150名） 11.20 宮うた実行委員会 11.26 団合宿（泉・～27日）62名参加 11.27 宮城県青年学生集会分科会「うたごえを求める青年の集い」参加 12. 2 日うた全国交流会参加（～3日）宮城県合同「心つないで」（35期創作）「タンポポ」 12. 8 第8回演奏会（電力ホール） 1100名 団47、研究生40名の歌い手 「土と汗・労働」「真実を守る闘い」をテーマ 仙台マンドリンクラブと共演 3年連続1000を越える成果、しかし、「うまくな ったが感動が薄い」という評あり 第1部－草原に、ともしび、カチューシャ、白 樺、ワ－シャワシリョーク、ヴォルガの 歌、組曲「山芋」 第2部－嫁ぐ娘に、夜、組曲「出稼ぎの歌」、芦 別の雪の中を、俺は旋盤工、みんなが笑 う日まで（林学指揮）、すばらしき明日 のために 第3部－みんな歌う会 12.11 宮うたサークル代表者会議 12 団内に日うた30周年、仙台合唱団25周年記念事業 委員会設置（井上、佐久間、高平で準備） 12.17 YMCA集会演奏 12.22 市長選集会演奏 12.29 宮うた常任委合宿－宮うた協再建への取り組み、 計画</p>	<p>11.10 武藤桃州死去</p>
<p>1978年</p> <p>1. 5 団常任委員会－班キャップ2名、常任委員休団、 「演奏会中心主義」の批判、団結の問題 1.15 赤旗開き演奏（市民会館・24名） 1.16 30周年記念事業会によるチェロリサイタル打ち合 わせ－OB含めて15名参加 1.21 団委員会－久しぶりに開催 話し合い不足を解消 し団建設問題を徹底討議、島野再選支 持決議 1.27 第1回お誕生会 1.29 団委員会－人間的つながり、中心合唱団の団結の 問題</p>	<p>1. 1 仙北あかつきの大集会(のの岳)</p> <p>1.20 はぎ第2回演奏会</p>

2. 4 35期修了演奏会
47名修了－学生19、国鉄5、保育所8、看護婦3、郵便1、農業1、東北ゴム2、三越1、事務員2、自動車修理1、県庁1、その他2
入団12名－カルビー、パーマンら
2. 5 うたごえ同窓会（星和ビル）－68名参加（OB30名）事務局 小林一茂、宮田、高平
- 2.10 日うた総会（オリンピックセンター・日本教育会館・～12日）宮城から7名参加
優秀団体表彰津軽のうたごえ協議会、青森センター合唱団、おたまじゃくし、郡山合唱団
全国協議会加盟 団体加盟宮城7、岩手3、福島10、単独加盟青森9団体、未加盟山形、秋田
常任委員に勝代、創作特集号編集委員に高平
- 2.14 お誕生会
- 2.15 春闘フェスティバル歌唱指導
- 2.19 七十七銀行オルグ演奏
- 2.20 宮うた協再建アピール（連帯組織として）
県北10、県南4、学生4、仙台3、職場6
- 2.23 井上頼豊チェロリサイタル
- 2.26 声楽おさらい会（市民会館第1教養室）36名発表
3. 3 新団員歓迎会
3. 9 新団員教室（13、16も）
- 3.29 政労協歌唱指導
4. 6 食品労連歌唱指導
- 4.10 飛島建設歌唱指導、メーデー作戦本部準備会議
- 4.18 メーデー葉書作戦スタート
- 4.23 大河原歌う会参加（7名）
- 4.24 農協労連歌う会参加
- 4.27 ほうねん座公演演奏（市民会館大ホール）
- 4.28 メーデー前夜祭演奏（8名）
5. 1 メーデー参加（15名参加）歌集1700部
5. 3 「遊ぶ会」（県民の森）
5. 8 宮うた再建総会不成功
5. 9 共青55周年記念集会演奏－「全民青」「同志よ」（32名参加）
- 5.20 第1回東北交流会（盛岡市「ビバ・ヤング」～21日 岩手大学 155名）－宮城から6サークル18名
- 5.21 マッタ結婚式演奏
- 5.27 宮うた拡大常任委員会－
加盟サークル 仙台合唱団、アコール、大空、多賀城、きぼこ、あすなろ、おたまじゃくし、アコ協（しおさい、テイクオフ、ルパン退会）

4 弘前大学りんごっこから、東北女子大、国立看護学、弘大医学系が分かれ学生うたごえ協議会結成

仙台合唱団に対する要求ー

職場、学園でがんばる活動家の養成、早いサイクルでの研究生養成、群を抜いた力量、サークルに対する指導や分教室（仙南）地域にあった独自性を認め団のやり方を押しつけない（仙北）

- 5. 29 ベトナム歌舞団スライド集会歌唱指導
- 5. 30 機関紙「やくしん」復刊第1号発行（月1回）ーハシの「私の提言」載る
 - ・ お誕生会
- 6. 6 大須・芦別集会参加（労働福祉会館・17名参加）
- 6. 9 河北新報早朝集会参加（2名）
- 6. 12 宮城県沖地震でセンター半分水浸し
- 6. 10 団交流合宿（ほうねん座・～11日）23名参加
- 6. 18 岡山うたごえフェスティバルに高平派遣
 - ・ 日うた協臨時総会で「音楽センター建設完遂方針」決定（2億2千万円）賛成68、保留14、反対1
- 6. 24 東北合唱団会議（センター）ー平友祭にバン（盛岡合唱団団長）をキューバ派遣する問題
アンサンブルケーナ東北公演など
- ・ 6. 27 お誕生会
- 6. 28 ベトナム歌舞団公演で歌唱指導（市民会館）
- 7. 8 全団集会ー総会予定が討議不十分で全団集会に切り替え（8日24名、9日25名計31名参加）
たたき台を中心に情勢と総括（団建設まで）討議
- 7. 22 地銀連レセプション演奏（作並）11名参加
 - ・ 五色の集い参加
- 7. 28 世界青年学生祭典（キューバ）日本のうたごえ代表団に盛岡合唱団のバンを送る
- 7. 29 平友祭参加（泉ヶ岳・～30日）
- 8. 5 団総会（総括・市民会館第3会議室）ー38名（委任状含む）参加 2分科会に分けて討議
47ページに及ぶ議案書 情勢の項目をみんなで調べて学習
総括ーいまだかつてなかった研究生修了、30回以上にわたる演奏活動、郵便祭典、8回演奏会の成功、カマラードイの前進、声楽3教室の積み重ね、などの成果を持ちつつも「うって出る普及とサークル倍加を結び付ける」活動の停滞、団内団結・運営の民主的強化の後退、力ある活動家を生かしていくこと、演奏会と普及・団建設のつながりができなかった
- 8. 6 団総会（方針・市民会館第1会議室）ー45名（委任状含む）音楽センター副理事長木下そんき参加
団のかかえる基本課題確認ー

6. 3 アコール第1回ミニコン（ブラザービル）

6. 29 青森市に音楽の店開店

8. 5 仙北キャンプ交流会（50名・長面海岸）

団内交流、新旧団員の団結、団と団外の要求の統一（団運営面）
 多様な音楽要求に答える、活動の音楽的個性を育てる、普及と創造を結び付ける、理論学習（普及・創造・教育面）
 中心合唱団の役割とそこでの団員のやりがいを明らかにする課題
 特別決議「みんなの総意と力でセンターをつぶすな」
 規約改正－芸術委員会を創造委員会に、委員長を団長に→綱領規約検討委員会の発足
 体制－三役留任 団長－高平、副－佐久間、ジョー、書記長－勝代、次長－ジョー
 常任委員－サリー、カルビ、弁士、マッチ、おけい、ゴエモン
 団員数67名、うた新16団体227部扱い
 8.10 人民大学で歓迎演奏（市民会館・有志16名）
 8.21 センター再建作戦本部第1回会議－450万円カンパ活動の提起
 8.29 お誕生会
 9. 9 東北電工組合結成25周年大会で組唱歌（高平作曲）発表－9名参加
 9.10 宮うた祭典第1回実行委員会－16サークル参加
 大音楽会形式（1部合唱発表会）決定
 9.17 宮うた祭典実行委員会－15サークル24名参加
 実行委員長－高平 事務局長－佐久間 企画部長－渋谷 組織部長－大坪
 9.21 団歌う会（ブラザービル・200名）－しおさい、アコール友情出演
 9.24 団臨時総会－総会後の新方針確認 20名出席、委任14名
 普及活動に重点－歌う会を2カ月に1度、演奏会計画、全団員がサークルに結びつく
 新役員 団長－ニキ 副－佐久間、勝代、弁士
 書記長－ジョー 次長－カルビー 創造委員長－高平
 9.29 うたごえ30周年うたごえ歌曲の夕べ（東京日仏会館）で、渡辺定市を励ます「愛と人生を」（高平曲）発表
 10. 1 団員ミニ手帳発行
 10. 4 古川オルグ
 10. 3 東北電工オルグ
 10. 5 36期生開始－33名
 10.10 宮うた祭典（電力ホール）
 第1部 合唱創作発表会（18団体469名）

8.27 職場サークル合同芋煮会
 三居沢40名
 9. 5 大須事件上告棄却

参加—おたまじゃくし、おもちゃ箱、はぎ、あす
なろ、しおさい、きぼこ、どじょっこふな
っこ、三つ葉、大空、多賀城、アコハーモ
ニー、電通、医療CN2.8、やまびこ、アコ
ール、D51、仙台合唱団

講評委員—井上晶夫、小波、弘太、ニキ、高平
(委員長)、壇上(日うた)

推薦—仙台合唱団、D51

仙台合唱団発表曲—みんなの心にとどくよう、
アムール川の波

第2部 うたごえよ翼ひろげて音楽会(484名)

参加—学うた合同、仙北合同、職場合同、バララ
イカ、青柳常夫、渡辺定市、壇上佐和枝

短期間でやりきったがうたごえ30周年にふさわし
いものとは言えず、内輪の祭典に留まった

仙台合唱団組織170(目標230)赤字16000円

盗難事件あり(80000円)

10.13 団運営機構新体制確立—

創造委員会(高平—教育部、研教部)

普及委員会(佐久間—うた新部、うたう会部、サ
ークル対策部)

総務委員会(チョー—組織部、財政部、やくしん
部)

10.17 福島合唱団演奏会協力(7名)

10.20 団で有事立法の学習会(8名参加)

10.29 宮うた実行委員会—祭典総括と日うたの取り組み

11. 2 統一労組懇集会出现(作並・8名)

11. 3 市民祭り参加(歌う会・12名)

11. 4 加藤車体労組オルグ(4名)

・ マッチ結婚祝う会

11. 8 団うたう会(ブラザービル・100人)

うたごえ30周年と仙台合唱団の歩み

11.12 日うた県実行委員会発足(佐久間実行委員長、渋谷
事務局長・9サークル参加)

11.18 36期生交流合宿(八幡神社・~19日)30名、団員
8名参加

12. 1 日うた合唱発表会(大田区民センター)

仙台合唱団発表曲—みんなの心にとどくよう、
アムール川の波 32名(第3
位)

県合同青森第2位、山形激励賞

12. 2 創作音楽会(国際劇場)

宮城合同—デュエット(鹿島台)、もしも海がみ
んなひとつの海だったら(小波)
俺たちは歌う(サリー)70名 優秀団
体で表彰

10.14 バラライカ開店

10.25 職場サークル連絡会発足(5団
体)

D51、おもちゃ箱、医療、あ
すなろ、きぼこ

<p>12. 3 大音楽会（国際劇場） 東北合同－南部牛追い歌、歌ごえひびかせて（小波曲）宮城60名東北250名 全体で仙台合唱団40名研究生21名 宮城17団体120名参加 職場の部合唱発表でD 5 1 合唱団 1 位次席 研究生合同に20名参加－大空へとべ、祖国の山河に ほか（高平編曲） 全国中心合唱団合同、30周年プログラムには2名のみの参加と不十分</p> <p>12.11 県青学連結成大会歌唱指導－有事立法反対の活動のとりくみ</p> <p>12.17 声楽受講者交流会（青年会館）35名</p> <p>12.20 36期生忘年会（国労会館）</p> <p>12.22 塩釜反戦歌コンサート出演（11名）</p> <p>12.24 職場とのジョイントコンサート打ち合せ（仙台合唱団、D 5 1、あすなろ、きぼこ参加） 1.15、1.28、2.4と4回開くがまとまらず</p> <p>12.26 団忘年会（狩人・26名参加） ・ 日うた総括感想文集（やくしん特別号）発行</p> <p>12.28 ママさん団員忘年会（7名）</p>	<p>12.19 職場合同サークルクリスマス会</p>
<p>1979年</p> <p>1. 1 あかつきの集会</p> <p>1.13 カルデパーチョ発足（カルビ、デメ、パーマン、チャー）</p> <p>1.19 国公青婦協旗開き参加 ・ お誕生会</p> <p>1.20 東北のうたごえ代表者会議（名取川温泉）－ 6県10サークル 東北交流会運動の確認</p> <p>1.26 新春の集い演奏（26名）</p> <p>1.27 36期生創作合宿－研究生24名団12名参加</p> <p>1.31 新年うたう会（140名）</p> <p>2. 2 労働者後援会集会歌唱指導</p> <p>2. 4 宮うたサークル代表者会議</p> <p>2.10 日うた全国協総会（湯河原・5名参加） 表彰団体にうみねこ合唱団</p> <p>2.19 うた新創作推進のため月刊賞を設定 第1号にジョー「ひばり」が選考される</p> <p>3. 4 声楽おさらい会（榴ヶ岡市民センター・団22名、研究生12名）</p> <p>3. 5 36期うたう会</p> <p>3.10 農協うた祭協力 ・ 東北のうたごえ活動者会議（秋田・18名） 中央から藤本、道田参加</p> <p>3.17 地方選うたごえ後援会集会演奏</p> <p>3.18 メーデー作戦本部発足</p>	

- 3. 21 岩沼北中親と子の会演奏 (14名)
- 3. 25 福島声楽おさらい会派遣 (2名)
 - ・ 宮うた協再建準備会発足一
 - 仙台合唱団、D51、アコールの3団体
- 3. 27 お誕生会
- 3. 28 古川うたう会協力 (6名)
- 3. 30 団内春闘学習会 (14名)
- 4. 9 飛島建設オルグ (7名)
- 4. 12 音楽センターカンパ450万円達成
- 4. 14 36期生合宿
- 4. 24 団うたう会 (春闘GO!・婦人会館) 72名
- 4. 28 育児院からすの会歌唱指導 (29日も)
- 4. 29 仙北うたごえ花見参加 (涌谷・4名参加)
- 5. 1 メーデー参加 (18名) 歌集4360部 「国のすみずみから」 (高平・コンクール2位曲) 普及
 - ・ センターカンパ450万円完納
- 5. 3 全国講習会 (指揮法) 派遣
- 5. 5 東北教育者懇談会 (名取川・～6日)
- 5. 12 食品労連集会歌唱指導 (茂庭・5名参加)
- 5. 19 36期生合宿 (八幡神社)
- 5. 20 河北新報労組河下り歌唱指導 (2名)
- 5. 24 36期生修了演奏会 (医師会館) 38名修了9名入団
 - 3件の盗難問題おこる
- 5. 27 からすの会例会指導 (3名)
- 5. 29 お誕生会
- 6. 10 職場うたごえ講習会
- 6. 17 全国協代表者会議 音楽センター建設募金運動
 - ・ 保育合同研協力
 - ・ サリー結婚祝う会
- 6. 18 団うたう会 (100名)
 - ・ 東北交流会団内実行委員会発足
- 6. 27 沖縄報告集会参加
- 6. 28 宮うた協再建総会一10団体22名参加 仙台合唱団、D51、きぼこの3団体のみ加入
- 6. 30 第2回東北うたごえ大交流会 (わらび座・35団体200名参加)一宮城から10団体27名、仙合18名参加 講演 杉浦敏郎、東北のうたごえ代表者会議主催
- 7. 10 団総会 (議案書提案・センター)
- 7. 15 団総会 (榴ヶ岡市民センター・44名内委任状26)
 - 団員71名 (休団26)
 - 総括一普及活動、研究生、声楽、宮うた協再建など前進面
 - 演奏会、ミニコンはできなかった 班組織の事実上解体、レッスン結集の悪さ (団費滞納31万円)
 - 9回演奏会計画など方針討議

- 3. 19 うた新創作月刊賞にりんごっこ
「翼ひろげて」(後上半期賞)

- 7. 13 渡辺定市死去

盗難問題で声明 団旗に対する提案 うた新239部

新体制 団長ーニキ 副ーカク 書記長ーチョー次長ーパーマン

常任委員ーカルビ、クーコ、勝代、佐久間、高平（創造委員長・常任会には適時参加）

- 7.21 第24回電通のうたごえ祭典（東京）で高平らの集団創作組曲「自由なる朝へ」演奏
8. 2 37期生開始
- 8.12 9回演奏会を考える会ー8名
- 8.18 団キャンプ（泉ヶ岳・17名）ー新旧団員交流が目的だったが新・旧団員がこなかった
- 8.22 団うたう会（勾当台・40名）ー月1回班が企画するうたう会
- 8.31 演奏会計画に向けた団 臨時総会（出席者19名でながれ集会）
9. 2 ヤングステージ講習会ー中央合唱団より児玉、片桐参加（15名）
9. 8 37期生交流合宿（研究生34名・団15名）
- 9.17 団うたう会（ブラザービル・110名）ーFDとうたごえ
- 9.23 第1回宮うた祭典実行委員会（12団体24名）
- 10.13 団合宿（泉ヶ岳・23名）
- 10.24 電通との合同うたう会（歯科医師会館・45名）
- 10.28 宮うた祭典（鶴ヶ谷市民センター、20団体319名）
ー合唱発表会形式 実行委員長 渋谷
参加ーきぼこ、みつば、電通、大空、37期研究生、しおさい、おもちゃ箱、おたまじゃくし、D51、アコール、どらごえ、やまびこ、コールペア、あすなろ、多賀城、メトロノーム（どらごえ小班）、はぎ、保母合同、仙台合唱団
友情出演ーほうねん座、宮フォー連、バラライカ
推薦 1位 仙台合唱団 2位 D51 3位 アコール
仙台合唱団発表曲ー花には太陽を子供らには平和を、胸の底に
42名参加演奏31名
11. 4 第1回日うた参加実行委員会（6団体）
- 11.10 37期生創作合宿（八幡神社）
- 11.11 第1回日うた参加合同レッスン（12団体41名）
- 11.15 団うたう会（婦人会館）
- 11.23 日うた祭典合唱発表会（北区公会堂）
仙台合唱団発表曲ーコンドルは飛んでいく、花には太陽を子供らには平和を

<p>11. 24 大音楽会 (大田区民会館・～25日) 宮城合同—私の好きなこの街 (高平) Today Tomorrow Forever (どらごえ) 僕の母さん(保母) キック一発 (37期) 東北合同—なつかしのヴァージニア、ぼくのひこ うき (やまびこ振付け) 宮城から10サークル130名参加 仙台合唱団29名 研究生25名 仙台合唱団3位 D51 職場の部1位 アコー ル地域の部激励賞 創作「僕の母さん」(保母) 激 励賞 秋田県合同2位 全国合同—自由なる朝へ (高平指揮)</p> <p>12. 7 青学連1周年記念集会歌唱指導</p> <p>12. 8 団合宿 (八幡神社・27名)</p> <p>12. 10 37期生うたう会 (ブラザービル・142名)</p> <p>12. 21 第9回演奏会(電力ホール) —一般650 (入金900) 歌い手—団41、研究生25、団外12 発表曲—大空へ飛べ、僕の飛行機、デュエット、 君は生きているか、コンドルは飛んで行 く、フニクリフニクラ、ロシアの広野、 鐘がなれば、花には太陽を子供らには平 和を、俺達は太陽、桑畑、アムール河の 波、組曲「自由なる朝へ」、国のすみず みから、素晴らしい明日のために 友情出演—D51 合唱団 客演—今村肇、福田由美子、小林光、金井信</p> <p>12. 22 演奏会反省会 (20名)</p> <p>12. 25 団忘年会 (ふる里・22名)</p>	<p>* 電通モーニングコール結成</p>
<p>1980年</p> <p>1. 1 あかつきの合唱 (60名)</p> <p>1. 6 新年センター大掃除</p> <p>1. 15 民青LET GO' 80集会演奏 (団15名参加・白 鳥ビル) ・ 保育大学伴奏参加</p> <p>1. 28 3サークル交流うたう会 (仙台合唱団、アコー ル、しおさい・バラライカ) 44名参加</p> <p>2. 2 団合宿 (鳥の海・17名参加)</p> <p>2. 4 宮うた代表者会議 (4団体) —総会、80年祭典</p> <p>2. 9 37期生合宿 (八幡神社・研究生21、団6名) ・ 塩釜新春の集い演奏 (26名参加) ・ 日うた総会参加 (～11日) —勝代、高平常任委員 になる</p> <p>2. 10 紙パ交流うたう会歌唱指導 (6名参加) ・ 国労3地本学習交流会演奏(国労会館・11名参加)</p>	<p>1. 10 社公両党連合政権構想で合意</p> <p>1. 22 統一労組懇、ナショナルセンタ ーのあり方懇談会結成</p>

- 2. 26 37期生終了発表会（白鳥ビル・350名参加、研究生37、団39名）
- 3. 1 仙台小劇場公演「金冠のイエス」レッスン参加
- 3. 9 紙パうたごえ祭典公演（小ホール・団24名参加）
D51 友情出演
- 3. 11 新団員歓迎会（狩人・29名参加）－入団14名
- 3. 16 岩沼北中親子の会演奏（岩沼・14名参加）
- 3. 23 団総会（婦人会館・33名参加）
- 3. 31 団うたう会（カワイ）
- 4. 3 38期生開始（34名）
- 4. 11 「金冠のイエス」公演協力（12日も）－3ステージ、高平合唱協力、合唱隊に10名参加（全体60名）
- 4. 17 春闘勝利文化集会（婦人会館・25名参加）
- 4. 18 38期生交流合宿（八幡神社・研究生22名、団7名参加）
- 4. 20 3カ年計画のための全団アンケート
- 4. 28 きぼこミニコンサート（センター）
- 4. 29 清水先生守る会バスハイク歌唱指導（米沢）
- 4 バン仙台に転勤となり入団
- 5. 1 メーデー（10名参加）－雨天のため歌唱指導できず・
- 5. 3 中央教育講習会 創作講習会で高平報告
- 5. 11 全建労学習会歌唱指導（7名参加）
- 5. 18 庄司励ます大集会（スポーツセンター・31名参加）
－ミニうたう会、事業4万円
- 5. 20 宮うた協総会（全通会館・7団体）－アコール、
モーニングコール正式加盟で加盟5に
- 5. 24 第3回東北うたごえ交流会（福島・～25日）－東北から253名、宮城54名、団24、研究生13名参加
- 5. 25 松山事件現地調査歌唱指導（4名参加）
・センターにピアノはいる－12万円カンパスタート
- 5. 30 団うたう会（センター・団24名）
- 6. 8 団総会（方針・市民会館会議室）－3カ年計画の決定
団長カルビー、副ニキ（副指揮者）、カク（事業）、書記長パーマン（組織）、次長チャー（教育）、フク、常任委員バン（うたう会部）、高平（創造委員長・常任指揮者）、ナッコ（カマラ班）、トラック
宮うた担当佐久間、マンボ 日うた担当勝代、高平
- 6. 19 第5回声楽おさらい会
- 7. 4 合唱集中レッスンスター
- 7. 5 38期生創作合宿（八幡神社）
- 7. 12 団創作合宿（八幡神社）
- 7. 14 郷土レッスンスター
・ 平和行進集会歌唱指導

5. 31 日うた常任委員会で岩手のうたごえ協議会再建・加盟を確認

7. 14 総評幹事会、日本母親大会への不参加決定

- 7. 21 38期うたう会
- 7. 23 カマラドイ代表者会議スタート
- 7. 26 全国研究生交流集会（戸隠・～28）
- 7. 27 長町まつり協力
- 8. 2 平友祭参加
- 8. 4 保母うたう会出演
- 8. 7 第1回平和と文化の集い出演（勾当台公園）実行委員長高平
- 8. 8 七夕音楽祭出演
- 8. 9 第1回東北うたごえ教育者懇談会（～10日）
- 8. 23 宮うた夏の交流会（泉ヶ岳）
- 9. 7 電通祭典の宮うた合同レッスンスター
- 9. 24 泉市うたう会準備会スタート
- 9. 26 38期生終了発表会（医師会館・29名終了）
- 10. 11 電通祭典合唱発表会（医師会館・200名）
・ 電通祭典前夜祭（茂庭荘・320名）
- 10. 12 電通祭典（市民会館大ホール・750名）連帯合唱団100名合同演奏「自由なる朝へ」「母さんの樹」
- 10. 14 新入団員歓迎会（狩人・14名入団）
- 10. 18 医大懇集会出演
- 10. 19 きたがわてつオルグ参加
- 10. 26 宮うた祭典合唱発表会（ブラザービル）15団体
発表曲 統一列車、生まれてきた幸せを
1位仙台合唱団、アコール 次席D51 2位おたまじゃくし
- 11. 3 宮うた祭典大音楽会（電力ホール）16団体 444名参加 実行委員長高平 ほうねん座、バラライカ、きたがわてつ、斉藤ヒデ（松山事件）参加祭典合唱隊 青く輝く地球のために、自由なる朝へ、地底のうた（103名）
- 11. 4 カマラドイ新聞「かべっこ」創刊
- 11. 15 D51うたう会出演
- 11. 18 塩釜うたう会（発足）出演
- 11. 24 仙台合唱団うた新拡大30%達成
- 11. 29 青学連集会出演
・ 団合宿
- 12. 6 日うた祭典合唱発表会ー全国2位達成
D51職場の部1位、モーニングコール努力賞
- 12. 8 39期生開始
- 12. 18 宮うたクリスマスカーニバル
・ 壇上リサイタル派遣
- 12. 27 団忘年会

1981年

- * パーマン休団 バンが書記長代理に（このころ常任委員会流会続く）
- 1. 17 郷土班合宿

1. 21 アコール第4回演奏会

- 1. 24 通い合宿レッスン（～25）
- 1. 26 新春の集い出演
- 1. 27 委員会開催、早春コンサートの体制確認
- 1. 29 きたがわてつと早春コンサートオルグ開始（もぐらのいえ、鶴ヶ谷、西多賀、新婦人、長病、小鳥の家など23カ所～2/3）オルグ参加団員30名 交流人数約600名
- 2. 1 私学集会協力
- 2. 12 30周年をめざす早春コンサートーきたがわてつと共に（電力ホール）
歌い手 団65（団員87）、研究生26 チケット組織917
発表曲 I believe in music、贈る言葉、ヨイトマケの歌、百姓娘、早春賦、金は天下の廻りもの、みんな太陽、自由なる大地へ、生まれてきた幸せを、心に広場を、IMAGIN、納豆屋、人生の賛歌、ケサラ、美しき祖国のために、統一列車は走る、アムール河の波、子どもを守る歌、青春の歌、御神楽
友情出演 仙台フォークダンス協会 仙台小劇場、石川浩など協力
- 2. 17 委員会開催しチョーが書記長代行に、教育部長代行は高平 シュンが山形から入団
- 2. 21 日うた協総会にカルビー参加 常任委員勝代
- 2. 27 D51演奏会出演
- 3. 1 39期創作合宿
- 3. 4 河北労組集会協力
- 3. 13 団総会不成立 31名+委任状9 総括討論
- 3. 15 団総会不成立 26名+委任状11
- 3. 15 岩沼北中親子会出演（2パート9名）
- 3. 20 団総会 団員S-25 A-19 T-25 B-19 退団（ビット、ケムンパス、モンスケ、ブン、ピノコ）方針討論、三役選挙 団長カルビー 副ニキ、カク 書記長チョー 次長フク 常任委員 バン（普及） ポッキー（教育） クーコ（財政） ゾンビ（教育） ドン（うた新）
- 3. 22 第10回保母うた祭典地元実行委員会結成 実行委員長大坂誠 事務局長 ハスキー
- 3. 30 39期歌う会（カワイ80人）
- 4. 4 第2回東北教育者懇談会（井上頼豊来仙～5）東北6県から28名 高平、チョー、カルビー、ポッキー、ドン、プッチン、バン参加
研究生合宿 京都ひまわりの東参加
- 4. 7 春闘メーデーの取り組み 西多賀病院集会（4名参加）
- 4. 11 全日自労集会（4名参加）

- 2. 2 泉市うたう会準備会ふれあいコンサート
- 2. 10 はぎ演奏会

- | | |
|--|--------------------|
| 4.16 春闘総決起集会 | |
| 4.21 青学連集会（9名参加） | |
| 4.22 国労仙台運転所集会（5名参加） | |
| 4.25 松山事件再審を求める会出演（14名） | |
| ・ 古川うたう会協力 | |
| 5. 1 メーデー参加 | |
| 5. 3 わらび座へ有志 | |
| ・ チョー結婚 | |
| 5.10 宮うた協総会 会長佐久間 副バン、ダンプ 事務局長ゴア 企画小波 組織咲千子 | |
| 5.17 河北仙販式典出演（労働福祉会館20名参加） | 5.26 全国革新懇結成 |
| 5.29 団うたう会（保母うたと合同 60名） | |
| ・ 核持ち込み糾弾集会歌唱指導 | |
| 5.30 39期終了合宿 | |
| 5.31 松山事件現地調査参加 | |
| ・ 団スポーツ交流会 | |
| 6. 4 カク古川オルグ | |
| 6. 5 松山事件斉藤幸夫より団と高平宛に礼状 | |
| 6. 6 第4回東北うたごえ交流会（山形、蔵王温泉～7） | |
| 303名参加（宮城9サークル39名） | |
| 講演 浜島康弘 | |
| 6. 8 マスコミ共闘青婦集会出演（19名） | |
| 6.14 声楽おさらい会 | |
| 6.15 30周年に向け意見を聞く会（バラライカ） | |
| 6.20 教科書反動化阻止集会歌唱指導 | |
| 6.27 学習協講演会協力 | 6.21 仙北うたごえ交流会（石巻） |
| ・ 仙北交流会参加 | |
| 6.28 横谷先生祝う会協力 | |
| 7. 2 39期修了演奏会（戦災復興記念館270名） | |
| 7. 5 エノシン、増田（バラライカ）結婚祝う会 | |
| 7. 6 39期修了式（26名卒業、19名入団） | |
| 7.12 臨時総会流会 団員確認 S-13、A-9、T-13、B-7（42）未確認11 退団15（ブン、サカナヤ、ビットら） | |
| 休団20（オケイ、マッチ、エノシン、ネコ、カマ、関口ら） 出席25、委任20 | |
| 7.14 団委員会流会 23人中10名参加 平和月間方針討議 | |
| 7.16 平和と文化の夕べを成功させるつどい（戦災復興記念館）吉田秀晴 講演 | |
| 7.25 五色の集い参加（～26 5名参加） | 7.17 アコールミニコンサート |
| 7.26 長町まつり協力（7名参加） | |
| 7.29 新団員歓迎会（狩人30名参加） 旧団員と組み合わせたフレッシュパートナー制実施 | |
| 8. 1 平和友好祭出演（秋保～3 26名参加） | |
| 8. 2 子ども劇場キャンプ協力 | |

- | | |
|---|----------------------------|
| 8. 6 第2回平和と文化のつどい出演（勾当台他～7、35名参加）実行委員長高平 多賀城アンサンブル、宮沢勝之、長谷川きよし等出演 | |
| 8. 8 七夕市民音楽祭出演（市役所前広場 24名参加、アコールと共同） | |
| 8.10 40期オリエンテーション | |
| 8.11 新団員教室 | |
| 8.22 宮うた夏の交流会（泉ヶ岳～23）8団体36名 | |
| 8.30 臨時総会（30周年記念事業計画）43名出席+委任22 | |
| ・ 第1回委員会 | |
| 8.31 研究生を知る会（センター） | |
| 9. 1 第1回記念事業委員会（17名参加） | |
| 9. 3 40期レッスンスター | |
| 9. 5 第2回団委員会 | |
| 9.16 森田まさはるコンサート（婦人会館70名） | |
| 9.19 第10回保母うた祭典合唱発表会（毛利金融ビル34団体480名）宮城から16サークル参加 | |
| 9.20 保母うた祭典大音楽会（市民会館1000名）友情出演 空にはお日様、俺達は太陽 | |
| 9.21 うた新仙台支局滞納のため停止予告 | |
| 9.22 第2回記念事業委員会（木下そんき来仙） | |
| 9.26 40期合宿（～27） | |
| 9.27 パーマン、クーコ結婚祝う会 | |
| 10. 5 団内学習グループ「らしんばん」発足 7名 | |
| 10. 9 日ソ労組交流会出演（40名参加） | |
| 10.11 宮城のうたごえ祭典大音楽会（電力ホール 320名）実行委員長 清水智子 特別出演 森田正治、バラライカ 祭典合唱団合同 青い地球、熱気球、音楽構成「大きな樹」、子どもを守る歌 | 10.10 東北学生うたごえ交流会（仙台・230名） |
| 10.12 戦争体験をきく会開催（白樺 20名） | |
| 10.18 松山事件現地調査参加 | |
| ・ マッタさん入院 | |
| 10.25 仙北交流会参加 | |
| 10.31 いわき合唱団えくぼうたう会出演（25名参加） | |
| 11 スケ復団 | |
| 11. 3 古川「平和と文化のつどい」出演（22名参加） | |
| 11.14 学習協レセプション出演（14名参加） | |
| 11.15 宮うた合唱創作発表会（歯科医師会館16サークル158名）すばらしい明日のために、わが母のうた | |
| 11.21 40期創作合宿（～22） | |
| ・ 第1回普及組織部会開催 | |
| 11.26 仙台労組懇つどい出演（29名参加） | |
| 11.27 ほうねん座公演出演（26名参加） | |
| 12. 5 日本のうたごえ祭典（～6 32名参加） 昨年に続き全国2位 D51職場の部1位 | |
| 12. 7 拡大創造委員会 レコーディング選曲 | |

<p>12.19 団忘年会 (ともしび) 12.21 40期うたう会 (カワイ 60人) ・ 仙合宮うた協合同三役会議 12.23 30周年記念事業委員会動き出す 12.27 センター大掃除</p>	
<p>1982年</p> <p>1. 1 30周年記念事業委員会 (レコード歌集制作委員会 -82.7にレコーディング予定、記念音楽会創作委 員会-83.2ごろ予定、地方コンサート制作委員会 -82.6に古川) 全団に訴え CAP カルビー SUB パーマン</p> <p>1. 2 常任委員会新春合宿 各委員会が30周年事業で動 き出す</p> <p>1. 6 国鉄祭典に向け、仙台合唱団、D51、宮うた協 で打ち合わせ (センター)</p> <p>1.10 委員会で重点方針討議</p> <p>1.23 40期合宿 新団員教室特別講座 浜島康弘来仙</p> <p>1.24 第24回国鉄のうたごえ祭典実行委員会準備会 (婦 人会館)</p> <p>2. 7 私学のつどい協力 (県民会館)「太陽に向かって 育て」19名参加</p> <p>2.12 団大うたう会 (婦人会館130人) 2年ぶりの取り 組み</p> <p>2.18 常任委員会 高平休団問題</p> <p>3. 5 宮うた協委員会</p> <p>3.11 団委員会で高平問題討議</p> <p>3.12 壇上さわえ第3回リサイタル (東京・労音会館) に高平作品発表</p> <p>3.13 ネショ祝う会</p> <p>3.14 ハタ披露宴</p> <p>・ 全セツ連全国大会出演 (東北大記念講堂21名参加)</p> <p>3.21 岩沼北中歓送迎会出演 (9名参加)</p> <p>・ 古川コンサート第1回実行委員会 (古川中央公民 館) ジャンボ、ガッタ参加</p> <p>・ 国鉄祭典実行委員会 (市民会館会議室)</p> <p>3.25 40期修演 (医師会館200名)</p> <p>3.29 春闘青年のつどい (歯科医師会館110名) きたがわてつと合同</p> <p>4. 1 40期修了式 (30名修了16名入団) トコ、チャマ、 シュンら</p> <p>4.16 団総会 80~81年の総括 レッスン平均22名</p> <p>4.18 団総会 古川コンサートなど短期方針討議 44名 出席 (実働S17 A10 T15 B13=55) 団長カルビー 副ニキ、勝代 書記長チョー 次 長フク、マンボ 創造委員長ニキ 常任委員 教 育ドン 研教チャッパ 普及ガッタ 組織パーマ</p>	<p>1.18 うた新に斉藤範雄「三月の最上 川」</p> <p>2.13 横浜で、どろんこ、赤い靴ジョ イントコンサート</p> <p>3.20 反核・日本の音楽家たち結成</p> <p>4.21 古川でうたごえ喫茶</p>

- ン うた新ビット 佐久間、バン、サスケは委員
- 4.28 新団員歓迎会 (狩人)
5. 1 メーデー
- ・ 古川コンサート現地実行委員会 実行委員長佐藤美智子 副佐々木敏勝 事務局長バン 企画部長ニキ 組織部長ボビー
5. 3 シチズン、マミー祝う会
- 5.12 古川市長、ママさんコーラス訪問 佐藤、ニキ
- 5.16 古川合同レッスン
- ・ 反核集会 (レジャーセンター9人参加)
- 5.17 古川高校、女子校、工業、民商、水道局、市職労、手話サークルオルグ チャマ、チャッパ、敏勝
- 5.18 第一、第二小学校オルグ カルビー、ビット、チャッパ、佐藤
- 5.19 ママさんコーラスレッスン ビット、ワラゴマ、チャッピー、フク
- 5.22 泉ヶ岳で合宿レッスン (27名参加)
6. 5 社会保険病院スト支援歌唱指導 (3名参加)
6. 6 わたしの町の手づくりコンサート (古川市民会館) 仙台合唱団、つくしんぼ、ママさんコーラス、古川マンドリンクラブ、石巻フォークキャラバン、どじょっこふなっこ、古川手話サークル、ヤングリバーボーイズ コンサート合唱団90名 入場者400名 団員46名参加
- 発表曲 私の好きなこの街、ともしび、カチューシャ、喜びも悲しみも幾年月、贈る言葉、すばらしき明日のために、青い空は、アムール河の波 合同演奏 ゆきどけのうた、20歳の坂道、俺達のうたパートⅠ 郷土 八丈島太鼓、ソーラン節、御神楽、春駒
- 6.10 41期面接開始
- 6.12 第2回国鉄祭典地元実行委員会 委員長渡辺喜作 (国労仙台地本委員長) 副日野、ヒロ 事務局長湯田正孝 組織部長マーボ 企画部長ゼンダマン 情宣部長ダンプ
- 6.19 第5回東北うたごえ交流会 (十和田湖~20) 260名参加 (宮城28名) 講演 山本忠生
7. 9 ふれあい大うたう会in長町(80人、団員37名参加)
- 7.12 41期スタート (20名)
- 7.18 声楽おさらい会 (7期)
- 7.21 平和と文化のまつりつどい
- 7.25 団総会 (流会) 団員94中参加29委任13 団内連絡組織体制確立、団財政討議
- 7.27 団総会 (流会) 団員94中24参加委任16 カマラーDOIについて討議

* 青森「らっせらあ」結成

6. 4 SSDⅡ音楽代表団に大久保宣子(うみねこ)、紺野茂美(福島)派遣

7. 3 おたまじゃくし勾当台で平和コンサート

- 7.30 選挙総会（レッスン後） 団長カルビー 副ニキ、勝代 書記長チョー 次長フク、ビット 常任委員パーマン、チャッパ、ドン、ヒロ、ガッタ（佐久間、バンは委員 全体で委員は29名）
- 7.31 平和友好祭（秋保～8/1）25名参加
8. 6 第3回平和と文化のまつり（市民会館小ホール、勾当台公園～7） 実行委員長 黒田一之 熊谷金次、峯岸とし子、エストレジャスデカンポ、青柳常雄、多賀城アンサンブル、日交ギャラクターズなども含め26団体参加
8. 7 41期合宿（～8）
8. 9 郷土グループ5名わらび座合宿（～10）
- 8.11 国鉄祭典合唱団結団式
- 8.19 創造委員会
- 8.26 団委員会（白樺） 総会に向けて
- 8.28 宮うた夏の交流会（泉ヶ岳～29）20名
9. 4 全国合唱団連絡会議・団長事務局長会議で連絡会議の再確立を決定
9. 5 団総会（戦災復興記念館）35名出席 方針討議 S-25 A-19 T-25 B-25（94名中休団、未結集31）
- 9.21 D51と合同うたう会（婦人会館）70名
- 9.25 41期創作合宿
- 9.29 古川うたう会
10. 2 盲学校寮祭出演（17名参加）
10. 3 みやぎ赤旗まつり出演（榴ヶ岡公園20名） 事業30万売り上げ
- 10.10 国鉄うたごえ祭典合唱発表会（毛利金融ビル250名）
- 10.10 東北南部3県学生交流会（福島・200名）
- 10.11 国鉄うたごえ祭典大音楽会（市民会館600名）
- 10.16 郷土グループ合宿（ほうねん座9名～17）
・ どらごえ合宿オルグ（ガッタ、チョメ、チャンプ～17） 事業8750円
- 10.20 団うたう会（若人42名）
- 10.21 バラライカレセプション参加（12名）
- 10.23 どらごえ10周年記念演奏会出演（山下公民館400名）25名参加
- 10.24 宮うた合唱発表会（歯科医師会館100名）
山本忠生講演 54年日うた祭映画上映
電通、41期、ひなたぼっこ、新幹線925、どらごえ、東北学院大民謡民族舞踏研究部、宮うた合同仙台合唱団、バタフライ、おたまじゃくし、どろんこ、D51、村上仁=11団体個人
仙台合唱団発表曲 それが仲間だ、道=第2位で日うた推薦（第1位おたまじゃくし）
- 10.25 41期うたう会（カワイ110名）
- 10.30 平和集会参加
- 10.31 カルビー・ナッコ祝う会（婦人会館42名参加）
・ 古川赤旗まつりで事業活動

<p>11. 2 全段郷土レッスンスター 11.13 団創作合宿（八幡神社～14）林学講師10人参加、 2曲できる 11.11 団委員会流会（白樺） 11.17 団うたう会（若人）43名 11.20 アルト会（勝代宅） 11.27 日本のうたごえ祭典（大田区民会館～28）宮城から 9サークル52名参加 仙合22名 研究生9名 合発第3位 12. 1 第2回仙台労組連帯交流のつどい出演（東北大記念講堂）26名参加 12. 5 新団員教室 12.17 団うたう会（青年会館50名） 12.19 平和と文化のまつり忘年会（スカイビル50名） 10名参加 12.24 団忘年会 林学参加 12.31 あかつきの大合唱（バラライカ、国見30名）</p>	<p>11.24 古川で森田まさはるコンサート 12.14 全民労協結成 12.15 6thおたまじゃくし演奏会</p>
<p>1983年 1. 6 団委員会 1.13 新春のつどい有志出演（17名参加） 1.18 団うたう会（塩釜公民館54名） 1.20 常任委員会 1.23 私学のつどい協力（県民会館） 1.26 第1回塩釜コンサート実行委員会 1.30 松山事件再審決定（アコ伴で参加） 2.10 41期修演（市民会館小ホール350人）山本、今村、木下ら協力 研究生19名参加 2.11 日うた全国協総会（4名参加～13）年間優秀団体で山形センター、秋田合唱団表彰 ・ 全国合唱団連絡会議総会－再登録で38団体（福島、秋田、仙台、青森センター、郡山加盟）勝代運営委員になる 2.16 ダンプ、フク祝う会 2.19 もぐらの家うたう会 2.20 県内サークル合唱団代表者会議（センター14団体27名） 2.25 職業病保母集会協力 2.28 かねじ、バラライカコンサート出演（平分実行委員会主催 市民会館小ホール 260名） 3. 3 41期修了式 23名入期20名修了 3. 8 鶴ヶ谷東小卒業生振付指導（「みんな太陽」振付） ・ 平和紙芝居発表会歌唱指導（戦災復興記念館60人）6名参加 3.12 塩釜旗揚げコンサート（塩釜商工会議所7団体150人）</p>	

- 3.19 東北教育者懇談会（福島青年会館、市民会館25人～20）4名参加 木下、山本参加
- 3.20 声楽講師今村さんと飲んで語る会（泰陽楼）
 - ・ 東北交流会第1回実行委員会（市民会館）宮城、山形、岩手参加
 - ・ 東北学うた協総会講習会協力（竹中旅館60人3/20-22）5名参加 指揮法、発声法
- 3.24 平和うたう会エスポワール（国土地理院）演奏（毛利金融ビル70名）20名参加
- 3.25 仙台労組懇会議オルグ（東北大学職組）3名参加
- 3.26 ドン、ビット結婚式
- 3.27 医療に働く婦人のつどいオルグ（戦災復興記念館）8名参加
- 3.28 団うたう会（カワイ18名）月1回班が企画
- 4. 1 春闘学習会
- 4. 5 宮城生協労組新入職員歓迎会出演（毛利金融ビル）17名参加
- 4.12 新団員歓迎会 デンら入団
- 4.16 新団員教室（～17）
- 4.17 アラ祝う会
 - ・ 第2回東北交流会実行委員会（秋保ニューハイランドホテル）9団体13人
- 4.25 団みんなうたう会（カワイ13名）
- 4.26 社会保険病院労組集会歌唱指導（2名+南部参加）
- 4.27 全電波労組集会歌唱指導（2名+南部参加）
- 4.28 日社福労組育児院分会歌う会（5名参加）
- 5. 1 メーデー参加 20名
- 5. 7 団委員会 総会準備 マンボ、ワラゴマ休団確認
- 5. 8 新歓春フェス看学生のつどい歌唱指導 4名参加
 - ・ 第3回東北うたごえ交流会実行委員会（榴ヶ岡市民センター）
- 5.13 団総会（センター34名参加） 総括、討論 S14(9) A14(6) T18(10) B15(8)=94(33) () 休団
- 5.14 チャッピー、ゼンダマン祝う会
- 5.15 団総会（戦災復興記念館26名参加）方針
 - ・ 第1回委員会 常任委員選出 カルビー、ニキ（教育）、勝代、チョー、フク、ビット（うた新）、パーマン（やくしん）、トコ（組織）、ガッタ（普及） ポッキー短期専従（5、6月）で準常任 委員は25名 ネショ（財政）、カク（事業）など、() は部長
- 5.20 団総会（センター）まとめ、採決 ドン休団、KK転勤で退団
- 5.22 第4回東北のうたごえ交流会実行委員会（榴ヶ岡市民センター）
- 5.28 第6回東北うたごえ交流会（秋保～29） 44サークル230名（宮城76、仙台合唱団23名）

講演井上頼豊

- 6. 4 第2回委員会 平和月間方針 30周年記念音楽会
1月27日に決定
- 6. 7 拡大組織部会
- 6. 8 民青学習決起集会歌唱指導（婦人会館）9名参加
・ 42期生募集委員会
- 6.11 保育合研うたう会伴奏（茂庭荘）2名参加
・ 盛岡合唱団コンサート鑑賞 6名参加
- 6.16 常任委員会
- 6.18 創造委員会（ニキ宅）
- 6.20 事業物在庫整理
- 6.23 42期生第1回オリエンテーション
- 6.27 創造委員会
- 6.30 42期生第2回オリエンテーション
・ ポッキー専従終了 滞納20万円回収、レコード22
枚、42期15名、事業整理など活躍
- 7. 5 平友祭学習うたう会歌唱指導 6名参加
- 7. 8 原水禁実行委員会スタート 4名派遣
- 7. 9 第1回子どもと平和と青い空出演（県民会館会議
室 昼12、夜14名参加）
- 7.10 松山事件現地調査参加 3名参加
- 7.14 平和行進参加 6名参加
- 7.16 三青コンサート 2名参加
- 7.23 42期合宿（教育会館 研究生15名、団13名参加～
24）
- 7.24 長町まつり参加（長町小学校）
- 7.30 平和友好祭（南蔵王～31）団20名研究生9名参加
・ ホリユウ転勤
- 8. 5 長崎原水禁世界大会壮行会（センター）デン、チ
ョコ、トコ、ワッペ派遣 カンパ50万、署名950
- 8. 6 第4回平和と文化のまつり（勾当台 15団体のべ
1500人～7） 団6日13名、7日17名参加
- 8. 7 七夕市民音楽祭出演（市役所前 16名参加）
- 8.11 常任委員会
- 8.13 ポッキー短期専従（～24）
- 8.15 革新懇平和のつどいでパートそろわずカルビーソ
ロ演奏（都市センター）
- 8.21 宮うた協総会（婦人会館 4団体11名参加）
佐久間会長 副バン、ダンプ 事務局長ゴア
- 8.24 団委員会 総会準備 カルビー団長退任受理
- 9. 1 生協婦人のつどい歌唱指導（ニューシティーホテ
ル）3名参加
- 9. 4 8th声楽おさらい会（榴ヶ岡市民センター）28名
発表
- 9. 7 ミンスク市代表団歓迎会出演（労働福祉会館）
21名参加 軍拡時代こそ市民レベルの交流が必要
・ 第4回委員会 議案書作り

6 労働省調査で労働組合組織率3
割をわる

7 弘前おらんど合唱団解散し「は
とぶえ」結成

8.29 うた新創作年間賞に佐々木則子
（盛岡合唱団）「We are Singing」

- 9.11 臨時総会（戦災復興記念館）31名参加 記念音楽会方針決定 バンを団長に選出（以降宮うたとの兼務うまくいかず） S23(14) A18(8) T29(9) B22(8) うち()は休団OR未結集
- 9.15 団委員会
 ・ 医労協フェスティバル歌唱指導（釜房）団3、研究生2参加
- 9.18 古川うたごえ広場出演（中央公民館）つくしんぼ8、ともしび10、仙台合唱団9名参加
- 9.20 草の根平和歌う会（戦災復興記念館）26名参加 原水禁報告集会
- 9.22 団委員会 記念音楽会体制（バン委員長、企画ニキ、情宣ヒロ、事務局パーマン）宮うた委員ガッタ、勝代、チョー
- 9.24 一斉パート会（～28）
- 9.26 峯陽とともに特別講座協力（自治労会館）10名参加
 ・ 事業緊急打ち合わせ 音楽センター事業部西村義明オルグ 売掛金悪化のため、現金化70万円、返品55万（今年度）要求される
- 9.29 OBとの第1回打ち合わせ
- 10.1 音楽会合宿（泉ヶ岳～2）25名参加 木内レッスン
 ・ 国鉄祭典に団4、研究生2名参加
 ・ 高平復団
- 10.12 さらば角栄青学連集會うたう会歌唱指導（戦災復興記念館）団5、研究生2参加
- 10.16 宮うた合唱発表会（青年会館）14団体 42期研究生、はぎ、アコール、石巻フォークキャラバン、きぼこ、ともしび、D51、カマラバンド、つくしんぼ、モーニングコール、若人合唱団、仙台合唱団、どらごえ、どろんこ
 仙台合唱団1位で日うた推薦、2位若人、3位D51、はぎ
 仙台合唱団発表曲 Happy birthday to you 永久のみどりより
 ・ 青年フェスティバル（榴ヶ岡市民センター）13名参加
- 10.22 42期創作合宿（八幡神社～23）木下講師
- 10.23 団・研究生OB大交流会（バラライカ）OB17名 団5名参加
- 10.27 団委員会 演奏会方針
- 10.30 永久のみどり合唱団第1回レッスン 15名
- 11.2 東北南部3県教育者交流会（福島～3）2名参加
- 11.3 西村来仙 事業強化9.10月28万、11月30万入金
 ・ 常任委員会
- 11.8 仙台小劇場「松山事件」公演協力 18名参加
- 11.12 演奏会第2回合宿（森郷～13）24名参加

- 10.29 どらごえコンサート
 10.30 音楽家ユニオン結成

- 11.14 生協総会歌唱指導（シティーホテル） 5名参加
・ 42期うたう会（カワイ 60名）
- 11.20 保育学校歌唱指導（県民会館） 2名参加
- 11.25 永遠のみどり事務局スタート 事務局長チョー
- 12. 3 日本のうたごえ祭典（練馬文化センター、太田体育館～4）合発3位次席 団28、研究生10参加
山形センター合唱団「ざ・ろんり」で創作優秀団体
- 12.10 42期合宿
- 12.12 庄司青年学生後援会集会歌唱指導（県民会館）
4名参加
- 12.21 カマラバンドうたう会（若人30名）
- 12.22 バラライカ出演（バラライカ）15名参加
- 12.26 団忘年会
- 12.29 協栄生命振付指導 2名参加
- 12.31 あかつき大合唱（国見）

1984年

- 1. 2 有志で「若人」福島遠征協力
- 1. 9 ポッキー短期専従（～2/2）
- 1.12 国公労旗開き（婦人会館）3名参加
- 1.15 演奏会スタッフ、キャスト会議（榴ヶ岡市民センター）
- 1.27 第10回演奏会（電力ホール）入金1073 団演奏48、
研究生13、他10
客演 多賀城アンサンブル、福田由美子 舞台
仙台小劇場、生活舞台みやぎ 高平は音響、編曲
で参加
発表曲 とべよはとよ、青春、太陽に両手広げ
て、君よ心の舵を取れ、ラララで歌おう、嵐、
Happy birthday to you、陽はまた昇る、涙を越え
て、御神楽、マンコロのうた、夜、母さんの手の
ひら、俺達は太陽、芝浦、国のすみずみから、
合唱構成「真実の樹」（松山事件）、合唱組曲
「永遠のみどり」 総合司会 スケ
- 1.28 日中友好協会つどい出演（龍天江）10名参加
・ 研究生はぎオルグ 4名
- 1.31 第1回演奏会打ち上げ（センター）
- 2. 1 研究生つくしんぼオルグ 2名
- 2. 2 常任委員会
- 2. 3 第2回演奏会打ち上げ（センター）反省と交流
20名参加 松対協から2名
・ 連帯と交流のつどい第1回実行委員会（東北大職組）
- 2. 9 きゅうの会受賞報告会（紙芝居「おじいさんの
できること」）出演（戦災復興記念館）13名参加
- 2.11 日うた全国協総会参加（～12 4名参加）

- 2.16 団委員会（集会） 演奏会総括
- 2.19 ヒロ、チャマ祝う会
- 2.21 つどい合唱レッスンスター
- 2.24 緊急団委員会
- 2.28 42期修演（戦災復興記念館130名）団45研究生17
3. 6 きたがわてつ仙台オルグ（24カ所 ～7） 3名参加
3. 8 松山糾弾集会出演（労働福祉会館）10名参加
- 3.10 84連帯と交流のつどい（レジャーセンター700人）
団25、研究生5参加
音楽家ユニオン、日交ギャラクターズ、石巻フォー
ークキャラバン、きたがわてつ、地底の歌合唱団
（指揮高平） てつ合同40名、地底80名
- 3.10 東北教育者懇談会（山形 20名～11） 6名参加
- 3.12 42期修了式（カワイ）21名修了5名入団 タッキ
ー、クッキー、キンジローら
- 3.13 団委員会（集会）
- 3.14 東北学うた協講習会でカルビーが声楽協力（竹中
旅館）
- 3.17 反トマホーク集会にデン、トコ派遣（横須賀～18）
- 3.20 団委員会 83年度総括
- 3.24 拡大委員会合宿（八幡神社～25）
- 3.25 チャッパ、ミルミル結婚式
4. 3 新入団員歓迎会
4. 7 団委員会
- 4.14 団総会（青年会館～16）37人参加 今村肇講演
3カ年計画のまとめと課題
「納得のいくところで演奏したい」「対象を明確
にして普及活動を進めよう」
県内各地でミニコンうたう会の提起
団員 S22(11) A17(6) T23(7) B22(9)=84(33)
()うち休団 ネコ、マッチ、スマイルら17名退
団 入団4
団長バン 副ビット 書記長チョー 次長パーマ
ン（組織財政部長）、デン（機関紙部長）
常任委員 勝代（創造委員長）ガッタ（事業部
長）チャッパ（研教部長）トコ（普及組織部長）
ニキ（演奏教育部長）宮うた担当 佐久間、ピッ
ト、高平、勝代 高平、カルビーは委員（研教
部）
- 4.15 団委員会
- 4.26 多賀城うたう会協力（新田公民館13名）
高平、ポッキー、アベ、ダンプ、オリーブ、クッ
キー、スケ参加
- 4.28 団委員会集会
全国総合講習会にニキ（指揮者・教育者 パネラ
ーとなる 大阪～30）、タッキー（ダンス 同）
派遣

- 4.29 拡大三役会議 (チョー宅)
5. 1 メーデー参加 仙台は出演無し、塩釜で歌唱指導、うたう会依頼
5. 5 全国総合講習会にキンジロー (郷土 京都~6) 派遣
- 5.10 第1回創造委員会
- 5.12 団委員会 きたがわてつの取り組み (古川、塩釜、仙台で連続コンサート)
- 5.14 日フィル仙台公演協力
- 5.15 一斉部会提起 (教育部のみ) パーマン8月まで休団
- 5.19 てつ実行委員会スタート
- 5.20 松山事件最終現地調査 2名参加し歌唱指導など
- ・ 反核フェスティバル演奏 (青葉山公園) 7名参加
 - ・ 子どもまつり伴奏協力 (三神峯公園) 5名参加
- 5.26 山形合唱団定期演奏会に10名参加
- 5.27 反トマホーク八戸集會に10名参加
- 6.12 オカジ短期専従 (~19)
- 6.16 第7回東北うたごえ交流会 (盛岡市中央公民館、青少年会館~17) 33サークル230名 団26名参加
団外では6名 (D51 2名、古川、若人1名、ゴア、パウダー)
初日はミニコンサート 演奏曲-合唱構成松山事件 (指揮ニキ、ソロ・デン、ナレ・オカジ、伴・サスケ)、永遠のみどり (指揮守屋、山形、八戸と合同) 振り付け分科会副講師タッキー 守屋レッスン、座談会
- 6.18 古川てづくりコンサート (中央公民館250名)
12名参加 つくしんぼ、ともしび、石巻フォークキャラバン、手話サークル出演 合同演奏「ケサラ」「そんな町を」 指揮ニキ 伴奏サスケ
- 6.19 塩釜てつコンサート (塩釜公民館150名) 2名参加
- 6.20 仙台てつコンサート (戦災復興記念館210名)
演奏参加 団33名他15名 3日間で事業売り上げ40万
7. 1 団委員会 各部総括 研究生募集月間 カマラドイに7月から専属伴奏者
7. 2 研究生面接
7. 7 第2回子どもと平和と青い空 (パルシティー)
7名参加
- ・ ベース会
- 7.10 松山判決 傍聴券取りに並ぶ (デン)
三角公園でうたう会
- 7.11 松山判決無罪を勝ち取る 歌唱指導、うたう会
勝利祝賀会100名
- 7.13 わらび座公演実行委員会 オブザーバー参加

- 7.14 コールマリード小さな音楽会（神谷沢生活センター） 高平指導、カマラバンド出演
- 7.16 研究生を知るうたう会（カワイ 26名） 研究生9名
- 7.21 平和友好祭（秋保～22） 団26名、研究生8名参加
- 7.23 43期入期式（カワイ） 研究生11名
- 7.25 創造委員会
- 7.28 アルト会
- 7.29 長町まつり協力
 - ・ 中央集会派遣1名
- 7.30 松山事件無罪判決確定集会 13名参加
- 8. 4 団委員会
- 8. 5 第5回平和と文化のまつり（勾当台～6） 29名参加
- 8. 7 一斉部会
- 8.15 終戦記念日集会参加 6名
- 8.18 教職員のうたごえ祭典にポッキー参加
- 8.20 ソプラノ会
- 8.22 名取オンチーズオルグ 4名
- 8.25 団、研究生合同合宿（ほうねん座～26）
団22、研究生16参加
- 8.28 名取オンチーズオルグ 3名
- 8.29 塩釜オルグ（民青地区委） 3名参加
- 8.30 星空コンサートIN長町の取り組みでD51に協力
申し入れ
- 9. 1 泉オルグ 6名
- 9. 4 一斉部会
- 9. 3 うた新及びセンター財政の件に関して佐久間より
申し入れ
- 9. 8 団ボーリング大会（勝山） 団20、研究生8名参加
 - ・ 泉コンサート第1回実行委員会 実行委員長 藤村 事務局長 ダバ
 - ・ 日うた東北合同レッスン参加の呼びかけ（ニキ、バン、勝代、紺野茂美、上町祐隆）
- 9. 9 日米合同演習反対集会（レジャーセンター） 10名参加
- 9.10 わらび座「東北の鬼」公演（市民会館～11）
- 9.12 母さんの樹レッスン開始 母さんの樹合唱団
団長バン
- 9.13 創造委員会
 - ・ デン転勤
- 9.19 長町病院青婦部まつり出演 12名
- 9.21 星空コンサートIN長町（日専連150入金）
団31+6、研究生8名参加
D51、医療合同、43期参加 指揮 貴田、高平、ニキ
- 9.23 東北のうたごえ教育者懇談会（勝代宅）
- 9.24 日うた東北合同レッスン 山本忠生指導

9.24 うたごえ喫茶「若人」閉店

8月以降の総括

団員現勢 S=9 A=6 T=13 B=11 バン4月まで
休団 佐久間、パーマン、ハタ長期休団

- 1.12 43期合宿（キッコ宅～13）団8、研究生13参加
- 1.13 大掃除
- 1.15 新春のつどい演奏（市民会館）11名（母さんの樹）
2. 8 相沢励ます大演説会（市民会館）歌唱指導
- 2.10 日うた全国協総会（熱海～11）トコ、タッキー参加
・ オンチーズ演奏にポッキー伴奏応援
- 2.23 母さんの樹合唱と対談のつどい（市民会館600名）合唱隊120、団27名
実行委員長 川端純四郎 事務局長 川村 仙台
合唱団も実行委員会加盟
- 3.11 43期修演（戦災復興記念館150名）団27、研究生20 入団5名 えんじ、イクラら
- 3.16 拡大常任委員合宿（バン宅～17）8名+山本忠生参加
- 3.17 合唱団母さんの樹スタート 呼びかけ人 高橋順子、宮田恵子、岡村朋子、安積嘉代、大河原順子、工藤喜美子、岩淵明子、増田家次子
- 3.23 母さんの樹打ち上げ
・ 東北交流会実行委員会 バン参加
- 3.25 43期修了式（カワイ） 修了23名、入団11名 ラック送別式
- 3.26 団委員会
- 3.29 春闘メーカー本部スタート ニキ、ガッタ、トコ、ポッキー、シチズン
4. 1 みんなうたう会（カワイ50名）
4. 3 団委員会
4. 8 6月6日までポッキー短期専従
- 4.12 団総会（～14 センター、八幡神社）
総括と90年に向けての方針 46名参加
規約（78.8.7に改正されたもの）の全面改正
綱領、特に「労働者階級の立場に立つ」は変えず
①目的と性格—大衆的・民主的音楽集団であること、うたごえの中心合唱団であること、幅広い連帯と大きな目標 ②団員の資格—レッスン参加と団費納入により除籍規定 ③団運営体制—運営委員会を中心体制に ④指揮者—総会で確認、グループ育成 ⑤加盟関係の再確認 ⑥団友制度 ⑦字句修正
団員 S23（休団・長欠10）、A19（8）、T24（9）、B19（6）
団長バン、副勝代・ビット、書記長トコ、次長チョー、チャップ、正指揮者ニキ、副高平、カルビー

1.26 はぎ演奏会

2. 5 核兵器廃絶のためのヒロシマ、ナガサキからのアピール

3.17 合唱団母さんの樹発足14名

4. おたまじゃくし正式解散宣言
やまびこも84年秋から活動停止状態

- 4.14 運営委員会 常任委員選出 新委員にキンジロー、タッキー、エンジ 高平も委員 オケイ復団、キントト退団
- 4.18 運営委員会 体制、基本演奏曲確認
- 4.21 第9回声楽おさらい会 終了後花見
- 4.22 みんなうたう会（カワイ50名）団員28名参加
- 4.25 宮うた協会長佐久間とバン連名で県内サークル・合唱団代表者会議の呼びかけ
 - ・ 運営委員会 演奏教育部長バン、組織財政部長トコ、機関紙部長チョー、事業部長ガッタ、研教部長ポッキー、宮うた委員チョー、勝代、ビット、ヒロ
- 4.26 新団員歓迎花見（西公園）21名参加
- 5. 1 メーデー参加（12名）出演、歌唱指導なし
- 5. 2 運営委員会
- 5. 3 団内ハイキング（青葉山）16名参加
- 5. 4 創作講習会にショピン（創作センター会員）参加～6
- 5. 6 44期オリエンテーション 研究生11名
- 5.10 核兵器廃絶・ニカラグア連帯集会（婦人会館350名）演奏 団21名参加
 - ・ 「やくしん」試作品発行ー選曲アンケート結果
①アムール②収穫のうた、花を贈ろう④広島のある国で⑤青い空は、Happy Birthday To You ⑦全民青
- 5.15 古川つくしんぼううたう会に8名参加（36名）
- 5.17 レッスンで三沢学習会（講師齊藤）15名
- 5.19 宮うた代表者会議（センター・16団体20名）2年ぶりに開催、団7名参加 終了後うた新対策会議
- 5.25 農協のうたごえ交流会演奏（労働福祉会館30名～26）団から8名参加、うたう会、合唱寸劇指導
 - ・ ほうねん座20周年仙台公演
- 5.26 三沢集會に11名参加（宮城からバス16台1000人参加） 歌唱指導、うたう会
- 6. 1 44期交流合宿（八幡神社～2）
- 6. 5 相川マチコンサート うたう会、事業 5名参加
- 6. 8 運営委員会不成立 仙台合唱団教育資料の発行
 - ・ 全国ダンス交流会にタッキー参加（～9）
- 6. 9 愛わいわい祭り（仙台国際青年の年推進協議会主催・勾当台公園）で演奏 3名
- 6.10 石井啓一郎ヴァイオリンコンサート 事業、チケット扱い
- 6.11 運営委員会不成立 カルビー世界祭典派遣問題
- 6.13 運営委員会不成立
- 6.16 第2回宮うた代表者会議（センター・10団体15名）
 - ・ 東北うたごえ交流会実行委員会にバン参加
 - ・ 日うた実行委員会に勝代参加

- 6.20 常任委員会
 - ・ 宮うた委員会は流会
- 6.21 カルビーをモスクワに送る会（モスカル会）準備委員会
- 6.26 ヤングジャンプinみやぎ出演（戦災復興記念館・170名）団19名参加
- 6.27 常任委員会 ビットがニュース担当
- 6.29 第8回東北うたごえ交流会（わらび座・204名～30）宮城から7団体27名、団18名参加
- 7. 4 常任委員会
- 7. 5 宮城マスコミ・文化労働組合共闘会議結成大会演奏（河北ビル・50名）団14名参加
- 7. 6 なくせNUKESコンサート 高平「原爆の日より」発表
- 7. 7 反核ジャズ&フォークコンサート
- 7. 9 第3回子どもと平和と青い空（Qの会・戦災復興記念館・20名）演奏 団13名参加
- 7.11 松山守る会総会演奏 7名参加 ニキに対して松山音楽会の打診あり
 - ・ 常任委員会
- 7.13 南3県東北のうたごえ教育者懇談会（山形・22名） 団5名参加 トコ、ニキは指揮
- 7.14 福田教室ごくろうさん会 7名参加
- 7.16 世界祭典壮行会（25名）団20名参加
- 7.18 常任委員会
- 7.20 宮うた夏の交流会（泉ヶ岳・15団体57名～21）団26名参加 創作曲「名前を書いて」完成
- 7.25 常任委員会
- 7.26 松対協激励集会（労働福祉会館・40名）演奏 団員11名参加 無罪確定1周年記念
 - ・ 生協ビール祭り歌唱指導 団3名参加
- 7.27 44期創作合宿（～28） 団6名、44期18名参加 地主参加
- 7.28 長町まつり演奏（長町小学校・団7名参加）地主ピアノ
- 7.29 運営委員会で松山町音楽祭取り組み決定 声楽教室を3から2に減少 季刊日本のうたごえ定期購読10部
- 8. 4 坂病院院内共闘平和の集会（20名）参加 団員4名 うたう会
 - ・ 第6回平和と文化のまつり（実行委員長黒田一之勾当台・団24名参加）
- 8. 6 カルビーモスクワから帰仙
- 8.10 将監映画と音楽の夕べ（35名）演奏 団12名参加（無伴奏）
- 8.11 宮うた代表者会議（9団体15名）宮うた合発について

7.13 宮城地域自治研究所設立

- 8.14 常任委員会
- 8.22 常任委員会
- 8.24 平和友好祭 (200名~25) 演奏、うたごえ分科会
団25名、研究生8名参加 世界祭典報告
- 8.29 常任委員会
- 8.30 全団集会 松山町音楽会出演依頼について
28名参加
- 8.31 運営委員会 団現勢 S-19 (休団9)、A-15
(8)、T-23 (11)、B-16 (2)
9. 5 常任委員会
9. 7 東北教育者講習会 (15名~8) 団から4名参加
講師山本忠生
・ 地主の協力でアコーディオン教室再開
- 9.12 安保破棄実行委員会20周年レセプション (60名)
演奏、うたう会 3名参加
- 9.14 松山打ち合わせ (松山公民館) 団7名+地主、ピ
ッケ参加 松山小学校高島光子先生
- 9.16 44期うたう会 (24名)
- 9.21 団合宿 (~22) 松山音楽会に向けて 18名参加
伴奏者山形センターから
- 9.28 松山町オルグ ニキ、エンジ、ギン、バン
- 9.29 宮うたバリバリコンサート (名取市民会館・18団
体120名) 団33名参加
講評委員 飯田利道 (石巻)、勝代、トコ、斉藤
儀一郎 (山形)、土屋和久子 (名取)
創作賞 飛鳥「春」実行委員会「名前を書いて」
バリバリ賞 南光台うたう会
やまがた一ず、空ノッチ、古川合同 (ともしび、
つくしんぼ)、飛鳥、D51、南光台うたう会、
44期研究生、セデス、海の子、仙台合唱団、おん
ち一ず、バリバリコンサート実行委員会
特別出演ーバラライカ、学童保育児童、ポピー&
ライラックス、つくし座、村上仁、母
と子のステージ
仙台合唱団演奏曲ー夕張の子、平和への歩み
10. 1 団、研究生合同合宿
10. 6 松山町音楽会 (松山町体育館・800名) 35名参加
主催松山町教育委員会、松山町文化協会
第1部ー町民音楽会 松山中学校、ママさんコー
ラス、松山小学校、伊野場小学校
第2部ー仙台合唱団演奏会 I部 大空へ飛べ、
Sing a song of freedom 翼をくださ
い、大きな古時計、イツ ア スモー
ルワールド、僕の飛行機、ぶち合わせ太
鼓、II部 日本国憲法9条、夕張の子、
フニクリフニクラ、フィンランディア、
収穫のうた、アムール河の流れ、指揮、

<p style="text-align: center;">カルビー、ニキ 多賀城アンサンブル出 演</p> <p>10.12 海の子うたう会参加 10.25 東北合唱団会議 10.26 日米合同演習反対集会ニキアコ伴で参加 10.27 仙山線ふるさと線守ろうにD51と歌唱指導（5名参加） ・ 陸羽東線もみじ号（1名参加） ・ バラライカと大ソフトボール大会 11. 3 シュン、ポッキー結婚を祝う会 11. 9 どらごえ第10回コンサート参加（200名・ゲストきたがわてつ）団8、研究生4名参加 11.22 日本のうたごえ祭典（～24）団25、研究生3名参加 トコ、フク、ホタル2往復 夫婦6組参加 合発一「夕張の子」18名 指揮ニキ、伴奏ユカリ、外地主、ジュンペイ 3位 創作発表会一「名前を書いて」指揮カルビー、「ぼくらのふるさと線」指揮地主 団16名、研究生2名 伴奏ホタル 大音楽会一東北合同「サンディニスタ賛歌」全国合同、郷土、母さんの樹合同 団22、研究生3名参加 12. 5 44期修了演奏会（市民会館小ホール・200名）団44名 12.11 うたえ！ふるさと線（古川・50名）に5名参加 12.14 東北教育者懇談会（山形市民会館、劇団山形稽古場～15）団6名参加 講師山本忠生 12.18 宮うた忘年会（団外19名） 12.22 南光台うたう会参加（15名）団8名参加 12.23 44期修了式 S8、A6、T4、B4 「ぼくらのふるさと線」（地主作詞作曲）を宮うた合同で演奏 12.27 入団歓迎忘年会 25名 12.28 大掃除 バン、トコ、イクラ</p>	<p>10.20 アコハーモニー第3回アコーディオンの集い</p> <p>12. 8 アコ教室カマラードイで初演</p>
<p>1986年</p> <p>1. 8 安保破棄実行委員会旗開きにニキ、トコ参加 1.11 東北のうたごえ代表者会議（センター）青森のぞき8名参加 宮城からバン、勝代 名称を正式に「東北のうたごえ連絡会議」とする 事務局仙台、交通費1名分片道支給 1.14 演奏会合宿（～15） 1.17 統一労組懇旗開きで演奏 1.25 星空コンサートinなとり 1.26 ヤングジャンプinみやぎ（500名） 2. 2 宮うた総会（センター）9サークル15名参加 2. 8 日うた全国協議会総会に勝代、トコ参加</p>	

- 2.10 新春の集い演奏
- 2.19 佐久間、バン連名で第6回県内サークル・合唱団等代表者会議(3.2)の呼びかけ
- 2.21 第11回演奏会(電力ホール)赤字15万
 第Ⅰ部-非核への願いを込めて フィンランディア、墓標、日本国憲法9条、広島のある国で、平和の鐘をならそう 指揮ニキ
 第Ⅱ部-素晴らしい明日のために 素晴らしい明日のために、Sing a song of freedom、今かけぬけていく若者たち、We are the world、シャンテ、歌って愛して、夕張の子 指揮ニキ、カルビー
 第Ⅲ部-合唱構成守ればくらのふるさと線 俺は枕木、黒い赤旗、俺は鉄道屋、父ちゃんの仕事、ステーション、走れふるさと線、俺たちのシルクロード、レールの音が聞こえますか 指揮ニキ、神山
 郷土-サントコ太鼓、御神楽 友情出演合唱団「母さんの樹」、ともしび、つくしんぼ、D51
- 3.2 宮うた代表者会議-ミュージカル「希望」について他 セデス総会で宮うた協加盟決定
 ・ ミュージカル「希望」第1回レッスン
- 3.11 ホタル短期専従(～3.20)
- 3.14 団総会(総括・センター)18名参加
- 3.15 ひまわり号準備会参加
- 3.16 団総会(討議、方針・センター)23名参加 不成立
 団員S19(休団9)、A16(8)、T24(11)、B17(2)この1年で入団7、退団11、復団1
- 3.21 でがらし、ごえもん結婚祝う会
- 3.22 東北のうたごえ教育者講習会(盛岡・～23)
- 3.30 春闘再構築宮城県集会(青葉山公園)演奏
- 4.1 映画「母さんの樹」上映実行委員会参加
- 4.3 運営委員会
- 4.12 団総会(方針)21名+委任10参加 不成立
- 4.13 団総会(方針)24名+委任11参加 不成立
- 4.19 「希望」宣伝行動(中央通り)
- 4.24 ミュージカル「希望」公演 歌い手60名
- 5.3 えんじ、イクラ全国郷土講習会(神戸・～5)
 参加 カンパ27640円
- 5.11 東北うたごえ交流会実行委員会(盛岡)5県11名参加
- 5.16 団総会予定したが運営委員会不成立のため延期
 45期現在12名(5.8発足予定を延期)
- 5.19 45期オリエンテーション(カワイ)

- 5.23 第9回東北うたごえ交流会（福島・10団体170名）宮城から40名参加
- 5.29 運営委員会 総会不成立等を巡る団運営の諸問題
- 6.6 団総会（センター）29名参加
- ・ 第1回運営委員会 体制 団長バン 副勝代、ニキ 書記長トコ 次長キンジロー、ギン 常任委員ープラグ（普及組織）エンジ（研教）チョー（機関紙）ビット（同）10人体制でいく 事業部長チャッパ、演奏教育部長バン、組織財政部長トコ 退団ーマミー、トミー、シチズン、ミノ 休団8名ーフク、ドン（育児）、高平（一身上）ら 宮うた体制ー委員 バン、ニキ、チョー、勝代 事務局ーガッタ、チャッパ、チョー
- 6.7 宮城保育合研（茂庭荘）伴奏・事業3名参加
- 6.8 宮うた合唱団・サークル代表者会議
- 6.9 バラライカ新店舗を作る会結成 代表世話人 バン、青木良夫（つくし座座長）稲垣達也（ピアニスト）オカジ（母さんの樹団長）スケ（セデス団長）事務局長 南部よし子 事務局員 森卓司
- 6.11 岩出山ワイワイコンサート 3名参加（バン、トコ、研1）
- 6.14 45期交流合宿 自治会長社長
- 6.18 運営委員会 各部体制
- 7.5 学童なかよしクラブ七夕会演奏 7名参加
- 7.12 ポッカ結婚式
- ・ 東北地銀連団碁将棋交流会（茂庭荘）演奏 18名参加
- 7.13 秋田合唱団定期演奏会 4名参加
- 7.19 宮城のうたごえ交流会（泉ヶ岳・～20）14団体57名参加 仙台合唱団18名
- 7.23 運営委員会 選挙期間中団結集が最悪
- 7.26 北矢流子ども会七夕コンサート演奏 7名参加
- ・ 45期創作合宿
- 7.28 地主アコ教室閉講（10ヶ月）スケ、イクラ、トコ、ポッキー、バン、おがん、ポッカ、瀬戸、沼辺、下山、マンボ
- 8.5 一斉部会
- 8.23 東北うたごえ連絡会議（山形一休宅）勝代参加
- 8.24 東北うたごえ交流会実行委員会
- 8.27 運営委員会 団員の老化 独身者23/69（3分の1）そのうち活動参加は11名のみ ポッカ退団
- 8.30 平和友好祭（秋保・～31）団15、研究生9名参加
- 9.6 45期うたう会（戦災復興記念館展示室・100名）
- 9.14 ひまわり号参加者交流会（県心身障害者福祉センター）
- 9.22 45期合宿 団12、研究生15名参加

7.17 原水禁世界大会分裂

9.2 盛岡におれんじ開店

- 9.24 映画「母さんの樹」上映
- 9.25 運営委員会
- 9.28 県母親大会参加
10. 4 東北大職組婦人部集会演奏（共済会館）
- ・ 宮城一般労組レセプション演奏（労働福祉会館）
 - ・ 東北のうたごえ若者の集い（蔵王温泉・～5）
キンジロー参加
- 10.10 ひまわり号（平泉・580名）団9、研究生3参加
- 10.12 高平「風」（門倉作詞）で第2回三木露風賞優秀賞受賞
- 10.19 宮城のうたごえ合唱創作発表交流会（戦災復興記念館・12団体60名）仙台合唱団16名
- 10.23 利休ビル建て替えのため家主から移転通知
- 10.26 ふるさと線陸東沿線まつり参加（300名）
団9、研究生1参加
- 10.29 運営委員会 財政、事務所移転問題
11. 2 東北大学祭演奏
11. 4 全団集会 移転確認 家賃滞納60万円 移転対策委員会設置 OB、宮うた、三役ら
11. 9 宮うたみんなで作る音楽会（塩釜玉川公民館・140名）団23、研究生10参加 実行委員長 大野雅浩
宮城のうたごえ合唱団 「平和の旅へ」より
特別出演 バラライカ
参加ー仙台合唱団、45期、D51、つくしんぼ、
母さんの樹、カルビー&タッキー、空ノツチ、海の子、セデス、やまがたーず、南光
台うたう会、アップルズ
- 11.13 団長バンより全団員に手紙 移転問題、滞納一掃など
- 11.20 45期修了演奏会（婦人会館・180名）
団33、研究生20名参加
- 11.21 常任委員会
- 11.26 運営委員会
- 11.28 日うた祭典（名古屋～30）団17、研究生10参加
発表曲「自由めざして」「あなたの時代」
宮城から32人参加 東北合同「全国ふるさと線冬景色」（木村泉作）「まつり」
12. 6 塩釜「母さんの樹」上映で事業
- ・ 研究生バラライカミニコン出演
12. 7 常任委員会
- ・ 母と女教師の集い（自治労会館）事業 おがんの学童クラブ出演
12. 8 45期修了演奏会 団20、研究生20名参加 修了式
21名修了
- 12.11 運営委員会

<p>12.13 鹿野小学校学童クラブ「こじか会」クリスマス会 演奏 TV収録あり 団7、研究生6、セデス2 名参加</p> <p>12.14 臨時総会 (21名参加) 事務所問題、演奏会問題</p> <p>12.20 宮うた忘年会 (バラライカ) 7団体32人</p> <p>12.27 団忘年会 団22、研究生5、他1名参加</p>	<p>12.15 セデス第1回演奏会</p>
<p>1987年</p> <p>1. 5 臨時常任委員会 (バン宅)</p> <p>1. 6 歌い始めうたう会</p> <p>1. 7 安保実行委員会旗開き歌唱指導 2名参加</p> <p>1.17 東北のうたごえ代表者会議</p> <p>1.18 第10回東北交流会実行委員会 勝代、バン、トコ 参加</p> <p>1.31 拡大常任委員会合宿 (釜房憩いの家・～2.1) 11名参加</p> <p>2. 6 国鉄労働者を励ます集い (市民会館小ホール・ 450名) 演奏 団26名参加</p> <p>2.11 朝市センター保育園開所式 (朝市センター保育園 ・40名) 演奏 7名参加</p> <p>2.14 宮教組婦人集会演奏 (大河原) 2名参加</p> <p>・ 日うた全国協総会 (埼玉教育会館・～15) バン、 勝代、キンジロー参加 他にセデスから2名 セデス全国協加盟</p> <p>2.16 研究生知る会うたう会 (カワイ)</p> <p>2.21 高教組第10回教育講座 (松島・150名) 演奏 4名、他にD51 10名</p> <p>2.22 ヤングジャンプINみやぎ (婦人会館・200名) 演奏 12名参加</p> <p>2.24 財団法人仙台市市民文化事業団より87年演奏会に 対して50000円の助成</p> <p>2.28 団総会 (センター・21名)</p> <p>3. 1 団総会 (センター・32名・委任12名) 事務所の宮 帆ビル移転決定 家賃月74500円のため団費値上 げ 2000円 (休団1000円) 10坪、防音工事等で100万 円必要のため募金運動 団長バン 副ニキ、勝代 書記長トコ 次長キン ジロー、ギン 正指揮者ニキ、副カルビー 運営委員 プラグ、エンジ、チョー、ビット、イ クラ、カルビー、オケイ、ガッタ、ポッキー、ヒ ロ、オガン、エグ、社長 団員 S15 (休団6) A14(6) T18(8) B17(2) 研教部長イクラ、財政部長キョン、機関紙部長チ ョー、演教部長バン 指揮グループニキ、カル ビー、おがん うた協担当一チョー、ビット、エ グ、チャップ</p>	

- 3. 2 46期研究生募集うたう会
- 3.12 運営委員会
- 3.13 出発うたう会 (27名) 団員10名参加
- 3.15 国民春闘再構築宮城県集会演奏 9名参加 (セデスと共に)
- 3.21 東北教育者懇談会 (~22) 4名参加 他にどらごえ、はぎ、セデス、母さんの樹からも参加
- 3.28 ベース会
- 3.30 46期研究生知るうたう会
- 4. 3 プラグ山形転勤のため送別会
- 4. 5 センター引っ越し
- ・ アルト会
- 4. 9 運営委員会 100万円募金について
- 4.13 46期生入期式
- 5. 2 演奏会強化レッスン (~3)
- 5. 9 古川つくしんぼコンサート
- ・ 46期生コンパ (研究生5名)
- 5.14 運営委員会 演奏会は7/9の1日だけにする提案
声楽教室の縮小
- 5.17 そよ風コンサート (泉市将監公民館・100名)
声楽おさらい会10回記念 母さんの樹友情出演
- 5.19 全団集会 演奏会について
- 5.24 ドテラ結婚祝う会
- 6. 6 全国ダンス講習会 (~7) タッキー、ギン参加
- 6.13 第10回東北のうたごえ交流会 (山形蔵王・208名
・~14) 宮城から26名、団13名参加
ひまわり合唱団1パート、山本忠生参加
- 6.29 うたごえ新聞に仙台合唱団の記事 (団費滞納90万
など) 茨城県南うた協さわだちゅうより手紙
中央滞納65万、個人借入447万、計512万円の負債
団員61名レッスン結集10名以下
- 7. 9 わが街コンサート Part 1 (市民会館小ホール・
201名) 団員41名参加 D5 1友情出演
I部-あなたの時代、俺達は太陽、橋を造ったの
は俺達だ、すばらしき明日のために、大き
な輪を作れ
II部-合唱構成「平和の旅へ」、バラを植えよ
う、折鶴 指揮-ニキ、カルビー 協力劇
団がらんこ
- 7.13 研究生作詞講座 ボビー講師
- 7.16 常任委員会
- 7.23 運営委員会 常任委員の補充 エグ (普及組織部
長) ガッタ (事業部長)
- 7.25 46期合宿 (センター・~26)
- 7.27 団友会世話人会 オカジ、バン 結成呼びかけ
人 宮田、藤村、相沢、神谷、晶夫、岡村朋子、
青田、バン、勝代、オカジ

4. 1 国鉄分割・民営化

6.14 鶴ヶ谷でFolks (笠木透ら) コ ンサート

8. 1 平和友好祭（～2） 団19、研究生2名参加
8. 5 運営委員会
8. 8 団員指揮研究会 講師山本忠生、ニキ、カルビー
8. 23 宮うた夏の交流会（50名） 団21、研究生4名参加
 ・ 東北のうたごえ連絡会議（岩手中央公民館）
 勝代、バン参加
8. 26 運営委員会
8. 30 46期研究生うたう会（バラライカ・50名） 団15、
 研究生4名参加 うみの子友情出演
9. 2 運営委員会
9. 5 無認可保育所協ピアパーティ 9名参加
9. 6 仙台合唱団事務所オープン祝う会
 団友会結成総会（18名参加・賛同者20名） 年会費
 1口千円 世話人会会長野田 副宮田、事務局長
 岡村 会計相沢 世話人藤村、マンボ
9. 19 第37回保育大学（350名・～20） 歌唱指導 5名
 参加
9. 20 ひまわり号参加者交流会（480名） 歌唱指導 3
 名参加
9. 22 運営委員会 エグ新常任委員になる えんじ退団
 （結婚）ゴエモン休団（育児）
 団員 S13（休団6）A14(5)T16(7)B18(2)
10. 10 ひまわり号（500名） 団7、研究生2名参加
10. 12 学習講演会「非核への道」 バン参加
10. 18 みんなでつくる音楽会（戦災展示ホール・18団体
 120名） 団32名参加
 団演奏曲「俺達の胸の火は」「大きな輪をつく
 れ」
 参加ー仙台合唱団、46期、D51、保母うた有
 志、朝市センター保育園、つくしんぼ、石
 巻FC、ポビー&ライラックス、しおさい
 OB、カルビー&タッキー、海の子、医療
 男性合唱団、セデス、アップルズ、やまが
 たーず、45期OB会、母さんの樹、南光台
 うたう会 80年代最多
10. 24 カマラードイで平和の波（10名） パート別月2
 回で再スタート
10. 25 運営委員会
 ・ 団内交流芋煮会（10名参加）
10. 30 運営委員会
11. 1 陸羽東線まつり 5名参加
11. 3 デン・エンジ祝う会 23名参加
11. 13 46期修了演奏会（141スタジオ・100名） 団22名参
 加
11. 21 日うた祭典（～23） 宮うた10団体53名、団26名
 参加 葛西参加
10. 3 バラライカ建て替え問題決着し
 新装オープン
11. 20 日本民間労働組合連合会（連
 合）発足

<p>山形センター合唱団3位、安達ありんこ創作努力賞</p> <p>12. 3 46期修了式 9名修了 (S5、A3、B1) 団16名参加</p> <p>12.12 わが街コンサート Part 2 (40名) 団22名参加 南光台うたう会と共に</p> <p>12.16 運営委員会 うた新113部で滞納27万円</p> <p>12.25 団忘年会</p> <p>12.26 宮うた忘年会 (15名) 団6名参加</p>	
<p>1988年</p> <p>1. 5 うたい初め 6名</p> <p>1.10 常任委員会 87年総括 半数近くが休団 退団ー サスケ、ソラン、えんじ、おがん</p> <p>1.15 運営委員会</p> <p>1.16 東北のうたごえ学習会 (婦人会館・～17) 講師高 橋正志 (全国協)、東・山本 (京都) 斉藤範夫 (山形) 43名参加 (宮城3団体19名)</p> <p>1.21 常任委員会</p> <p>1.28 常任委員会</p> <p>1.31 民主教育を進める県民連合集会演奏 (300名) 団員18名参加 歌手手50名 指揮地主</p> <p>2. 1 新春のつどい演奏 (太田真希と) 8名</p> <p>2. 4 常任委員会</p> <p>2.13 日うた全国協総会 (～14) トコ参加 20年以上 活動家表彰に大久保宣子、小西勇一、沢田弘、伊 藤幸勝、水戸瀬亮二、勝代、ニキ、高平、斉藤と み子</p> <p>2.17 運営委員会</p> <p>2.19 40周年記念うたう会 (52名) 宮うた協主催 団28 名 つくしんぼ、母さんの樹、セデス、海の子</p> <p>2.22 宮うた協総会 3年ぶり再建 再発足加盟5団体 おんちーず下山個人加盟 その後3月に古川つく しんぼ加盟</p> <p>2.29 運営委員会</p> <p>3. 6 運営委員会</p> <p>3.12 団総会 (権現森温泉・～13) 1年間に入団2 (エグ、トリトン) 復団 (地主) 退団9 29名参加 特に教職員に普及する方針 団員S10 (休団4) A13(5) T16(7) B19(1)</p> <p>3.13 よりよい保育を考えるつどい エグ、トコ参加</p> <p>3.15 運営委員会 団体制 団長バン 副ニキ 書記長 トコ 次長エグ、キンジロー常任委員は以上5名 のみ 指揮者ニキ、副地主、カルビー 演教部長シュン 普及組織部長イクラ 研教部長社長 事業部長ガ ッタ 組織財政部長キンジロー 機関紙長チョー うた協勝代、チョー</p>	<p>1.24 アコハーモニーアコーディオンのつどい</p> <p>2.13 医療のうたごえ全国協議会再建 セデス活躍</p> <p>3.13 岡村朋子小さなコンサート (丸腰)</p>

- 3.19 うたとアコーディオンの夕べ打合会 勝代、晶夫、車田、忠生
- 3.20 東北教育者懇談会（盛岡市婦人会館・～21）講師 山本忠生
- 3.21 東北うたごえ交流会実行委員会（盛岡）
- 3.24 運営委員会
- 3.27 春闘勝利宮城県集会演奏 9名参加セデスと合同
・ イクラ祝う会
- 4.14 運営委員会
- 4.17 大型間接税粉碎中央集会 トコ派遣
- 4.21 東北造船集会
- 4.24 花見
- 4.28 安保廃棄シンポジウム バン参加
- 5. 1 メーデー参加
- 5. 3 宮城県民憲法集会演奏 16名
- 5. 8 アコーディオンの夕べ呼びかけ 阿部捷正（アコハーモニー）、バン、勝代、オケイ、車田、オカジ、スケ 実行委員長吉田和男（東北放送） 副宮田、野田、佐久間、バン、スケ 事務局長勝代次長阿部、オケイ 総務部長オカジ 企画部長車田 後に実行委員長は宮田になる
- 5.12 電通ガンバッペコンパ
- 5.23 きたがわてつコンサート（イズミティ21・260名）演奏 28名参加 チケット319で黒字
- 5.26 運営委員会 総会以降の総括
- 6. 4 第11回東北うたごえ交流会（大鰐山荘・180名・～5）山本忠生講演、日本母親大会（岩手）に向け「おおブナの森よ」レッスン
- 6. 8 運営委員会（流会） 全国母親大会実行委員会に加盟
- 6.19 子育て小組交流会（50名）演奏 12名参加
・ ヤングジャンプ（120名）演奏 8名参加
- 6.23 6.23集会演奏 6名
- 7. 8 運営委員会（流会）
- 7.10 マスコミ文化共闘反核コンサート（180名）演奏 4名参加
- 7.14 生協の集い演奏 13名参加
・ フレットスモールin仙台
- 7.17 大型間接税反対宮城県集会演奏 15名参加
- 7.19 研究生募集うたう会（市民会館視聴覚室・34名）13名参加 終了後コンパ
- 7.21 運営委員会（流会）
- 7.22 東北造船シンポジウム（300名）演奏 宮うた26、仙台合唱団17名参加 横山淳作「この船で」発表（地主編曲）その後、高平、ボビー、サリーなど連帯の創作できる

3.19 母さんの樹ファミリーコンサート

4. 2 ほうねん座24周年祝う会

6 S S DⅢにうたごえ代表团派遣

<p>7.30 日本母親大会（盛岡・～31）東北合同演奏（306名）「おおブナの森よ」「子どもたちよ」15名参加</p> <p>8. 5 運営委員会 電通祭典 演奏会に向けての臨時総会について ミルミル退団</p> <p>8.11 47期生入期式 団12、研究生9名参加 47期は11名でスタート</p> <p>8.19 運営委員会</p> <p>8.20 平和友好祭（秋保・160名・～21）団16、研究生2名参加 トコ、エグ、トリトン実行委員</p> <p>8.27 宮うた交流会（森郷・54名・～28）団11、研究生6名参加</p> <p>9.17 47期合宿（～18） 団10、研究生10参加</p> <p>9.18 ひまわり号参加者交流会 4名参加</p> <p>9.23 第11回声楽おさらい会 18名出演</p> <p>9.25 運営委員会 電通祭典の取り組み</p> <p>9.29 わらび座創立35周年記念公演鑑賞</p> <p>10. 8 集会（150名）4名参加</p> <p>10.10 ひまわり号 団7、研究生1、D51 7名参加</p> <p>10.21 10.21宮城県集会 4名参加</p> <p>10.22 第33回電通のうたごえ合唱創作発表会（戦災復興記念館） 団23、研究生5名参加（歌手50名）</p> <p>10.23 電通祭典大音楽会（イズミティ21）</p> <p>10.26 松川事件無罪確定25周年記念大集会</p> <p>10.28 うたごえとアコーディオンの夕べ（市民会館小ホール） 団23、研究生8、歌手55名参加 友情出演 松永、そんき、浜島、中尾、山本 宮 うた35周年記念合唱団</p> <p>11.12 山形合唱団定期演奏会賛助出演 団11、研究生4、他1名参加 ・ どころごえコンサート チョー参加</p> <p>11.19 47期創作合宿 団5、研究生1 講師青木良夫</p> <p>12. 4 みんなでつくる音楽会（80名）13団体 団27名参加（歌手16）</p> <p>12. 9 全団集会 演奏会について 15名参加</p> <p>12.11 団、研合同うたう会 団9、研究生4参加</p> <p>12.12 運営委員会</p> <p>12.16 宮うた忘年会</p> <p>12.27 団忘年会</p>	<p>9.23 セデスミニコンサート</p> <p>11.16 秋田合唱団定期演奏会</p> <p>11.19 盛岡合唱団定期演奏会</p> <p>11.27 バラライカコンサート</p> <p>12. 4 母と女教師の集いで「ぞう列車」合同演奏（60名）</p>
<p>1989年</p> <p>1. 6 うたい初め</p> <p>1. 9 安保実行委員会旗開き演奏 宮うた合同5名</p> <p>1.16 宮うた新春うたう会 日うた団結式</p> <p>1.19 東北大戦組旗開き演奏 7名参加</p> <p>2. 3 日本のうたごえ40周年記念祭典（～5） 団24、研究生4、下山参加 東北合同「おおブナの森よ」 山形センター合唱</p>	<p>1. 6 昭和天皇死去</p>

- 団中心合唱団の部Aで2位
- 2.11 東北のうたごえ交流会実行委員会（センター）
スケ、勝代、バン、チョー参加
- 2.13 47期うたう会（50名）
- 2.24 ノーノーノージシユク文化の集い（141スタジオ）
- 2.25 運営委員会
3. 5 宮うた協総会（戦災復興記念館・8団体20名）
会長スケ
- 3.13 47期修了演奏会
- 3.18 東北教育者懇談会（天童・20名）勝代、バン参加
- 3.20 団総会（青年会館地下ホール）21名参加委任状9
総括
- 3.21 団総会 バン・エグ転出後の新体制 団長トコ
副勝代、歩 書記長シュン 次長キンジロー タ
ワシ 指揮者ニキ 副指揮者カルビー 宮うたチ
ョー、ガッタ 運営委員ギン、オケイ（演教部
長）、ペコ
団員 S10（休団3）A13(5)T19(8)B20(4) 研教部
長キンジロー 組織部長タワシ 普及組織部長歩
20名参加委任状13
- 3.22 ブナを守る会つどい演奏（婦人会館・100名）
団15、研4、セデス3、樹5、名取1名参加
「おおブナの森よ」指揮 ニキ
- 3.24 バン・エグ送別会（バラライカ）ポッキー登米
へ、のんたん郡山へ
- 3.26 春闘集会（錦町公演）演奏 団8、宮7参加 ア
コ ニキ、南部、晶夫
- 3.30 47期修了式（センター）団17、研11名
4. 1 日うた総会（京都・～2）トコ、勝代参加
4. 8 運営委員会
- 4.12 宮うた新聞発行（ノントン）
- 4.18 運営委員会
- 4.22 運営委員会
- 4.30 メーデー前夜祭（141・140名）演奏 団10、宮10
5. 1 メーデー参加 団10、宮5参加
5. 3 郷土講習会（京都・～5）歩参加
5. 7 宮うた合同レッスン（東北交流会）23名
- 5.13 第12回東北うたごえ交流会（茂庭荘・216名・～
14）宮城13団体119名（団31参加）
- 5.14 国鉄スクラムコンサート（戦災地下展示室・150
名）演奏 23名参加
- 5.18 アパルトヘイトを考える夕べ（婦人会館・100
名）演奏 9名参加
- 5.21 仙南講演会春まつり（船岡公演）3名参加
- 5.25 団うたう会（市民会館視聴覚室・30名）17名参加
- 5.27 運営委員会 地主休団
- 5.28 仙台子どもまつり（三神峯公園）6名参加

4. 1 仙台市政令指定都市となる

- 5.30 新団員歓迎会（センター）14名参加 新団員3名
- 6. 8 研究生募集カマラードイ 対象者無し
- 6.11 ゲンちゃん祝う会（ろうふく会館）19名参加
- 6.16 指揮者教育者講習会（長野・～18）オケイ、オタベ、歩、バン参加
- 6.18 宮城のうたごえ代表者会議 7団体12名 団6名参加
- 6.21 団うたう会（市民会館第1教養室・12名）団8名
- 6.23 全国ダンス講習会（京都・～24）ポップ参加
- 6.24 山形合唱団とサ克蘭ボ狩り（上山市・15名）
団3名参加
- ・ 運営委員会
- 7. 7 森のうたレッスン開始 外山雄三のレッスン
- 7. 9 ひまわり号まつり（勾当台公園・200名）・7名参加
- ・ 高教組定期大会演奏（ろうふく会館）団5、宮2
- 7.13 みやぎ生協平和のつどい（みやぎ生協黒松店・230名）演奏 4名参加
- ・ 同（名取高正会館・80名）演奏 4名参加
- 7.20 48期研究生入期式 研究生2名 団11名
- 7.23 運営委員会 休団者のための土曜昼レッスン提起
- 7.29 オラトリオ森のうた（グリーンフェア会場・800名）指揮外山雄三、仙台フィル 仙合7、D514、母さんの樹5参加
- 7.31 鳴子おどり講習会 5名参加 講師キノコ
- 8. 5 平和友好祭（片平市民センター・150名）団10名参加 地主ピアノ 歌唱指導ピースウエーブ
- 8.12 東北指揮者教育者講習会（山形蔵王・20名・～13）
団8名参加 講師山本忠生
- 8.26 宮うた夏の交流セミナー（森郷キャンプ場・66名）
団20、研3 山本忠生参加
- 9. 2 ローカルセンター結成準備会演奏
- 9.10 ダンス講習会（盛岡・10名）ギン参加
- 9.13 福田由美子高平作品でリサイタル（東京杉並社会教育センター）
- 9.16 48期交流合宿（青年会館）団6、研3参加 講師青木
- 9.17 宮城県母親大会（岩沼市民会館・1200名）演奏
ぞうれっしゃ合唱団150名 団4名
- 9.24 みんなでつくる音楽会（戦災地下展示室・70名）
団22、研3参加 「平和の子守歌」「闘う労働者」
仙台合唱団、セデス推薦 講師齊藤良三、齊藤範雄、バン
- ・ 日うた祭誘致懇談会（勝代宅）4団体16名
- 9.27 運営委員会 バン、社長退団
- 10. 2 モリン医師歓迎レセプション（宮城第一ホテル・300名）
団9名 アコ高平

<p>10.14 主婦団員レッスン開始 指導チョー</p> <p>10.21 全国統一行動（歯科医師会館・30名）歌唱指導</p> <p>10.21 研究生初カマラードイ 10名</p> <p>10.22 ひまわり号 団6、研1参加</p> <p>・ 反核コンサート（勾当台公園・100名）</p> <p>10.25 運営委員会</p> <p>10.27 東北造船文化のつどい（多賀城市民文化センター・200名）団16、研2、宮20 闘う労働者構成</p> <p>11. 4 エグ・のんたん祝う会</p> <p>11.11 演奏会に向けた全団集会（流会）で運営委員会</p> <p>11.18 宮城県労働組合総連合発足総会演奏（松島公民館・300名） 団宮5名</p> <p>11.19 研究生うたう会（市民会館視聴覚室・50名）</p> <p>・ 臨時レッスン 演奏会に向けて</p> <p>11.20 宮うた臨時総会（センター）4団体19名 日うた仙台開催の件継続審議となる</p> <p>11.23 日うた祭典（京都・～26） 闘う労働者、平和の子守歌 アコ晶夫、指揮ニキセデス2位次席 5団体34名参加（団15、研2）</p> <p>12. 7 宮うた拡大委員会 日うた仙台開催をめぐって4団体8名</p> <p>12. 8 山本忠生を交えて東北音楽センター構想協議（山形）晶夫を職員とし企業組合を設立する方針</p> <p>12. 9 働くものの未来を開くスクラムコンサート（婦人会館・150名）団26、研2参加 ゲスト国鉄東京合唱団 東北造船合唱構成</p> <p>12.10 臨時レッスン 10名</p> <p>12.17 宮うた臨時総会 4団体21名 日うた91年開催は見送り</p> <p>12.19 働くものの未来を開く大集会（松栄イベントホール・300名）演奏 団11、宮20参加</p> <p>12.25 運営委員会 演奏会の延期について</p> <p>12.26 団忘年会 団15、研1参加</p> <p>12.27 宮うた忘年会（長町病院集会室）団10、研1、他10名参加</p>	<p>11. 9 ベルリンの壁崩壊</p> <p>11.21 全労連結成</p>
<p>1990年</p> <p>1.14 スキーツアー（山形蔵王）6名参加</p> <p>・ どんと祭を見に行く会 12名参加</p> <p>・ 東北のうたごえ代表者会議（センター・10名参加・～15）晶夫の専従決意表明</p> <p>1.19 全団集会 21名 バンも参加 演奏会7月13日に延期</p> <p>2.10 日うた総会（神戸・～12）チョー、オケイ、勝代参加 バンが新常任委員、東北は勝代と2名になる</p>	

- 2. 25 国鉄闘争支援集会（ろうふく会館・200名）演奏
団7、宮9
- 2. 26 運営委員会 総括
- 3. 4 宮うた総会（戦災復興記念館）25名参加 団14
方針は継続審議
- 3. 17 48期修了演奏会（戦災地下展示室・100名）
団21、研6
- 3. 24 東北のうたごえ春のセミナー（榴ヶ岡市民センタ
ー・～25）宿泊婦人会館 講師山本忠生、斉藤範
男、渡辺恭子 東北音楽センターの設立について
（晶夫、オカジを専従に）10団体31名 「指揮
者、教育者懇談会」を名称変更
- 3. 25 春闘総決起集会（勾当台公園）演奏 東北造船合
唱構成 団9、宮19参加
- 4. 1 宮うた総会（センター・22名）団13名 方針承認
海の子加盟承認
- 4. 7 団総会（青年会館地下ホール）23名参加 方針可決
- 4. 8 団総会 団員S9（休団4）A13(6)T16(7)B20(4)
1年間で入団8退団7（クーコ、チャッパ、トリ
トン、フジシマ、ラッコ、ケン）団、宮うた、東
北うた協の共同専従実現の方針 18名参加
- 4. 29 キンジロー、タワシ祝う会
- 5. 1 メーデー参加 団13、宮うた5 アコ高平、カル
ビー
- 5. 19 ビッケ、スケボー祝う会
- 5. 20 子どもまつり（三神峯公園）5名参加
- 5. 21 高教組青年部学習会（教育会館）シュン歌唱指導
- 5. 26 東日本教育者講習会（東京・～27）ニキ参加
- 6. 2 第13回東北うたごえ交流会（サンピア金ヶ崎・
160名・～3）団11、宮うた24参加
- 6. 15 全国指揮者教育者講習会（松本・～17）
オケイ、オタベ参加
- 6. 23 団合宿（森郷・～24）
- 7. 1 宮城県母親大会（仙台二中）演奏 5名参加
- 7. 12 太田、梅原ジョイントコンサート（青年文化セン
ター・600名）事業売り上げ26万
- 7. 13 第12回演奏会（イズミティ21・150名）歌い手26、
他7名参加 演奏で山形、郡山の応援
- 7. 14 厚生協会労組サマーカーニバル（多賀城市民会館
・300名）太田マキ 勝代、オケイ、カルビー参加
東北のうたごえ代表者会議（勝代宅～15）東北音
楽センター建設について
- 8. 4 東北うたごえセミナー（山形・～5）
- 8. 17 団臨時総会（センター）19名参加 演奏会総括
- 8. 18 団臨時総会（センター）19名参加 団体制 団長
歩 副勝代、チョー 書記長シュン レッスン・
教育オケイ 財政シルビア 機関紙オタベ 指揮

3. 31 国鉄精算事業団、職員1047人に
解雇通告

5. 1 メーデー、全都道府県で史上初
の分裂開催

- 者ニキ 副カルビー ＊カルビーは運営委員外
 で、運営委員は7名 書記次長空席 常任委員会
 はおかない
 団員 S9 (休団4) A11(6)T14(8)B18(6) キンジ
 ロー、トコ、タワシ、社長、ポンタ退団
- 8.19 運営委員会
 8.28 トコ送別会
 8.31 晶夫七十七銀行退職
9. 2 東北音楽センター設立準備会
 9. 6 運営委員会
 9. 9 トコ結婚式
 9.11 運営委員合宿 (ニキ宅) 5名参加 佐久間除籍
 (本人からの申し入れ)
 9.13 運営委員会
 9.15 宮うた拡大委員会 (長町病院集会室) うた新石川
 来仙 団から9名参加
 ・ 高校生平和ゼミオルグ 5名参加
- 9.16 みんなでつくる音楽会 (旭ヶ丘市民センター・70
 名) 団13名 (出演10名) 「コシシケレリアフリ
 カ」「なぜ」
 9.18 運営委員会
 9.23 声楽おさらい会 (パルシティ仙台)
 ・ 東北のうたごえ秋のセミナー (仙台)
 東北音楽センター設立趣意書の確認 呼びかけ人
 加藤雅友、藤村、南部、宮田、勝代、斉藤範雄、
 スケ、金野洋子 (岩手うたごえ協議会会長)、バ
 ン、紺野茂美 (福島うたごえ協議会会長)
 「地の道・天の道」の制作上映運動を東北のうた
 ごえ共同事業とすることを提起
- 9.25 運営委員会
 9.30 トコ祝う会
10. 9 アマンドラ歓迎の集い (勾当台公園・300名)
 演奏 13名参加
 10.10 アマンドラ仙台公演 (イズミティ21・1500名)
 事業44万
 ・ ひまわり号 6名参加
- 10.11 運営委員会
 10.22 10.21集会 歌唱指導歩
 10.27 東北音楽センター設立総会・祝賀会 (婦人会館・
 53名) きたがわてつ来仙
 10.28 宮城のうたごえ祭典 (青年文化センター・250
 名) 25名参加 林学、山本忠生、斉藤範雄参加
 東北合同で「地の道・天の道」
 10.30 運営委員会
11. 1 東北造船企画会議 (長町病院) スケ、晶夫、オケ
 イ、車田参加

<p>11. 3 宮城の高校生平和ゼミナール発足5周年記念黒坂正文ピースボイスコンサート(尚絅女学院礼拝堂) ・ 共産党宮城野区講演会秋の集い(榴ヶ岡公園)うたう会</p> <p>11. 4 山形のうたごえ祭典 セデス特別出演 晶夫アコソロ</p> <p>11. 5 宮うた祭企画事務局会議 晶夫、車田参加 山本忠生、斉藤範男、勝代らでセンターリーフ原案作成</p> <p>11. 6 宮うた祭典打ち上げ(バラライカ)</p> <p>11. 7 宮うた三役会議 日うた開催問題 スケ、チョー、勝代、晶夫、参加</p> <p>11. 8 11.8県民集会歌唱指導 スケ、晶夫参加</p> <p>11. 9 宮うた合同レッスン(片平市民センター)</p> <p>11.10 秋田合唱団演奏会 ニキ参加</p> <p>11.11 11.11集会(代々木公園)晶夫参加</p> <p>11.13 東北造船支援文化祭典(塩釜公民館・100名)演奏</p> <p>11.15 対OBうたごえ懇談会(センター・13名)団6名参加</p> <p>11.16 三多摩の経験に学ぶ会(センター・16名)三多摩青年合唱団研対部長山中来仙 研究生募集の経験を学ぶ 団12名参加 ・ 生協高砂店15周年記念コンサート 梅原司平</p> <p>11.18 県労連1周年レセプション参加</p> <p>11.23 日うた祭典(神戸・～25)13名参加 「コシケレリアフリカ」「なぜ」発表 東北合同「地の道・天の道」 セデス職場の部1位次席</p> <p>12.11 東京音楽センター事業部中島来仙</p> <p>12.15 センターファミリー忘年会(遠刈田)12名参加</p> <p>12.17 宮うた協臨時総会 車田、晶夫参加</p> <p>12.20 こんなに忙しいときにごめんなさいでもみんなで楽しくうたいましょう会(市民会館第1教養室)</p> <p>12.25 団忘年会(センター)</p> <p>12.29 東北中谷労組忘年会(川崎町鈴喜食堂)演奏</p>	<p>12. 8 母さんの樹コンサート(山口屋ホール)</p> <p>12.10 セデスコンサート(戦災復興記念館ホール・170名)</p>
<p>1991年</p> <p>1.10 春闘共同旗開き</p> <p>1.17 新しい年を迎えてみんなで楽しくうたいましょう会(榴ヶ岡市民センター)</p> <p>1.19 宮うた新春合宿(青年会館・～20)</p> <p>1.27 OB合唱団旗揚げうたう会(センター)</p> <p>1.30 全司法青年部旗開き</p> <p>2. 7 49期研究生オリエンテーション(センター)</p> <p>2. 9 日うた全国協総会(伊豆箱根ランド・～11) 歩、勝代、シュン、スケ、晶夫参加 仙台合唱団ゴールデンディスク賞激励賞受賞(事業部門)東北音</p>	

楽センターが全国協に加盟

- 2.16 春よこい平和よこいみんなで楽しくうたいましよ
う会（榴ヶ岡市民センター）ピアノ地主
- 2.17 宮うた協総会（片平市民センター・23名）団12名
参加 方針は継続審議
- 3.10 春闘総決起集会（レジャーセンター）
- 3.14 D51 合唱団演奏会（141ギャラリーホール）
- 3.16 二本松はじめ手遊びうた遊び講座（婦人会館・80
名）研究生公開講座第1弾
- ・ 49期生交流合宿（～17）
- 3.16 東北のうたごえセミナー（片平市民センター・
～17）地の道天の道レッスン 講師山本忠生他